Super Audio CD & DVD Audio/Video Player

RDV-1.1

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

目次

基　本　編

はじめに

接続する

基本設定をする

ディスクを再生する（基本編）

応　用　編

ディスクを再生する（応用編）

各種設定

リモコン

その他

主な特長

■THX社が提唱する「THX※1ウルトラ」規格に準拠
■HDMI※2入出力端子装備、デジタルハイビジョン信号をモニター/テレビに伝送
■ドルビー※3デジタル/DTS※4/PCMデジタル出力端子装備〔OPTICAL(光)2系統、COAXIAL(同軸)2系統、BALANCED(バランス)1系統〕
■異なる出力フォーマット設定が可能な2系統のデジタル出力端子
■入力されたHD信号をHD信号のまま出力するHDコンポーネント（色差）映像出力端子
■豊富な映像出力端子〔コンポーネント（色差）映像出力3系統、D2/D1映像出力1系統、S映像出力2系統、コンポジット映像出力2系統〕
■映像入力［コンポーネント（色差）映像/S映像/コンポジット映像］端子装備、外部機器からの映像信号をプログレッシブに変換して出力
■i.LINK※5（AUDIO）端子装備、DVDオーディオやSACDのマルチチャンネル音声信号をデジタルで伝送
■192kHz/24bit D/A（デジタル→アナログ）コンバーター搭載
■6chアナログマルチチャンネル出力端子
■216MHz/14bit ビデオD/A（デジタル→アナログ）コンバーター搭載
■DVDオーディオ、DVDビデオ、DVD-R（ビデオモード）、DVD-RW（ビデオモード、VRモード）、CD、CD-R、CD-RW、SACD、MP3、JPEG、ビデオCD再生可能
■APOGEE※6社製マスタークロックを採用し、最高品質のオーディオD/A変換を実現
■デジタル音声信号からピュアなアナログ音声信号を生成するVLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）搭載
■デジタル音声の劣化を防ぐ、ダイレクト・デジタル・パス回路搭載
■よりよい音質が得られるビデオサーキットオフ機能
■最大32ステップまで記憶するプログラム再生
■停止後に「続き再生」できるリジューム機能、前に見たディスクの続きを再生するラストメモリー機能
■他機の操作を可能にするラーニング機能搭載リモコン付属

※1 THXは、THX社の商標または登録商標です。
※2 HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
※3 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、Pro Logic、及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
※4 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。“DTS”、“DTS Digital Surround”は、デジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。
※5 i.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。
※6 “Clocked by Apogee”はアポジーエレクトロニクス社の商標です。

THXウルトラ
品質と動作に対する厳しい検査をクリアしてきたホームシアター機器に対してのみ、THXウルトラの認証が与えられます。THXロゴの付いたホームシアター機器は将来的にも優れた機能が保証されています。

THXについてのご注意
本機のアナログ音声出力設定機能につきましては、THXより認証を受けておりません。
THXの推奨する最適な効果を得るためには、デジタル音声出力をご使用ください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの底部に通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

オーディオ機器の正しい使いかた

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセント
から抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触
禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
●お子さまがディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

オーディオ機器の正しい使いかた

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス−の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

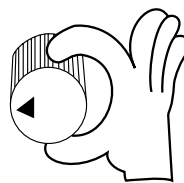
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

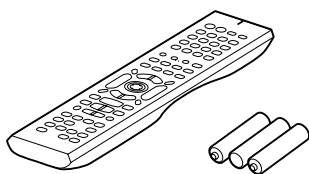
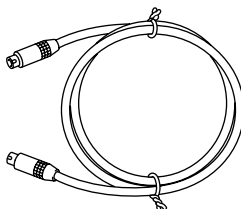
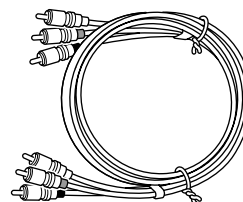
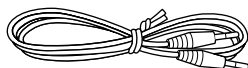
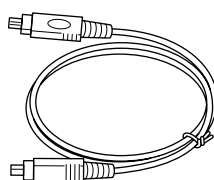
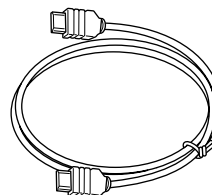
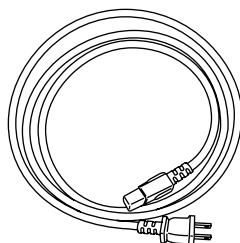
●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音のエチケット

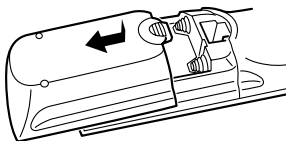
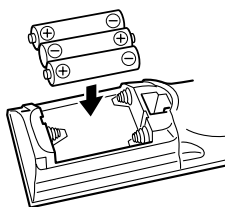
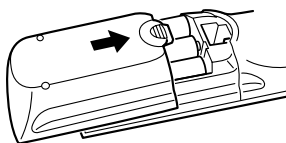
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

- **リモコン（RC-561DV）(1)**
- **乾電池（単3形）(3)**

- **Sビデオコード 1.5m（1）**
  Sビデオ映像を送るコードです。

- **オーディオ・ビデオ用ピンコード 1.5m（1）**
  アナログ音声(2チャンネル)およびビデオ映像を送るコードです。

- **RIケーブル 0.6m（1）**
  RI端子付きインテグラ リサーチ/オンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
  （RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ・ビデオ用ピンコードも正しく接続してください。）

- **i.LINK（AUDIO）ケーブル 1.0m（1）**
  i.LINK対応機器と接続するケーブルです。本ケーブルは4ピン、S400対応です。

- **HDMIケーブル 1.5m（1）**
  HDMI対応機器と接続するケーブルです。

- **電源コード 2m（1）**

- **取扱説明書（本書1）**
- **保証書（1）**

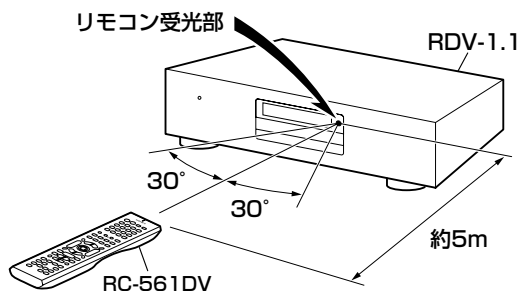
リモコンを準備する

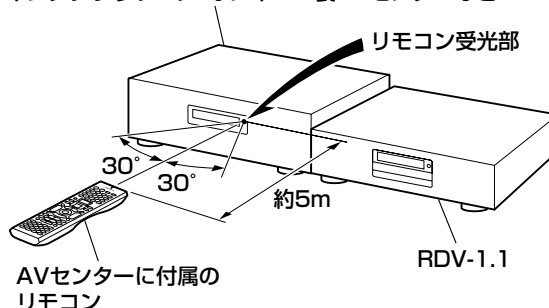
乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向にずらして開ける

2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池3個を＋（プラス）と−（マイナス）を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して3本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

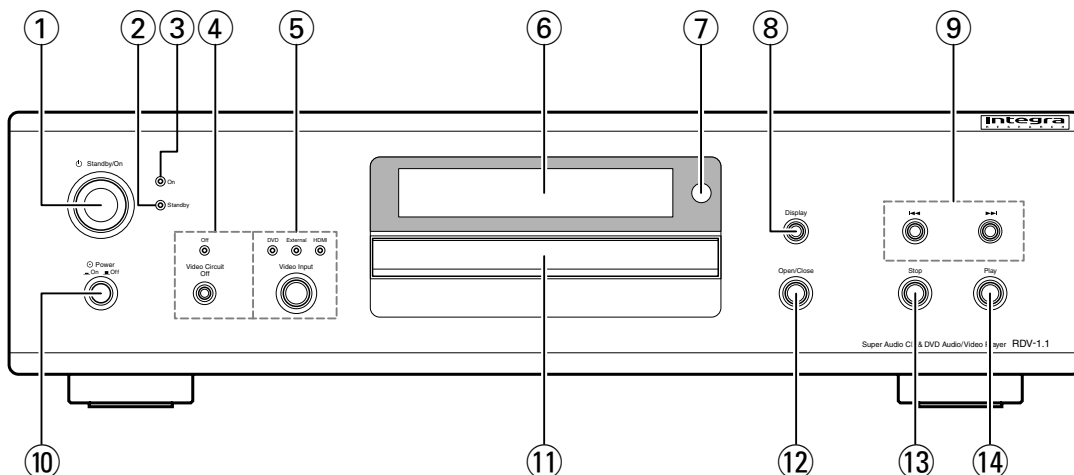
リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

接続したアンプなどに付属のリモコンで本機を操作するには
リモコンを接続したアンプなどのリモコン受光部に向けて、操作してください。

インテグラリサーチ/オンキヨー製AVセンターなど

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

詳しい説明は〔　　〕内のページをご覧ください。

① Standby/Onボタン〔31〕
スタンバイ状態で押すと、電源が入ります。もう一度押すと、スタンバイ状態になります。

② Standbyインジケーター〔31〕
本機がスタンバイ状態のときに点灯します。

③ Onインジケーター〔31〕
本機の電源が入っているときに点灯します。

④ Video Circuit Offボタンとインジケーター〔57〕
より良い音質で再生するために、映像信号の処理を一時的に切るときに押します。ボタンの上のインジケーターが点灯します。

⑤ Video Inputつまみとインジケーター〔58〕
再生する入力を切り換えます。つまみを回すと入力が下記のように切り換わります。

→ DVD → External → HDMI →

DVD：本機で再生するDVDの信号を出力します。
External：本機のVIDEO IN（COMPONENT/S VIDEO/VIDEO）端子に入力された信号を出力します。
HDMI：本機のHDMI IN端子に入力された信号を出力します。

選ばれた入力のインジケーターが点灯します。

⑥ 表示部
次ページをご覧ください。

⑦ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

⑧ Displayボタン〔60〕
ディスクの情報を切り換えます。

⑨ ◀◀/▶▶ボタン〔36、42、44、46〕
場面や曲の頭出しをします。

⑩ Powerスイッチ〔31〕
本機の主電源を入/切します。

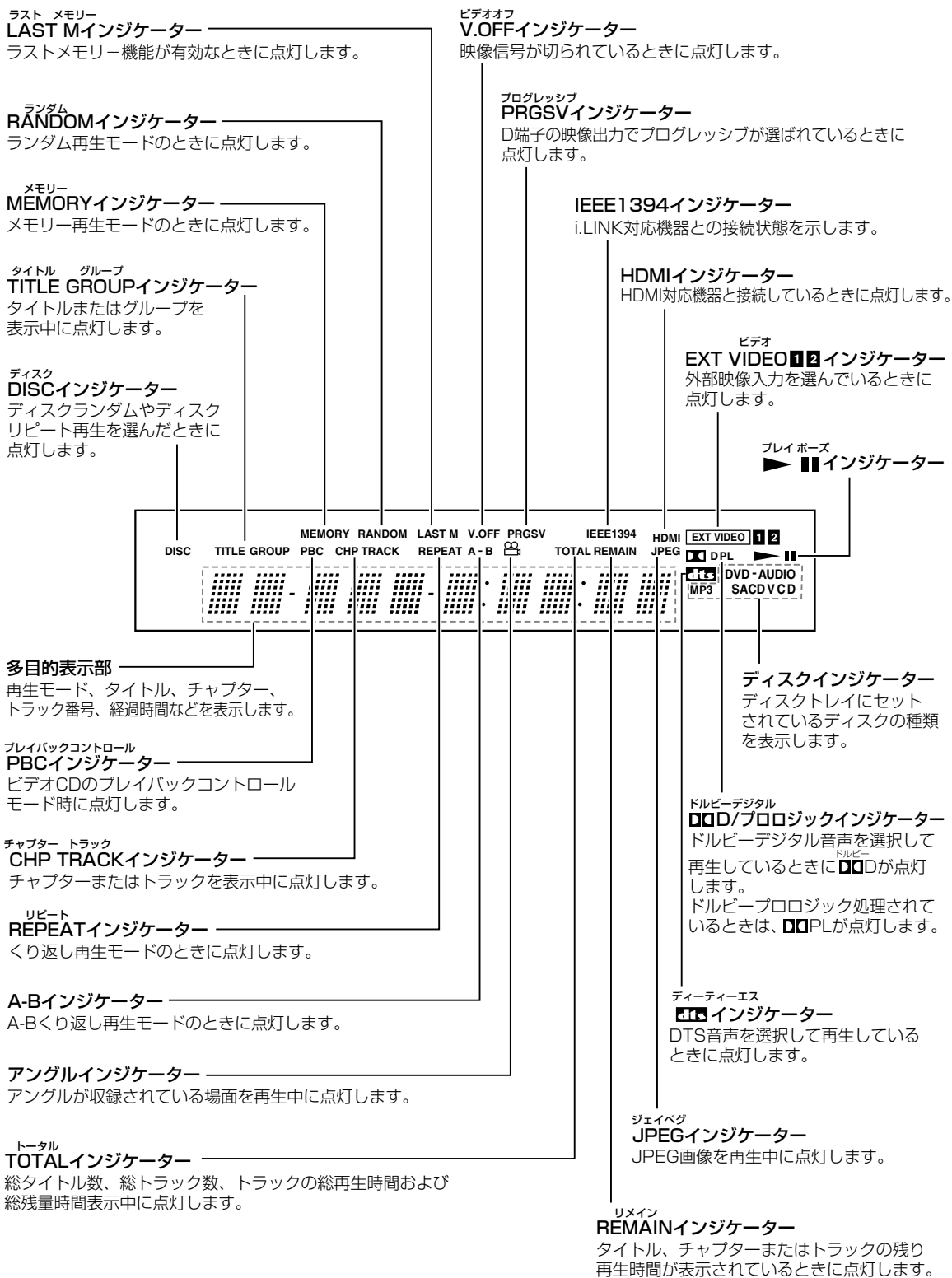
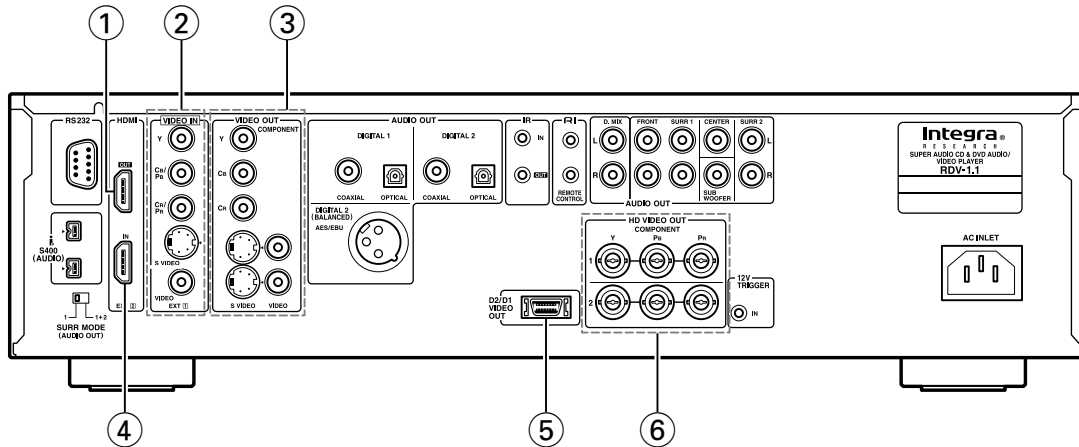
⑪ ディスクトレイ〔35、40〕
ディスクを入れます。

⑫ Open/Closeボタン〔35、40〕
ディスクトレイを開閉するときに押します。

⑬ Stopボタン〔36、41〕
ディスクの再生を止めます。

⑭ Playボタン〔35、40〕
ディスクを再生します。

本体、リモコンボタンの名前と働き

表示部

後面パネル

① HDMI OUT端子〔19〕

本機で再生するディスクおよびHDMI IN端子、VIDEO IN端子から入力された映像信号を出力します。
HDMI入力端子のあるモニター/テレビなどと接続する端子です。付属のHDMIケーブルを使って接続します。

② VIDEO IN端子〔28、29〕

COMPONENT端子：
コンポーネント映像出力端子のあるデジタルチューナーやDVDレコーダーなどと接続する端子です。市販のコンポーネントビデオコードを使って接続します。

S VIDEO端子：
Sビデオ出力端子のある映像機器と接続する端子です。

VIDEO端子：
ビデオ出力端子のある映像機器と接続する端子です。

③ VIDEO OUT端子〔22、23〕

本機で再生するディスクの映像信号を出力します。

COMPONENT端子：
コンポーネント映像入力端子のある映像機器と接続する端子です。市販のコンポーネントビデオコードを使って接続します。

S VIDEO端子：
Sビデオ入力端子のあるモニター/テレビなどと接続する端子です。付属のSビデオコードを使って接続します。

VIDEO端子：
ビデオ入力端子のあるモニター/テレビなどと接続する端子です。付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。

④ HDMI IN端子〔28〕

HDMI出力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。HDMIケーブルを使って接続します。

⑤ D2/D1 VIDEO OUT端子〔20、21〕

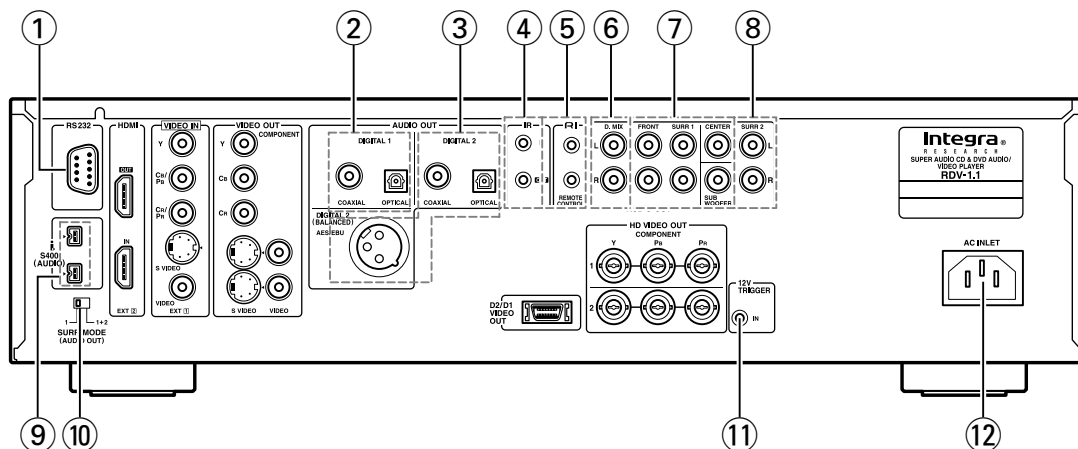
本機で再生するディスクの映像信号を出力します。
D入力端子のあるテレビなどと接続する端子です。市販のD端子接続ケーブルを使って接続します。

⑥ HD VIDEO OUT端子〔20、21〕

本機で再生するディスクおよびVIDEO IN端子から入力された映像信号を出力します。

COMPONENT1 端子：
コンポーネント映像入力端子のあるデジタルハイビジョン対応のモニター/テレビなどと接続する端子です。市販のコンポーネントビデオコード（BNCタイプ）を使って接続します。Video Inputが「External」のときは、VIDEO IN COMPONENT端子から入力されたHD信号をそのまま出力します。

COMPONENT2 端子：
コンポーネント映像入力端子のあるデジタルハイビジョン対応のモニター/テレビなどと接続する端子です。市販のコンポーネントビデオコード（BNCタイプ）を使って接続します。Video Inputが「External」のときは、VIDEO IN COMPONENT端子から入力されたHD信号は、出力されません。

本体、リモコンボタンの名前と働き

① RS232コネクター

外部機器を使って本機を操作するときに接続するコネクターです。

② AUDIO OUT DIGITAL 1端子〔23、24〕

OPTICAL端子：

デジタル入力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。市販の光デジタルケーブルを使って接続します。

COAXIAL端子：

デジタル入力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。市販の同軸デジタルケーブルを使って接続します。

③ AUDIO OUT DIGITAL 2端子〔24、25〕

OPTICAL端子：

デジタル入力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。市販の光デジタルケーブルを使って接続します。

COAXIAL端子：

デジタル入力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。市販の同軸デジタルケーブルを使って接続します。

BALANCED端子：

バランスタイプのデジタル音声入力端子のあるAVセンターなどと接続する端子です。市販のバランスデジタルケーブルを使って接続します。アナログバランス端子には接続しないでください。

④ IR IN/OUT端子

別室からリモコン操作したいときや本機をラックに入れたときに、リモコンセンサーを外部に取り付ける端子です。（この接続にはマルチルームシステム用キットが必要です。）

⑤ RI 端子〔29〕

RI端子付きインテグラリサーチ/オンキヨー製品と接続し、連動させる端子です。RIケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンコード（アナログ）も正しく接続してください。

⑥ AUDIO OUT D. MIX端子〔26〕

ステレオアンプまたはモニター/テレビなどと接続する端子です。付属のオーディオ·ビデオ用ピンコードを使って接続します。

⑦ AUDIO OUT FRONT/SURR 1/CENTER/SUB WOOFER端子〔25〕

5.1チャンネル音声入力端子付きのAVセンターなどと接続する端子です。市販のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

⑧ AUDIO OUT SURR 2端子〔25〕

7.1チャンネル音声入力端子付きのAVセンターなどと接続する端子です。SURR MODE切換スイッチで「1+2」を選んだときは、SURR 1端子と同じ音声を出力します。

⑨ i.LINK（AUDIO）端子〔27〕

i.LINK（AUDIO）対応機器と接続する端子です。付属のi.LINK（AUDIO）ケーブルを使って接続します。本機は、音声のみを伝送する規格に対応しています。詳しくは26ページをご覧ください。

⑩ SURR MODE（AUDIO OUT）切換スイッチ〔25〕

サラウンド出力モードを切り換えます。SURR 1端子を5.1チャンネル音声入力端子付きのアンプと接続しているときは「1」を、SURR 1端子と2端子を7.1チャンネル音声入力端子付きのアンプと接続しているときは「1+2」を選びます。

⑪ 12V TRIGGER IN端子

12V TRIGGER OUT端子のある機器と接続する端子です。接続機器からの出力信号により、本機をスタンバイ状態から電源オンにします。

⑫ AC INLET端子〔31〕

付属の電源コードを接続します。

リモコン（RC-561DV）

本機を操作する

本機を操作する前に、Mode DVDボタン（[DVD]）を押してリモコンをDVDモードにしてください。

インジケーター
リモコンコードを登録するときや、送信時に点灯・点滅します。

Standbyボタン
本機をスタンバイ（待機）状態にします。

Onボタン
本機の電源を入れます。

Memoryボタン
好みの順にタイトル、チャプター、
トラックをプログラムするときに押します。

Searchボタン
見たい、聞きたい場所を指定します。

DVDボタン
本機を操作するときに押します。

Top Menuボタン
DVDのトップメニュー画面を表示します。
ビデオCDのPBC機能をオン/オフします。
MP3/JPEGのナビ画面のトップに戻ります。

Zoom Onボタン
ズーム機能を使うときに押します。

Zoom ＋/－ボタン
ズーム機能を切り換えます。

Returnボタン
本機の設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、１つ前の項目に戻ります。ビデオCDのPBCメニューに戻ります。

Displayボタン
ディスクの情報を表示します。

Last Memoryボタン
DVD、ビデオCDの再生する場所を記憶します。

Subtitleボタン
DVDの字幕言語を切り換えます。

Audioボタン
DVD、ビデオCDの音声を切り換えます。
SACDの再生エリアを切り換えます。

Repeatボタン
くり返し再生をします。

A-Bボタン
DVD、ビデオCD、CD、SACDのA-B
くり返し再生の場所を設定します。

Video Inputボタン
映像入力を切り換えます。

Open/Closeボタン
ディスクトレイを開閉します。

Video Offボタン
映像出力を止めます。

数字ボタン
数字を入力します。

Clearボタン
設定した内容を取り消します。

LIGHTボタン
リモコンボタンを点灯／消灯させます。
約7秒間点灯します。

Dimmerボタン
本体表示部の明るさを切り換えます。
（暗い→非常に暗い→消灯→ふつう）

Menuボタン
DVDのメニュー画面を表示します。
MP3のナビゲーター画面やJPEGの
サムネイルを表示します。

Picture Controlボタン
設定画面の画質調整画面を表示します。

▲/▼/◀/▶(カーソル)/Enterボタン
メニュー操作時、上下左右に押して設定項目を選択します。中央のEnterボタンを押すと、選択した項目を確定します。

Setupボタン
本機の設定画面を表示します。

⏮/⏭ボタン
場面や曲の頭出しをします。

▶ボタン
ディスクを再生をします。

◀◀/▶▶ボタン
早戻し、早送りをします。

❚❚ボタン
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。

■ボタン
再生を停止します。

◀❚❚/❚❚▶ボタン
DVDビデオ、ビデオCDのスロー再生、コマ送り再生をします。

Randomボタン
ランダム設定をします。

Resolutionボタン
HDMI端子から出力する映像の解像度を切り換えます。

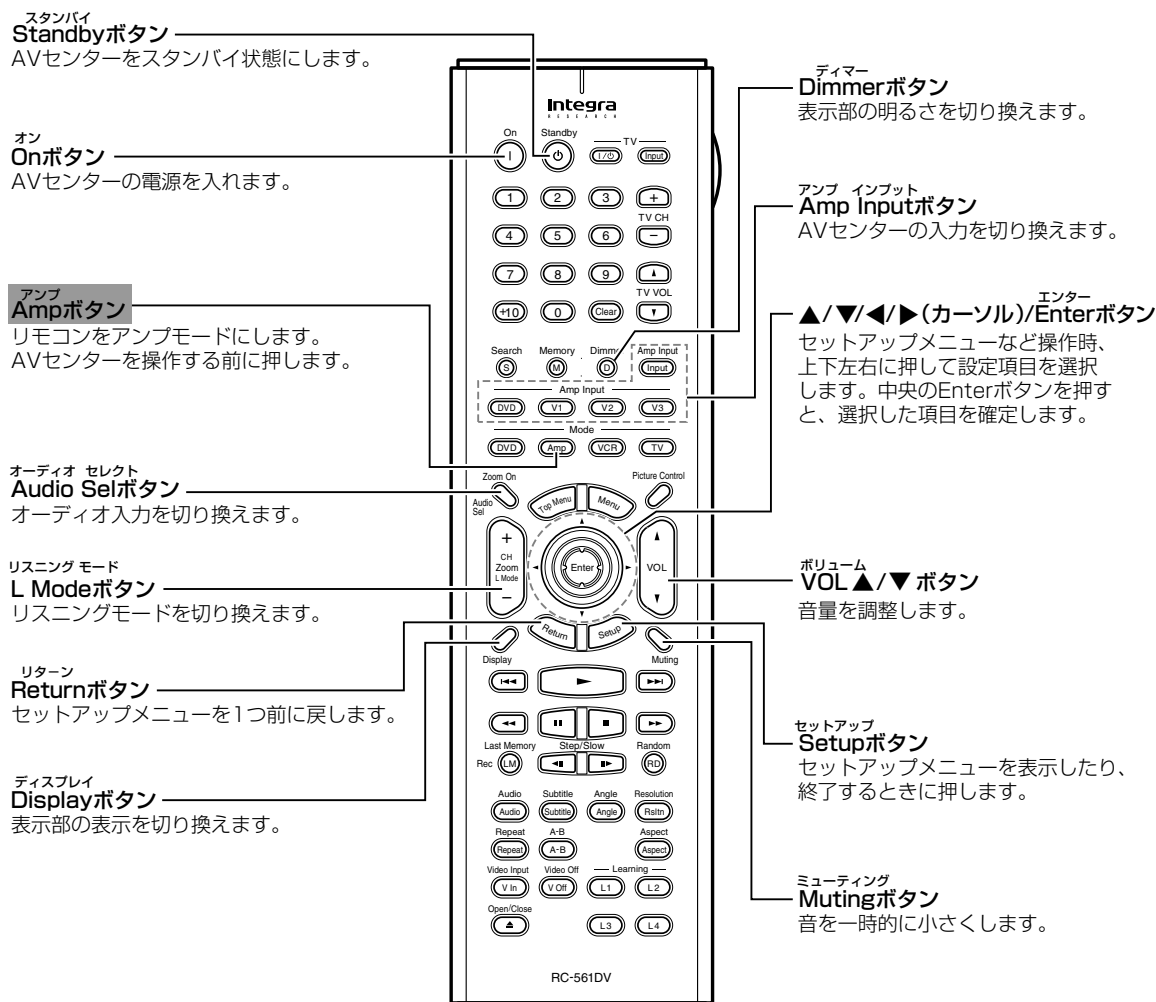
Angleボタン
DVDのカメラアングルを切り換えます。

Aspectボタン
接続したモニター/テレビにあわせて、出力される映像の縦、横比率を切り換えます。
再生中は切り換えることはできません。

本体、リモコンボタンの名前と働き

インテグラリサーチ/オンキヨー製AVセンターを操作する

インテグラリサーチ/オンキヨー製AVセンターを本機のリモコンで操作する前に、Ampボタンを押してリモコンをアンプモードにしてください。
以下のボタンでインテグラリサーチ/オンキヨー製AVセンターを操作することができます。
各機能について詳しくは、AVセンターに付属の取扱説明書をご覧ください。

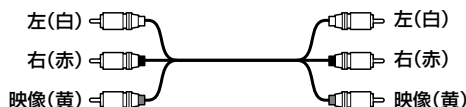
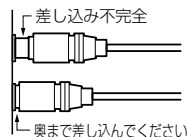
ご注意　AVセンターによっては、操作できない場合もあります。

● TV、VCRモード時の操作については、81ページをご覧ください。

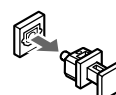
接続をする

■接続の前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

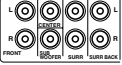
オーディオ・ビデオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネル、黄色のコネクター（Vの表示）をビデオチャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル端子について

本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

映像/音声ケーブルと端子の種類について

*印のケーブルは本機に付属しています。ビデオコードとオーディオ用ピンコードは、1本になったものが付属しています。

映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
コンポーネントビデオコード（RCAタイプ）	Y, CB/PB, CR/PR	Y, CB/PB, CR/PR	輝度信号（Y）と色信号（C）に、色信号をさらに青（CB/PB）と赤（CR/PR）に分けて伝送します。高品位な映像が得られます。
コンポーネントビデオコード（BNCタイプ）	PR, PB, Y	COMPONENT Y PB PR	輝度信号（Y）と色信号（C）に、色信号をさらに青（PB）と赤（PR）に分けて伝送します。高品位な映像が得られます。BNCタイプは、接合部をロックできるのでコードが抜けにくい構造になっています。
D端子用接続コード		D2/D1 VIDEO	輝度信号（Y）と色信号（C）に、色信号をさらに青（CB/PB）と赤（CR/PR）に分けて伝送します。高品位な映像が得られます。同時に映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることができます。
Sビデオコード	*	S VIDEO	輝度信号（Y）と色信号（C）を分けて伝送します。コンポジットに比べて良い画質が得られます。
ビデオコード（コンポジット）	*	VIDEO	輝度信号（Y）と色信号（C）を複合（コンポジット）して伝送します。標準的な映像信号で、多くのモニター/テレビやビデオなどの映像機器に装備されています。
HDMIケーブル	*	IN	映像や音声をデジタルで伝送します。

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（OPTICAL（オプティカル））		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はCOAXIALと同レベルです。
同軸デジタルケーブル（COAXIAL（コアキシャル））		COAXIAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はOPTICALと同レベルです。
オーディオ用ピンコード	*	AUDIO	アナログ音声を伝送します。
マルチチャンネル接続コード		D. MIX, FRONT, SURR 1, CENTER, SURR 2, L, R, SUB WOOFER, AUDIO OUT	アナログマルチチャンネル音声を伝送します。
i.LINK（リンク）（AUDIO）ケーブル	*		音声をデジタルで伝送します。
バランスデジタルケーブル			ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。外部雑音を受けにくい端子です。

接続をする

本機とお手持ちの機器（モニター、テレビ、AVセンターなど）を接続します。
お手持ちの機器の端子形状や機能をご確認いただき、それぞれに該当する説明ページをご覧ください。

■本機のビデオ出力をお手持ちの機器のビデオ入力と接続する

お手持ちの機器の端子	端子形状（例）と機器の機能	参照ページ
HDMI入力端子のある機器	入力	19ページ Ⓐ
コンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子のある機器	Y CB/PB CR/PR　COMPONENT Y CB/PB CR/PR　D端子	
	デジタルハイビジョンに対応している機器	20ページ Ⓑ−①
	プログレッシブに対応している機器	20~21ページ Ⓑ−②
	プログレッシブに対応していない機器	21~22ページ Ⓑ−③
Sビデオ入力端子のある機器	S VIDEO	22ページ Ⓒ
コンポジットビデオ入力端子のある機器	VIDEO	23ページ Ⓓ

■本機の音声出力をお手持ちの機器の音声入力と接続する

お手持ちの機器の端子	端子形状（例）と機器の機能		参照ページ
デジタル音声入力端子のある機器	OPTICAL　COAXIAL	ドルビーデジタル/DTSに対応している機器	23ページ Ⓔ−①
		ドルビーデジタル/DTSに対応していない機器	24ページ Ⓔ−②
アナログ音声入力端子のある機器	L R FRONT　CENTER SUB WOOFER　SURR　SURR BACK	マルチチャンネル（5.1または7.1チャンネル）音声入力端子のある機器	25ページ Ⓕ−①
	AUDIO	2チャンネル（ステレオ）音声入力端子のある機器	26ページ Ⓕ−②

■i.LINK（AUDIO）に対応している機器と接続する ―――――― 26ページ Ⓖ

■本機のビデオ入力をお手持ちの機器のビデオ出力と接続する

お手持ちの機器の端子	端子形状（例）と機器の機能	参照ページ
HDMI出力端子のある機器	出力	28ページ Ⓗ
コンポーネントビデオ出力端子のある機器	Y CB/PB CR/PR　COMPONENT Y CB/PB CR/PR	28ページ Ⓘ
Sビデオ出力端子のある機器	S VIDEO	29ページ Ⓙ
コンポジットビデオ出力端子のある機器	VIDEO	29ページ Ⓚ

接続の際のご注意：
- 接続する各機器の取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードは、まだ接続しないでください。
- 本機はモニター/テレビと直接接続してください。ビデオデッキやビデオ内蔵のテレビなどを経由して接続した場合、正常な映像でご覧になれないことがあります。
- 本機は熱に弱い部品を使用していますので、AVセンターなどの上に置かないでください。
- モニター/テレビによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色あい（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、モニター/テレビを調節して最適な状態にしてください。

映像入力端子のある機器と接続する

A HDMI入力端子のある機器と接続する

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは

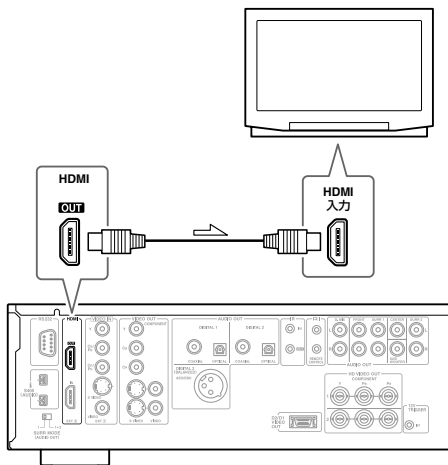
放送のデジタル化などの変化に対応して、家庭内で セットトップボックスやディスプレイ間をデジタル接続することを目的として策定された、次世代テレビ向けのインターフェース規格です。
従来のDVI（Digital Visual Interface）規格をさらに発展させて、オーディオ信号およびコントロール信号を伝送する機能を追加しています。従来は機器間の接続に、ビデオ、オーディオ、コントロールの各信号用に複数のケーブルを使用していましたが、HDMIケーブルを1本接続するだけで、HDMI端子対応の機器間で映像や音声をデジタルで伝送することができます。

HDMIのビデオストリーム（映像信号）は、DVIと原理的に互換性があります。DVI端子を装備した受信機でHDMIのビデオストリームを映すことはHDMI→DVI変換ケーブルを用いて可能ですが、機器の組み合わせによっては映像が出ない場合があります。本機はHDCP（下項「著作権保護について」参照）を使用しており、対応の受信機でのみ映像が出ます。

本機のHDMIインターフェースは、以下の規格に基づいています。
High-Definition Multimedia Interface Specification Informational Version 1.0

著作権保護について

本機はHDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）に対応しています。HDCPとは、デジタル映像信号に対する著作権保護技術です。
本機と接続する機器もHDCPに対応していることが必要です。

本機のHDMI OUT端子とテレビ/モニターなどのHDMI入力端子を接続します。接続には、本機に付属または市販のHDMIケーブルをご使用ください。

HDMI対応モニター/テレビへの出力について

本機は以下の映像の解像度に対応しています。
※ pはプログレッシブ、iはインターレースを表します。
※ 接続しているモニター/テレビが対応していない解像度は選択できません。

- Source Resolution
- 640×480p 60Hz
- 720×480p 60Hz
- 720×576p 50Hz
- 1280×720p 50/60Hz
- 1920×1080i 50/60Hz

  - Source Resolutionのときは、以下のように映像出力されます。
    外部入力された映像の場合：
    入力映像の解像度が480p以上のときは、同じ解像度で出力されます。
    入力映像の解像度が480i（525i）のときは、480p（または576p）で出力されます。
    DVDの場合：
    480p（または576p）で出力されます。
  - Video Inputを「External」または「DVD」にしているときは、映像信号の解像度を本機が接続しているモニター/テレビが対応している解像度に変更することができます。（☞59ページ）ただし、接続しているモニター/テレビが対応していない解像度は選択できません。
  - Video Inputを「HDMI」にしているときは、HDMI IN端子から入力された信号をそのまま出力します。（☞30ページ）

音声フォーマット

伝送できる音声フォーマットは、48kHz 、44.1kHz のPCM信号およびドルビーデジタル*、DTS*、MPEG*信号です。
*モニター/テレビが、ドルビーデジタル、DTS、MPEGデコーダーに対応していない場合、これらの信号は出力されません。

デジタル音声出力設定について

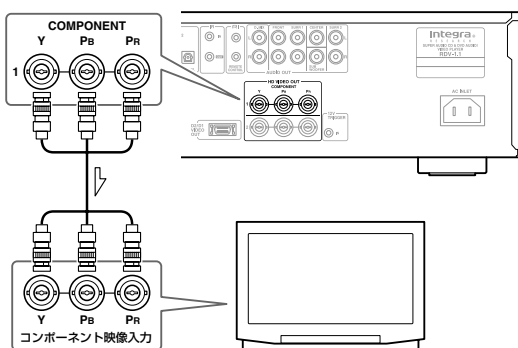
HDMI出力端子から出力されるデジタル信号は、「デジタル出力/Digital 2」の設定が反映されます。接続する機器の対応しているフォーマットをご確認いただき、必要な設定を行ってください。（☞66ページ）

ご注意

- SACDの音声は出力されません。SACDの再生をするためには、i.LINK接続（☞27ページ）またはアナログ音声接続（☞25ページ）のいずれかが必要です。
- DVDオーディオ、DVDビデオの88.2kHz以上の音声は、「リニアPCM出力」で「ダウンサンプリングオン」を選ぶと出力されます。（☞67ページ）
- HDMIケーブルをひんぱんに抜き差ししないでください。

Ⓑコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子のある機器と接続する

■デジタルハイビジョン対応の機器と接続する Ⓑ－①

市販のコンポーネントビデオコード（BNCタイプ）でコンポーネントビデオ端子接続をします。

HD COMPONENT VIDEO OUT 1端子からの映像出力について

本機でディスクを再生するとき

映像は常にプログレッシブで出力されます。

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号を出力するとき

Video Inputが「External」のとき、入力された信号がSD信号のときは、プログレッシブで出力され、HD信号のときは、HD信号のまま出力されます。詳しくは30ページ「本機の映像出力端子について」をご覧ください。

！ヒント

- 本機のHD コンポーネントビデオ端子はBNCタイプです。お手持ちのモニター/テレビのコンポーネント端子がBNCタイプのときは、市販のBNCタイプのコンポーネントビデオコードで接続してください。お手持ちの機器のコンポーネントビデオ端子がRCAタイプのときは、市販のBNC-RCA変換コネクターを使って接続します。お手持ちの機器のD映像端子と接続するときは、市販のBNC-RCA変換コネクターとRCA-D端子変換コードを使って接続します。
- コンポーネントビデオ入力端子の名称はメーカーにより異なります。（例：Y/R-Y/B-Y、色差信号、コンポーネント映像等）

ご注意

プログレッシブに対応していないモニター/テレビと接続すると映像が出ません。

本機とプログレッシブ対応モニター/テレビとの互換性について

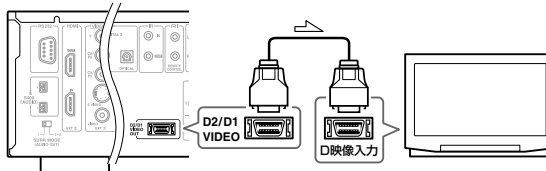
一部のプログレッシブ対応モニター/テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、モニター/テレビを本機のインターレース出力が可能な端子*に接続し、モニター/テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

＊21ページ「プログレッシブに対応していない機器と接続するⒷ-③」をご覧ください。

■プログレッシブ対応の機器と接続する Ⓑ－②

モニター/テレビなどの場合

●D映像入力端子のある機器

市販のD端子接続コードでD端子接続をします。
本機のD2/D1端子は、接続するモニター/テレビのD1、D2、D3またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

D端子からの映像出力について

本機でディスクを再生するとき

映像出力方式は、「インターレース」か「プログレッシブ」のどちらかを選択することができます。お買い上げ時の設定は、「インターレース」になっています。接続したモニター/テレビがプログレッシブ入力対応モニター/テレビのときは、「プログレッシブ」を選択してください。（☞65ページ「D端子出力設定」）また、本機が電源オンのとき、本機のStopボタンを押しながら、Video（ビデオ） Circuit（サーキット） Off（オフ）ボタンを押しても映像出力方式を切り換えることができます。ボタンを押すごとに「インターレース」と「プログレッシブ」が切り換わります。

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号は出力されません。

！ヒント

お手持ちのテレビ/モニターのコンポーネントビデオ端子がRCAタイプのときは、市販のRCA-D端子変換コードで接続してください。

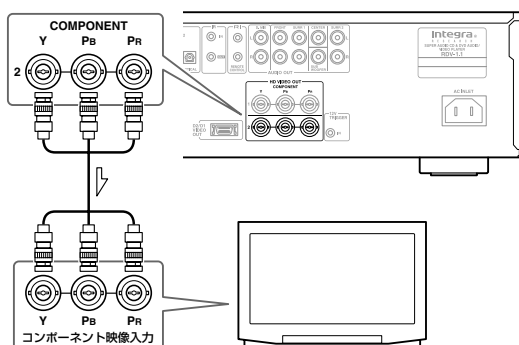
ご注意

- プログレッシブ入力に対応していないモニター/テレビと接続しているときは、設定を「インターレース」のままにしておいてください。「プログレッシブ」を選択すると映像が出力されません。
- 「プログレッシブ」と「インターレース」を切り換えるとき映像が乱れることがあります。

本機とプログレッシブ対応モニター/テレビとの互換性について

本ページ左項「本機とプログレッシブ対応モニター/テレビとの互換性について」をご覧ください。

RDV-1.1(17-31)(SN29343658) 20 04.10.19, 9:55 AM
ブラック

●コンポーネントビデオ入力端子のある機器
市販のコンポーネントビデオコード（BNCタイプ）でコンポーネントビデオ端子接続をします。

HD COMPONENT VIDEO OUT 2端子からの映像出力について

本機でディスクを再生するとき
映像は常にプログレッシブで出力されます。

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号を出力するとき
Video Inputが「External」のとき、入力された信号がSD信号のときは、プログレッシブで出力され、HD信号のときは、何も出力されません。詳しくは30ページ「本機の映像出力端子について」をご覧ください。

！ヒント

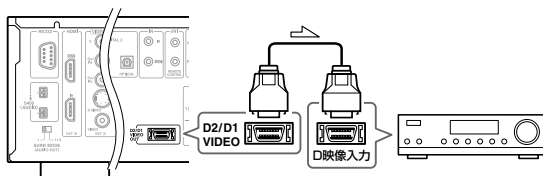
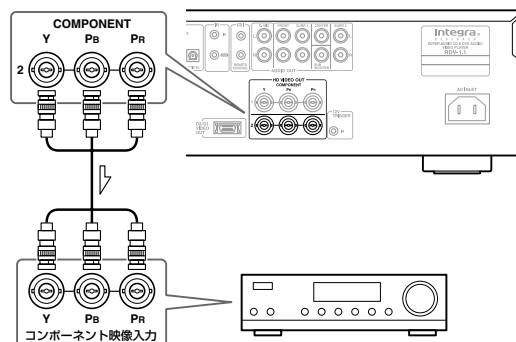
本機のHD コンポーネントビデオ端子はBNCタイプです。お手持ちのモニター/テレビのコンポーネント端子がBNCタイプのときは、市販のBNCタイプのコンポーネントビデオコードで接続してください。お手持ちの機器のコンポーネントビデオ端子がRCAタイプのときは、市販のBNC-RCA変換コネクターを使って接続します。お手持ちの機器のD映像端子と接続するときは、市販のBNC-RCA変換コネクターとRCA-D端子変換コードを使って接続します。

ご注意
プログレッシブに対応していないモニター/テレビと接続すると映像が出ません。

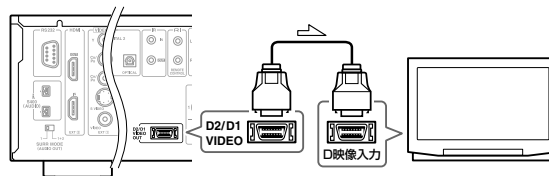
本機とプログレッシブ対応モニター/テレビとの互換性について

20ページ「本機とプログレッシブ対応モニター/テレビとの互換性について」をご覧ください。

AVセンターなどの場合

●D映像入力端子のある機器
本機のD2/D1VIDEO OUT端子とAVセンターなどのD映像入力端子を接続します。

●コンポーネントビデオ入力端子のある機器
本機のHD COMPONENT VIDEO OUT 2端子とAVセンターなどのコンポーネントビデオ入力端子を接続をします。

■プログレッシブに対応していない機器と接続する Ⓑ－③

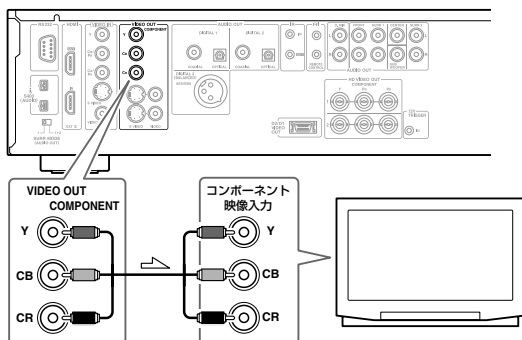
モニター/テレビなどの場合

●D映像入力端子のある機器
市販のD端子接続コードでD端子接続をします。

D端子からの映像出力について

本機でディスクを再生するとき
映像出力方式は、「インターレース」か「プログレッシブ」のどちらかを選択することができます。お買い上げ時の設定は、「インターレース」になっていますので、設定を「インターレース」のままにしておいてください。「プログレッシブ」を選択すると映像が出力されませんのでご注意ください。（☞65ページ「D端子出力設定」）

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号は出力されません。

●コンポーネントビデオ入力端子のある機器

市販のコンポーネントビデオコードでコンポーネントビデオ端子接続をします。

COMPONENT VIDEO OUT端子からの映像出力について

本機でディスクを再生するとき

映像は常にインターレースで出力されます。

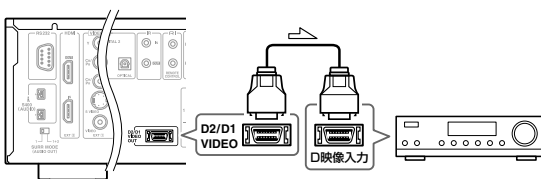
映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号は出力されません。

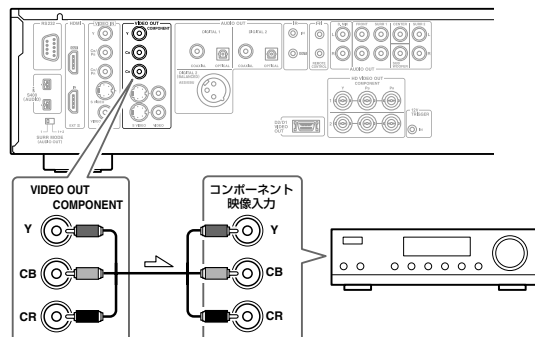
ご注意

- ハイビジョン対応のコンポーネント（Y/PB/PR）ビデオ入力端子には接続できないことがあります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- コンポーネントビデオ入力端子の名称はメーカーにより異なります。（例：Y/R-Y/B-Y、色差信号、コンポーネント映像等）

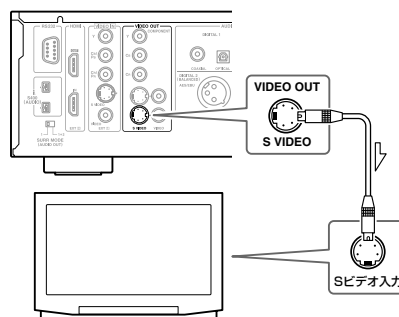
AVセンターなどの場合

●D映像入力端子のある機器

本機のD2/D1VIDEO OUT端子とAVセンターなどのD映像入力端子を接続します。

●コンポーネントビデオ入力端子のある機器

本機のCOMPONENT VIDEO OUT端子とAVセンターなどのコンポーネントビデオ入力端子を接続します。

C Sビデオ入力端子のある機器と接続する

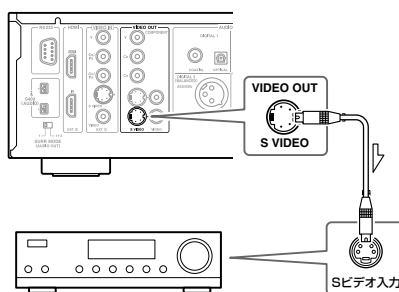
モニター/テレビなどの場合

付属のSビデオコードでSビデオ端子接続します。

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号は出力されません。

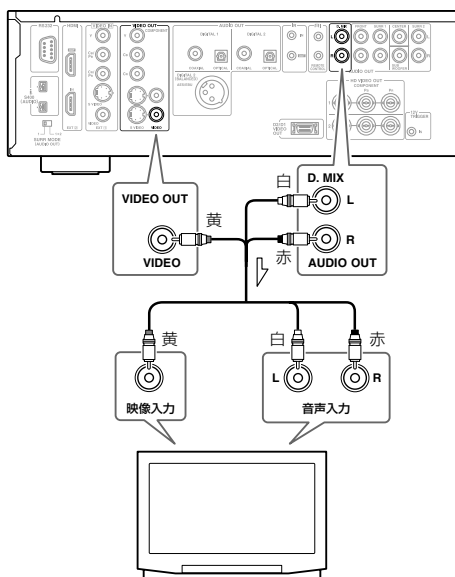
！ヒント

本機には、2系統のS ビデオ出力端子があります。
2つの端子の働きは同じです。

AVセンターなどの場合

本機のS VIDEO OUT端子とAVセンターなどのSビデオ入力端子を接続します。

Dコンポジット(ビデオ)入力端子のある機器と接続する

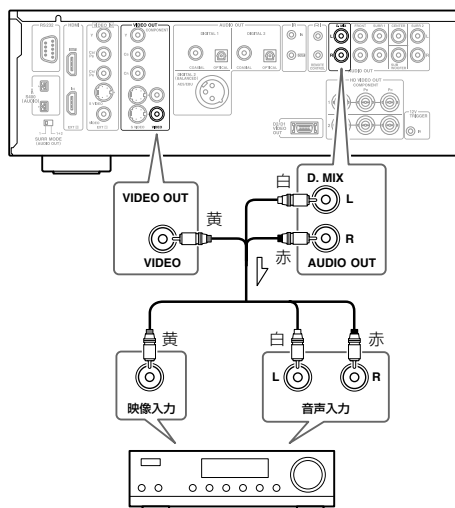
モニター/テレビなどの場合

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードでビデオ端子接続をします。音声はモニター/テレビのスピーカーから出力されます。

映像入力端子（VIDEO IN）から入力された信号は出力されません。

！ヒント

本機には、2系統のビデオ出力端子があります。
2つの端子の働きは同じです。

AVセンターなどの場合

本機のVIDEO OUT端子とAVセンターなどのビデオ入力端子を接続します。

音声入力端子のある機器と接続する

Eデジタル音声入力端子のある機器と接続する

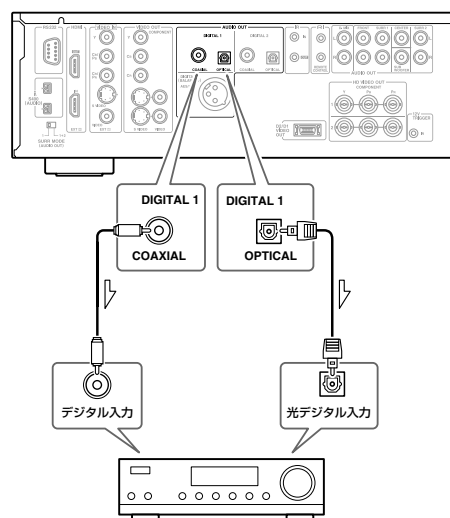
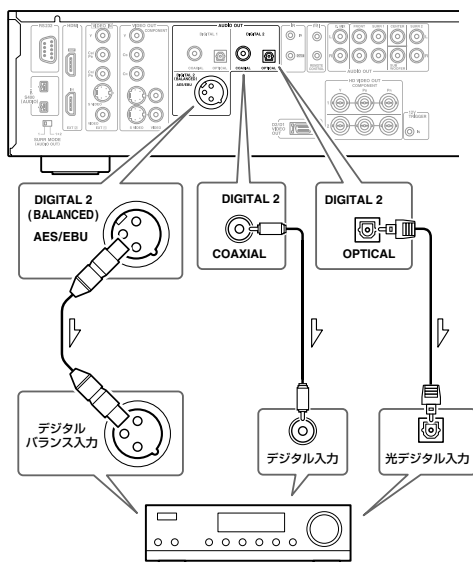
■ドルビーデジタル/DTS対応のデジタル入力端子のある機器と接続する　E－①

ドルビーデジタル、DTSに対応しているAVセンターと接続すると、ドルビーデジタル、DTSの5.1chデジタル音声をお楽しみいただけます。以下のいずれかの接続をします。

AVセンターにOPTICALタイプの音声入力端子がある場合
市販の光デジタルケーブルでAVセンターの光デジタル入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL 1（または2）OPTICAL端子を接続します。

AVセンターにCOAXIALタイプの音声入力端子がある場合
市販の同軸デジタルケーブルでAVセンターのデジタル入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL 1（または2）COAXIAL端子を接続します。

AVセンターにデジタルバランス音声入力端子がある場合（DIGITAL 2のみ）
市販のデジタルバランスケーブルでAVセンターのデジタルバランス音声入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL2（BALANCED）端子を接続します。

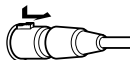
DIGITAL 1の場合

DIGITAL 2の場合

デジタル出力設定について

本機には、DIGITAL OUT 1とDIGITAL OUT 2の2系統のデジタル音声出力があります。接続した機器の対応しているフォーマットにあわせて、それぞれの出力信号のフォーマットを設定してください。（☞66ページ）
また、「デジタル出力/Digital 1」の設定内容は、i.LINK端子から出力される信号にも反映されます。「デジタル出力/Digital 2」の設定内容は、HDMI出力端子から出力される信号にも反映されます。

デジタルバランスケーブルについて

接続するときは、ピンの位置を合わせて「カチッ」と音がするまでプラグを差し込みます。ケーブルを軽く引っ張り、確実に接続されているかどうか確認してください。

はずすときは、コネクターのボタンを押しながら、矢印の方向にプラグを引っ張ります。

ご注意

- 本デジタル端子の接続だけで、DVDの5.1ch再生を楽しめますが、本機からAVセンターに接続しているMDレコーダーなどにアナログ録音するときなどのために、また当社製品との RIシステム動作（☞29ページ）のために、アナログ接続（☞25ページ）もしておくことをおすすめします。
- AUDIO OUT DIGITAL2（BALANCED）端子は、デジタル端子です。他機のアナログバランス音声端子とは接続しないでください。

DVDオーディオやSACDのマルチチャンネル音声の再生について

DVDオーディオやSACDのマルチチャンネル音声は、AUDIO OUT DIGITAL 1/2端子には出力されません。
DVDオーディオやSACDのマルチチャンネル音声の再生をするためには、アナログ音声接続（☞25ページ）またはi.LINK端子接続（☞27ページ）のいずれかが必要です。

■ ドルビーデジタル/DTSに対応していないデジタル入力端子のある機器と接続する Ⓔ－②

以下のいずれかの接続をします。

アンプにOPTICALタイプの音声入力端子がある場合

市販の光デジタルケーブルでアンプの光デジタル入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL 1（または2）OPTICAL端子を接続します。

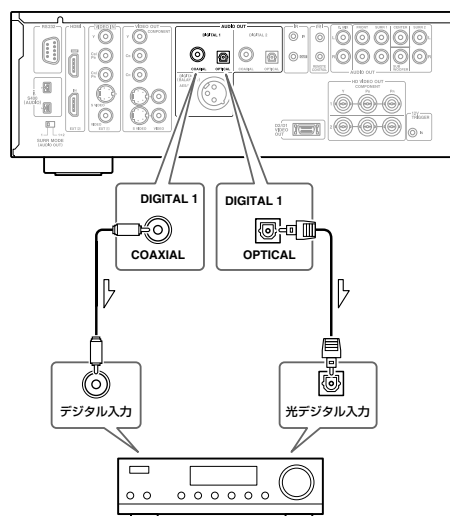
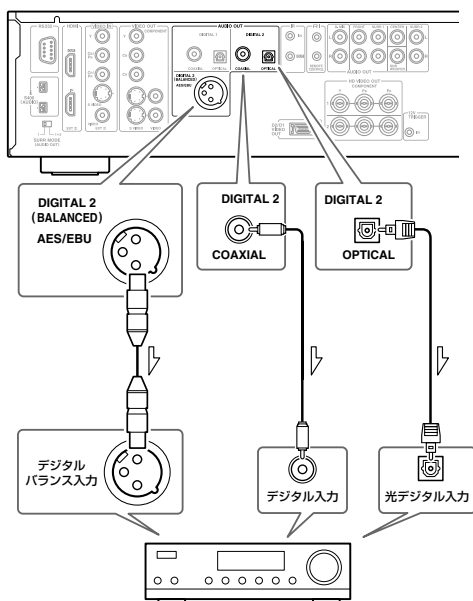
アンプにCOAXIALタイプの音声入力端子がある場合

市販の同軸デジタルケーブルでアンプのデジタル入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL 1（または2）COAXIAL端子を接続します。

アンプにデジタルバランス音声入力端子がある場合（DIGITAL 2のみ）

市販のデジタルバランスケーブルでアンプのデジタルバランス音声入力端子と本機のAUDIO OUT DIGITAL2（BALANCED）端子を接続します。

この接続をしたときは、ドルビーデジタル、DTS信号をPCMに変換して出力するように本機の「デジタル出力/Digital1」、「デジタル出力/Digital2」の設定を行ってください。（☞66ページ）

DIGITAL 1の場合

DIGITAL 2の場合

ご注意

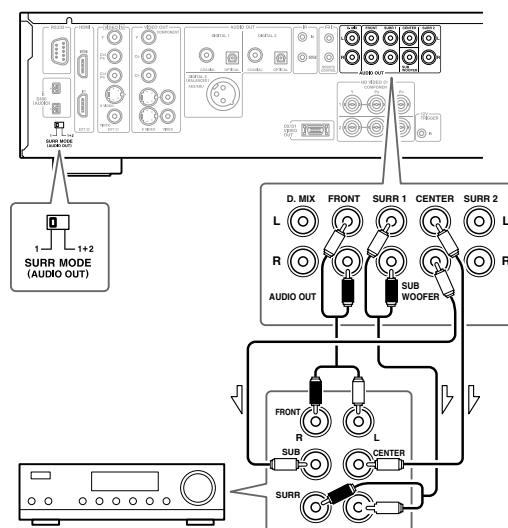
AUDIO OUT DIGITAL2（BALANCED）端子は、デジタル端子です。他機のアナログバランス音声端子とは接続しないでください。

Ⓕアナログ音声入力端子のある機器と接続する

■5.1チャンネル（マルチチャンネル）音声入力端子のある機器と接続する Ⓕ－①

マルチチャンネル接続コードまたは、オーディオ用ピンコード3本で、AVセンターのマルチチャンネル音声入力端子と本機のAUDIO OUT FRONT L/R、SURR 1 L/R、CENTER、SUBWOOFER端子を接続します。

基本設定の「アナログ音声出力」は、「Multi Channel（マルチ チャンネル）」に設定してください。(☞33ページ)

DVDオーディオやSACDのマルチチャンネル音声をお楽しみいただけます。

SURR（サラウンド） 1、SURR（サラウンド） 2出力端子について

本機のサラウンド出力端子はSURR1とSURR2の2つあります。どちらも同じ音声を出力します。

5.1チャンネルのアナログマルチチャンネル音声入力のあるAVセンターと接続するときは、AVセンターのサラウンド入力を本機のSURR 1端子と接続します。**この場合、本機背面のSURR（サラウンド） MODE（モード）（AUDIO（オーディオ） OUT（アウト））切換スイッチは「1」の位置にしてください。**

7.1チャンネルのアナログマルチチャンネル音声入力のあるAVセンターと接続するときは、AVセンターのもう1 系統のサラウンド入力を本機のSURR 2端子と接続します。**この場合、本機背面のSURR MODE（AUDIO OUT）切換スイッチは「1＋2」の位置にしてください。**

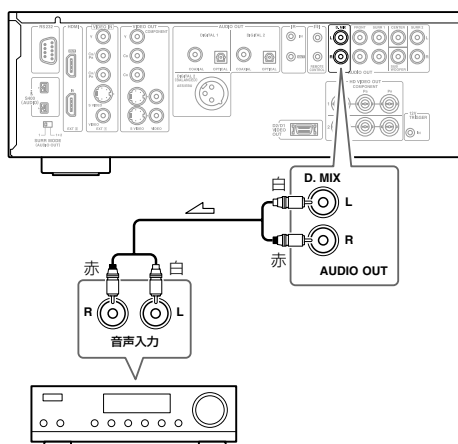
SURR（サラウンド） MODE（モード）(AUDIO（オーディオ） OUT（アウト）)切換スイッチについて

「1」のときはSURR１端子からのみ音声が出力されます。SURR2端子からの出力はありません。
「1＋2」のときはSURR2端子とSURR1端子から同じ音声が出力されます。ただし、出力レベルは「1」のときより3dB低く出力されます。

RDV-1.1(17-31)(SN29343658) 25 04.10.19, 9:56 AM
ブラック

■ 2チャンネル（ステレオ）音声入力端子のある機器と接続する F－②

市販のオーディオ用ピンコードで、AVセンターのアナログ音声入力端子と本機のAUDIO OUT D.MIX端子を接続します。

DVDオーディオやSACDなどのマルチチャンネル音声は、2チャンネルにダウンミックスして出力されます。

i.LINK（AUDIO）に対応している機器と接続する

G i.LINK（AUDIO）に対応している機器と接続する

i.LINKについて

i.LINKとは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子技術協会）によって標準化されたデジタルインターフェース規格です。
i.LINK対応機器どうしを接続すると、接続した機器間でのデジタル音声などのデータ転送や接続した機器のコントロールなどができます。

i.LINK(AUDIO）について

本機が対応しているi.LINK伝送フォーマットは、「i.LINK（AUDIO）」です。本機と接続する機器も「i.LINK（AUDIO）」に対応していることが必要です。i.LINK伝送フォーマットには他にBSデジタル放送などに使用されている「MPEG-2 TS」、DVDレコーダーやデジタルビデオなどで使用されている「DV」がありますが、本機はこれらには対応していません。

本機とi.LINK（AUDIO）対応機器とをi.LINKケーブルで接続すると、DVDオーディオやSACDなどのマルチチャンネル音声をデジタルで伝送することができます。映像信号の伝送はできません。
また、複数の機器をつないだときは、他の機器を経由していても、データの伝送や機器の操作ができます。

本機のIEEEインターフェースは、以下の規格に基づいています。
IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0
この規格のAM824 Sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、DVD-オーディオ、SACDに対応しています。

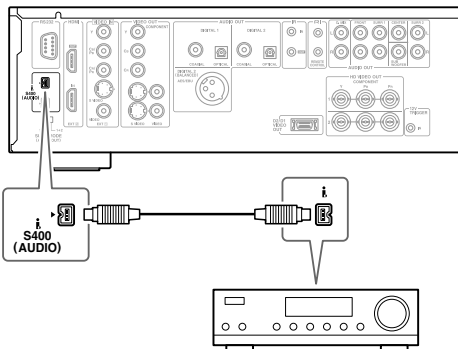
著作権保護について

本機はDTCP（Digital Transmission Contents Protection）に対応しています。DTCPとは、i.LINKでの接続を想定したデジタル機器間でのデータ伝送の際に、認証と暗号化により著作権を保護するシステムです。i.LINK接続によりDVDオーディオなどを再生するためには、接続する機器もDTCPに対応していることが必要です。

■ i.LINK（AUDIO）対応機器と接続する

付属のi.LINKケーブルを使用してください。
付属のi.LINKケーブル以外を使用するときは、4ピンのi.LINKケーブルで、S400以上に対応、長さが3.5m以下のものをご使用ください。

本機がi.LINK接続で伝送できるのは、音声信号のみです。映像信号は伝送されませんので、映像出力の接続も行ってください。（☞20～23ページ）

本機は、DVD-オーディオ、SACD、DVD-ビデオ、ビデオCD、CD、MP3の音声をデジタルで伝送できます。

SACD再生について（☞32、67ページ）

i.LINK設定が「オン」のときは、音声は、i.LINKから出力され、アナログ音声は出ません。
i.LINK設定が「オフ」のときは、音声はアナログ音声が出力され、i.LINKからは出力されません。

ご注意

- i.LINK（AUDIO）対応機器以外の機器（BSデジタル放送などの「MPEG-2 TS」対応機器やデジタルビデオなどの「DV」対応機器など）とは、接続しないでください。
- 再生中にi.LINKケーブルを抜き差ししたり、接続しているi.LINK対応機器の電源を切ったりしないでください。音声が途切れることがあります。
- DVDビデオの著作権保護されている96kHz音声をi.LINK端子から出力するときは、48kHzに変換して出力されます。

表示部に表示されるメッセージについて

「LINK CHECK」
i.LINK機器の接続を確認しています。

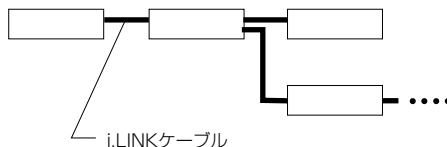
「i.LINK LOOP ERROR!!」
接続がループ（輪）状になっています。
ループ（輪）状に接続しないでください。

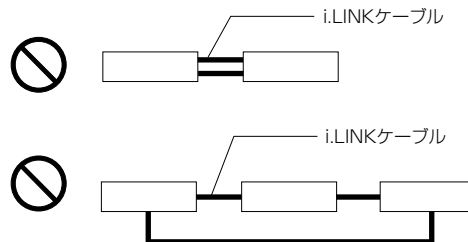
「i.LINK CONNECT MAX ERROR!!」
接続台数が63台を超えました。
連結している機器の台数を63台以下にしてください。

「i.LINK BUSFULL ERROR!!」
i.LINKの伝送容量が最大に達しました。
他の接続機器を停止してみてください。
再度表示される場合は、電源を入れ直してください。

i.LINK対応機器の連結について

i.LINK接続では、他のi.LINK対応機器を介して接続したときでも、データを伝送することができます。
デイジーチェーン（直列つなぎ）型接続では、最大17台まで接続できます。

途中から分岐して接続するツリー型での接続の場合は、最大63台まで接続できます。i.LINK端子を3つ以上もつ機器の場合に可能です。

下図のようなループ（輪）状に接続しないでください。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないように接続してください。

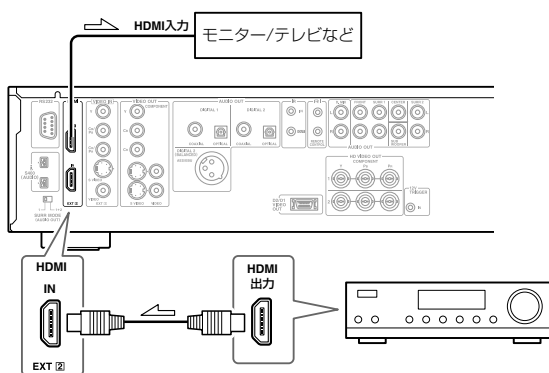
ご注意

- i.LINK（AUDIO）対応機器以外の機器（BSデジタル放送などの「MPEG-2 TS」対応機器やデジタルビデオなどの「DV」対応機器など）とは接続しないでください。
- i.LINK対応機器の再生中は、他の機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、新しい機器を接続したり、電源をオン/オフしたりしないでください。音声が途切れることがあります。
- i.LINK対応機器の中には、電源がスタンバイ状態やオフになっているとデータを伝送できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に記載されています。最大データ転送速度は、S100（100Mbps*）、S200（200Mbps*）、S400（400Mbps*）が定められています。
  本機の最大データ転送速度は、400Mbpsですが、接続している機器がS100やS200の場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が400Mbpsより遅くなる場合があります。できるだけ、最大データ転送速度が同じ機器を並べて接続してください。
  * Mbps（メガビーピーエス）とは、「mega bits per second」の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。400Mbpsでは、1秒間に400メガビットのデータを転送します。
- i.LINK機能は、すべてのi.LINK対応機器間での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。

RDV-1.1(17-31)(SN29343658) 27 04.10.19, 9:56 AM
ブラック

映像出力端子のある機器と接続する

H HDMI出力端子のある機器と接続する

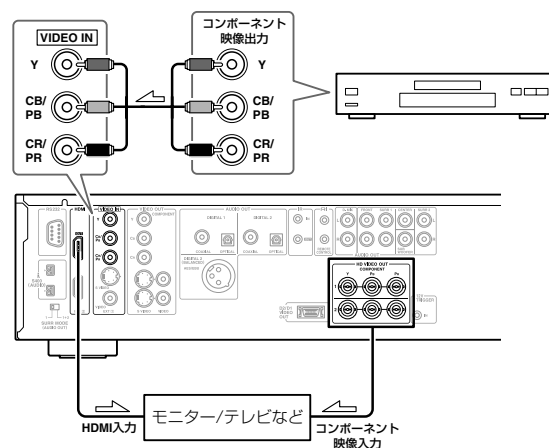
本機のHDMI IN端子にお手持ちの機器のHDMI出力端子を接続します。

Video Inputが「HDMI」のとき（☞58ページ）、HDMI IN端子から入力された信号はそのままHDMI OUT端子に出力されます。
接続には、本機に付属または市販のHDMIケーブルをご使用ください。

I コンポーネントビデオ出力端子のある機器と接続する

本機のVIDEO IN（COMPONENT）端子にお手持ちの映像機器のコンポーネント映像出力端子を接続します。

Video Inputが「External」のとき（☞58ページ）、VIDEO IN（COMPONENT）端子に入力された映像信号は、次のように出力されます。

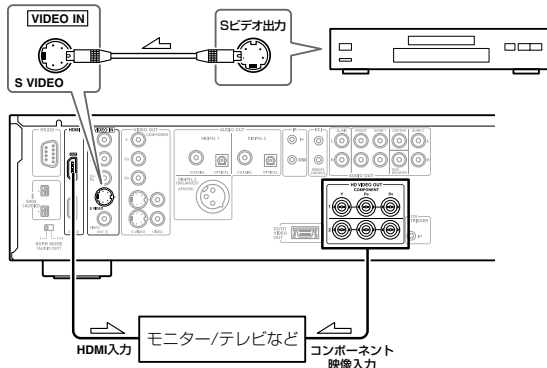
SD信号が入力されたとき
本機のHD VIDEO OUT（COMPONENT）1端子および2端子からプログレッシブで出力されます。HDMI OUT端子からの出力は、解像度を切り換えることができます。

HD信号が入力されたとき
本機のHD VIDEO OUT（COMPONENT）1端子からHD信号のまま出力されます。HD VIDEO OUT（COMPONENT）2端子からは、HD信号は出力されません。HDMI OUT端子からの出力は、解像度を切り換えることができます。

ご注意

ビデオデッキなど、映像信号に揺れのあるもの（映像早送り時）など入力する映像の品位によっては、モニター/テレビの画像が歪んだり、乱れたり、映らなくなることがあります。

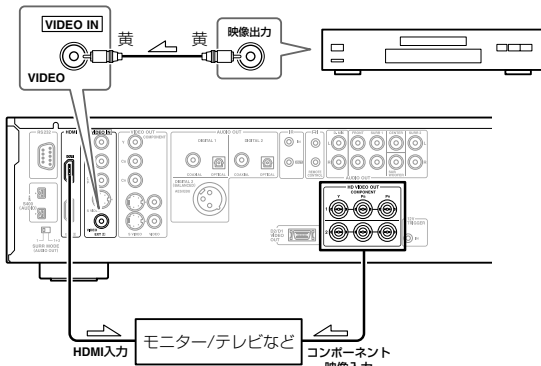
Ⓙ Sビデオ出力端子のある機器と接続する

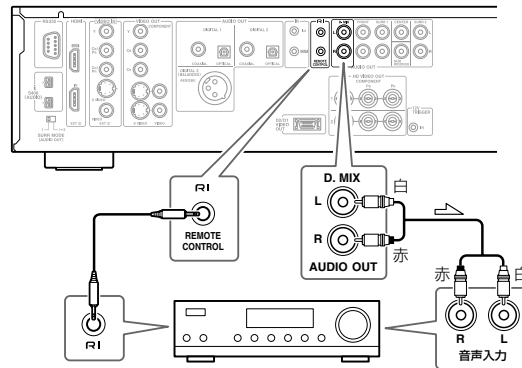
本機のVIDEO IN（S VIDEO）端子にお手持ちの機器のSビデオ出力端子を接続します。
Video Inputが「External」のとき（☞58ページ）、本機のVIDEO IN（S VIDEO）端子に入力された映像信号は、本機のHD VIDEO OUT（COMPONENT）1および2端子にプログレッシブで出力されます。
HDMI OUT端子からの出力は、解像度を切り換えることができます。

ご注意

ビデオデッキなど、映像信号に揺れのあるもの（映像早送り時）など入力する映像の品位によっては、モニター/テレビの画像が歪んだり、乱れたり、映らなくなることがあります。

Ⓚ コンポジット(ビデオ)出力端子のある機器と接続する

本機のVIDEO IN（VIDEO）端子にお手持ちの機器のコンポジット映像出力端子を接続します。
Video Inputが「External」のとき（☞58ページ）、本機のVIDEO IN（VIDEO）端子に入力された映像信号は、本機のHD VIDEO OUT（COMPONENT）1および2端子にプログレッシブで出力されます。
HDMI OUT端子からの出力は、解像度を切り換えることができます。

ご注意

ビデオデッキなど、映像信号に揺れのあるもの（映像早送り時）など入力する映像の品位によっては、モニター/テレビの画像が歪んだり、乱れたり、映らなくなることがあります。

RI ケーブルの接続

付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたインテグラリサーチ/オンキヨー製AVセンターなどを接続すると、AVセンターなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

接続する

本機の映像出力端子について

本機で再生する映像信号と入力された映像信号の出力先および出力方式

Video Inputの位置 ＼ 本機のビデオ出力端子		HDMI OUT *1	HD VIDEO OUT COMPONENT 1	HD VIDEO OUT COMPONENT 2	COMPONENT VIDEO OUT	S VIDEO VIDEO OUT	VIDEO VIDEO OUT	D2/D1 VIDEO
DVD（本機）	本機再生	DVD映像 *3	DVD映像 *6（プログレッシブ）	DVD映像 *6（プログレッシブ）	DVD映像 *7（インターレース）			DVD映像（インターレースまたはプログレッシブ）*2、*6、*7
External（外部映像入力）	（VIDEO IN）COMPONENT VIDEOから入力（SD信号*4時）	外部映像 *3	外部映像（プログレッシブ）	外部映像（プログレッシブ）	DVD映像 *7（インターレース）			DVD映像 *7（インターレース）
	（VIDEO IN）COMPONENT VIDEOから入力（HD信号*5時）	外部映像 *3	外部映像（HD信号のまま）	信号は出力されません				
	（VIDEO IN）S VIDEOから入力	外部映像 *3	外部映像（プログレッシブ）	外部映像（プログレッシブ）				
	（VIDEO IN）VIDEOから入力	外部映像 *3	外部映像（プログレッシブ）	外部映像（プログレッシブ）				
HDMI（HDMI入力）	HDMI INから入力	HDMI INからの映像をそのまま出力	DVD映像 *6（プログレッシブ）	DVD映像 *6（プログレッシブ）	DVD映像 *7（インターレース）			DVD映像 *7（インターレース）

*1 接続する機器がHDCPに対応していることが必要です。HDCP 認証ができないモニター/テレビには出力されません。HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection）とは、デジタルコンテンツの不正コピーを防止するための著作権保護システムです。

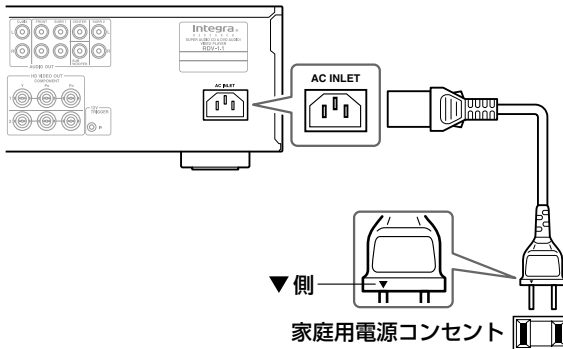
*2 出力方式（インターレースまたはプログレッシブ）は、設定画面で選択できます。（☞65ページ）

*3 リモコンのResolutionボタンでモニター/テレビが対応する解像度に切り換えることができます。

*4 480i(525i)の映像信号

*5 480p(525p)/720p(750p)/1080i(1125i)の映像信号

*6 設定画面でプログレッシブ画質を調整できます。（☞65ページ）

*7 設定画面でインターレース画質を調整できます。（☞64ページ）

電源コードを接続する

電源コードを接続する前に

すべての接続が完了していることを確認してください。付属の電源コードを使用してください。この電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態でAC INLETから電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。

よりよい音で聞いていただくために

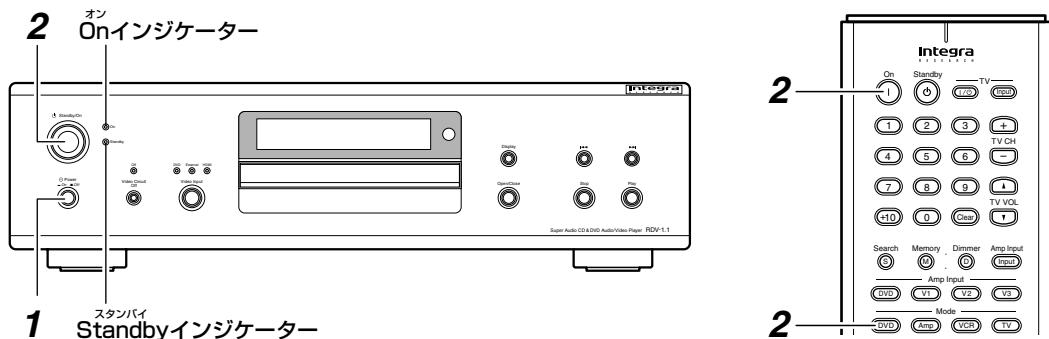
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの目印線（▲）側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

！ヒント

- お買い上げ時、本機のPowerスイッチはOnの状態になっています。電源コードを接続すると、Standbyインジケーターが点灯し、スタンバイ状態となります。
- 本機はモニター/テレビ画面を使って設定や操作を行います。モニター/テレビなどとの映像接続は必ず行ってください。
- 接続しているモニター/テレビの電源を入れ、モニター/テレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます。詳しくはモニター/テレビの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる

1

Power On Off

本体の Power スイッチを押して主電源を入れる

Standbyインジケーターが点灯し、スタンバイ状態となります。

- Powerスイッチが「Off」になっていると、リモコンのボタンは働きません。
- 主電源を切るには、もう一度Powerスイッチを押します。

2

リモコン

本体の Standby/On ボタンを押す
リモコンでは、DVD Mode ボタンを押してから On ボタンを押して電源を入れる

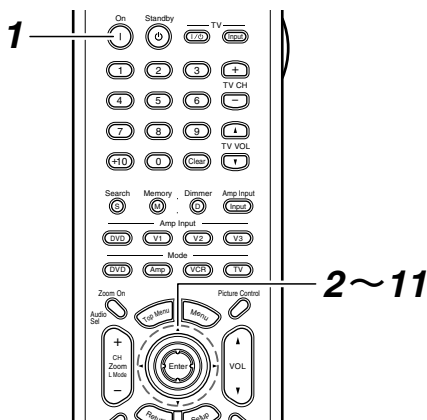
Standbyインジケーターが消灯し、Onインジケーターが点灯します。また、本体表示部も点灯します。

！ヒント

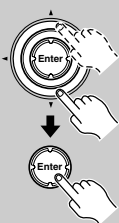
スタンバイ状態で、本体のPlayボタンまたはリモコンの▶ボタン、あるいは本体およびリモコンのOpen/Closeボタンを押すと、電源が入ります。

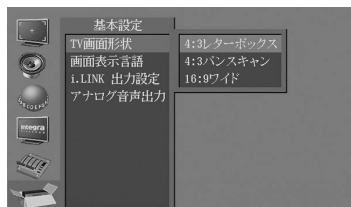
基本設定

DVDの基本設定をする

モニター/テレビ画面を使ってDVDの基本的な設定をします。(この機能を再生中に使うことはできません。)
モニター/テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。最初に本機の電源を入れたときに、モニター/テレビに基本設定画面が表示されます。

1 On(オン)ボタンを押して電源を入れる

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、モニター/テレビに基本設定画面が表示されます。

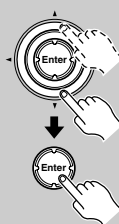
表示されないときや、2度目以降にこの画面表示をするときは、Setup(セットアップ)ボタンを押してください。

2 接続したモニター/テレビの画面形状を選ぶ

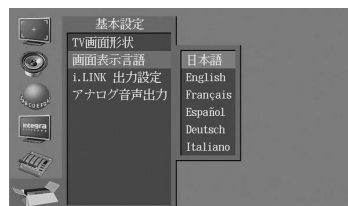
▲/▼ボタンでモニター/テレビの種類を選び、Enter(エンター)ボタンを押します。

4：3 レターボックス
縦横比が4:3(従来サイズ)のモニター/テレビと接続したときに選びます。ワイド映像の上下に黒帯をつけます。(お買い上げ時の設定)

4：3 パンスキャン
縦横比が4 ：3(従来サイズ)のモニター/テレビと接続したときに選びます。画面全体に画像が表示され、左右両端の画像がカットされます。この方式に対応していないDVDのときはレターボックス方式になります。

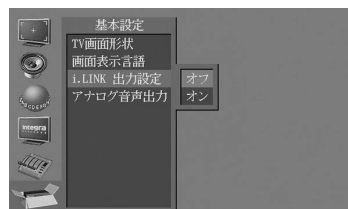
16：9 ワイド
縦横比が16：9(ワイド)のモニター/テレビと接続したときに選びます。

!ヒント

ディスクによってはこの設定の効果がない場合があります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

3 画面表示に使う言語の種類を選ぶ

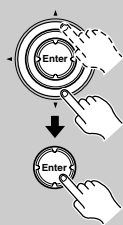
▲/▼ボタンで画面に表示したい言語の種類を選び、Enterボタンを押します。

日 本 語 ：日本語で表示します。(お買い上げ時の設定)
English ：英語で表示します。
Français：フランス語で表示します。
Español ：スペイン語で表示します。
Deutsch ：ドイツ語で表示します。
Italiano ：イタリア語で表示します。

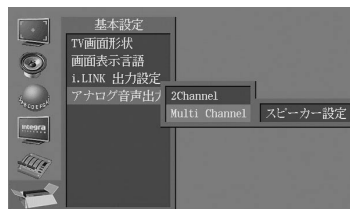
4 i.LINK(アイ リンク)出力の設定をする

▲/▼ボタンで設定を選び、Enterボタンを押します。

オフ：
i.LINK経由で音声を出力しないときに選びます。
SACD再生時、i.LINK端子から音声を出力しません。SACDの音声は、アナログ音声出力端子から出力されます。(お買い上げ時の設定)

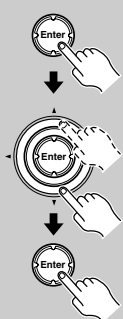
オン：
i.LINK経由で音声を出力するときに選びます。
SACD再生時、i.LINK端子から音声を出力します。SACDの音声は、アナログ音声出力端子から出力されません。

「オン」を選ぶと次の「アナログ音声出力」は設定できません。

RDV-1.1(32-34)(SN29343658) 32 04.10.19, 9:57 AM
ブラック

5 アナログ音声出力の設定をする

▲/▼ボタンで設定を選び、Enter(エンター)ボタンを押します。

2 Channel(チャンネル)：
モニター/テレビのステレオ音声入力端子やアンプのステレオ音声入力端子と本機のAUDIO OUT（FRONT(フロント)）端子を接続したときに選びます。

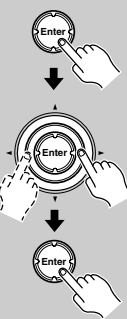
Multi Channel(マルチ チャンネル)：
AVセンターのマルチチャンネルアナログ音声入力端子などと本機のAUDIO OUT（FRONT/SURR 1/CENTER/SUBWOOFER）端子を接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

ここで「Multi Channel」を選択した場合は、手順 *6*～ *10* の「スピーカー設定」を行います。「2 Channel」を選択した場合は、Enterボタンを押すと、基本設定画面が消え、基本設定が終了します。

6 Enter(エンター)ボタンを押して、▲/▼ボタンでスピーカー設定の「オン」または「オフ」を選び、Enterボタンを押す

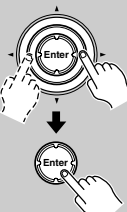
オン：
接続しているマルチチャンネル対応のAVセンターにスピーカー設定機能がないときに選びます。

オフ：
接続しているマルチチャンネル対応のAVセンターにスピーカー設定機能があるときに選びます。

「オフ」を選んでEnterボタンを押すと基本設定画面が消え、基本設定が終了します。

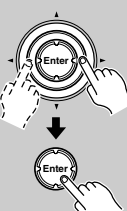
「オン」を選ぶと、次の画面に進みます。

7 Enterボタンを押して、◀/▶ボタンで「サブウーハーの設定」をして、Enterボタンを押す

オフ：
サブウーハーを接続していないときに選びます。

オン：
サブウーハーを接続しているときに選びます。

8 ◀/▶ボタンで「フロントスピーカーの設定」をして、Enterボタンを押す

大：
大型のフロントスピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm以上の場合）

小：
小型のフロントスピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm未満の場合）

サブウーハーの設定が「オフ」のときは、自動的に「大」に固定されます。

9 ◀/▶ボタンで「センタースピーカーの設定」をして、Enterボタンを押す

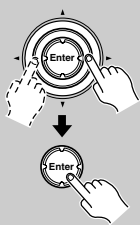
大：
大型のセンタースピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm以上の場合）

小：
小型のセンタースピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm未満の場合）

オフ：
センタースピーカーを接続していないときに選びます。

- フロントスピーカーの設定が「小」のときは、「大」は設定できません。
- サブウーハーの設定が「オフ」のときは、「小」は設定できません。

▷次ページに続く

10

◀/▶ボタンで「サラウンドスピーカーの設定」をして、Enter(エンター)ボタンを押す

大：
大型のサラウンドスピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm以上の場合）

小：
小型のサラウンドスピーカーを接続しているときに選びます。（目安として、スピーカーの口径が16cm未満の場合）

オフ：
サラウンドスピーカーを接続していないときに選びます。

- フロントスピーカーの設定が「小」のときは、「大」は設定できません。
- サブウーハーの設定が「オフ」のときは、「小」は設定できません。

11

Enterボタンを押す

基本設定画面が消え、基本設定が終了します。

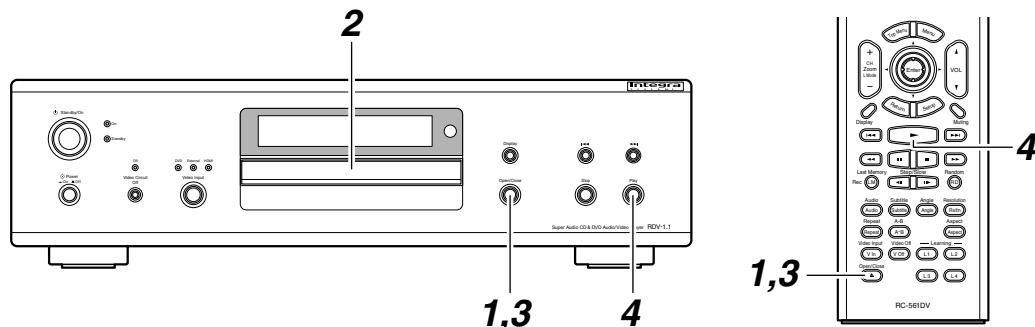
- 基本設定画面が消えないときは、Setup(セットアップ)ボタンを押してください。

！ヒント

ここで設定した内容は、応用設定で変更することができます。
(☞61ページ)

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する(基本の再生)

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する

DVDビデオを見るときはモニター/テレビの電源を入れ、モニター/テレビ側の入力の設定を本機に切り換えてください。

1

本体またはリモコンのOpen/Close(オープン/クローズ)ボタンを押してディスクトレイを開く

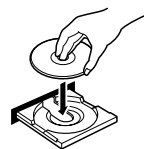
！ヒント

スタンバイ状態のときに、本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押すと、自動的に本機の電源が入ります。

2

ディスクをディスクトレイにセットする

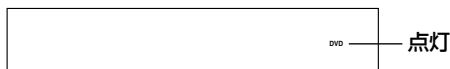
ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押してディスクトレイを閉じる

ディスクを読み込んだ後、セットしたディスクの種類が表示されます。
- ディスクを読み込むのに時間がかかることがあります。

例：DVDビデオの場合

4

本体のPlay(プレイ)ボタンまたはリモコンの▶(プレイ)ボタンを押す

ディスクを取り出すには

本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押します。

ご注意

本機は、CPRM（Content(コンテンツ) Protection(プロテクション) for Recordable(レコーダブル) Media(メディア)）技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）に対応していません。このようなディスクを再生するとノイズが出力されますので、再生しないでください。

本書では、各説明項目が特定のディスクのみ対応しているときは、対応しているディスクを DVD-Video などと記載しています。また、 DVD-VR はDVD-RW（VRモード）を、 VCD はビデオCDを表わしています。

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する（基本の再生）

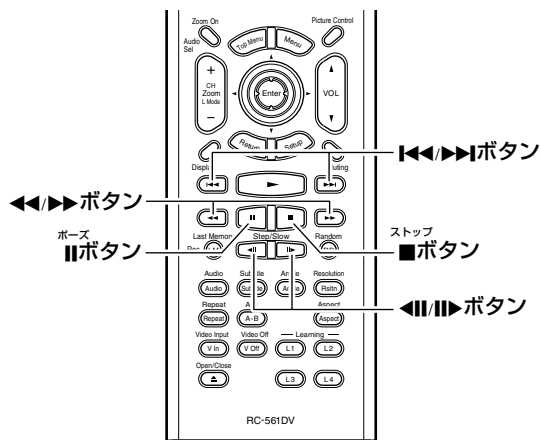
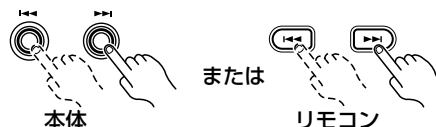
再生を止める

本体のStop（ストップ）ボタンまたはリモコンの■（ストップ）ボタンを押す

リジューム機能（☞88ページ）が働きます。
本体のPlay（プレイ）ボタンまたはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押すと、再生を止めたところから再び再生が始まります。
もう一度Stop（または■）ボタンを押すと、停止します。
リジューム機能は解除されます。

一時停止する

リモコンの‖（ポーズ）ボタンを押す

表示部に‖表示が点灯します。▶ボタンを押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

見たい/聞きたいチャプター/トラックにスキップする

再生中に本体またはリモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押す

|◀◀ボタンを1回押すと再生中のチャプター/トラックのはじめに戻り、もう1回押すと1つ前のチャプター/トラックに戻ります。▶▶|ボタンを押すと次のチャプター/トラックに進みます。

早送り/早戻しをする

再生中にリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押す

◀◀ボタンを押すと早戻しになり、▶▶ボタンを押すと早送りになります。
◀◀または▶▶ボタンをくり返し押すと、早戻し、早送りの早さが5段階に変わります。
通常の再生に戻すには、▶（プレイ）ボタンを押します。

ご注意

DVD-RW（VRモード）では、チャプターをまたいでの早送り/早戻しはできません。

画像をコマ送りで見る DVD-Video DVD-VR

一時停止中にリモコンのStep/Slow（ステップ/スロー）◀‖または‖▶ボタンを押す

‖▶ボタンを押すたびに、コマ送り再生をします。
◀‖ボタンを押すたびに、逆方向にコマ送り再生をします。
通常の再生に戻すには、▶（プレイ）ボタンを押します。

！ヒント

- コマ送り中は音声が出力されません。
- ディスクによってはコマ送り再生中に画像が揺れることがあります。
- 静止画の画像にブレがあるときは、機能設定で画像調整をすることができます。（☞78ページ）
- DVD-RW（VRモード）では、逆方向のコマ送り再生はできません。

画像をスローで見る DVD-Video DVD-VR

リモコン

再生中にリモコンのStep/Slow(ステップ スロー)◀IIまたはII▶ボタンを押す

II▶ボタンを押すと、画面に「スロー1」と表示され、スロー再生が始まります。◀IIボタンを押すと、逆方向にスロー再生が始まります。
くり返しボタンを押すと、スロー再生の早さが4段階に切り換わります。

通常の再生に戻すには、▶(プレイ)ボタンを押します。

!ヒント

- スロー再生中は音声が出力されません。
- DVD-RW(VRモード)では、逆方向のスロー再生はできません。

DVDオーディオの再生について

DVDオーディオには、マルチチャンネル音声で収録されたディスクがあります。

■DVDオーディオをマルチチャンネルで再生する

AVセンターなどのマルチチャンネルアナログ入力端子と接続しているときは、本機の「アナログ音声出力」を「Multi Channel(マルチ チャンネル)」に設定してください。(☞33、67ページ)
AVセンターなどのi.LINK(アイ リンク)端子と接続しているときは、本機の「i.LINK出力設定」を「オン」に設定してください。(☞32、67ページ)

- AVセンターなどの2チャンネル音声入力端子と本機のANALOG AUDIO OUT D.MIX端子を接続しているときは、2チャンネル(アナログ音声)での再生になります。
- AVセンターなどのデジタル入力端子と接続しているときは、2チャンネル(デジタル音声)での再生になります。本機のデジタル出力は「オン」に設定してください。ただし、ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。(☞66ページ)

下記機能に対応したDVDオーディオの再生については、各記載ページをご覧ください。

■グループに対応したディスクの再生

グループを切り換えるには…
サーチモード(☞39ページ)で切り換えます。

1つのグループを再生後に停止するには…
「タイトル/グループ停止」を「オン」に設定します。(☞78ページ)

すべてのグループを続けて再生するには…
「タイトル/グループ停止」を「オフ」に設定します。(☞78ページ)

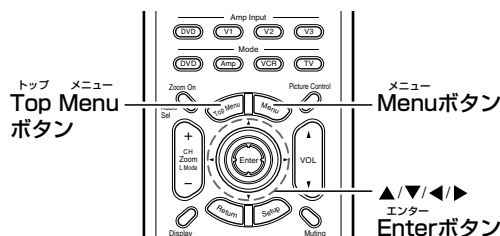
■DVDビデオが収録されているディスクの再生

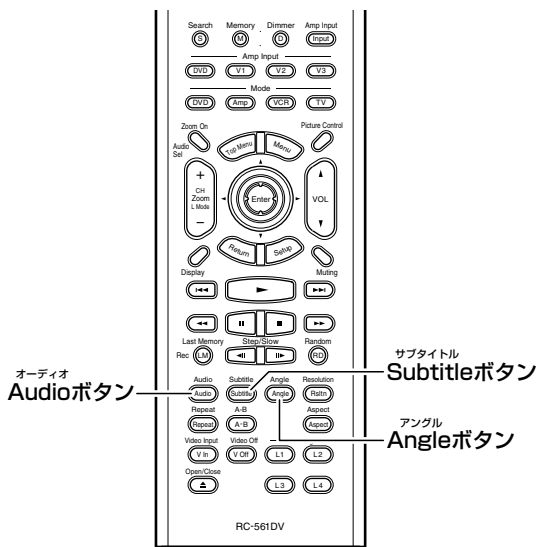
収録されているDVDビデオを再生することができます。(☞79ページ)

ディスクメニューについて

DVDビデオやDVDオーディオでは、ディスクに含まれているメニューで音声や字幕の言語を切り換えたり、タイトル/チャプターやグループ/トラックを選んだり、特別に収録された映像などを見ることができるものがあります。メニュー画面の操作方法はディスクにより異なりますので、ディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。

メニューを表示するには
Menu(メニュー)ボタンまたはTop Menu(トップ メニュー)ボタンを押してください。
ディスクによってはメニューが含まれていない場合もあります。

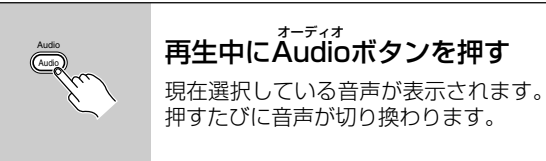
DVDビデオやDVDオーディオの再生中にモニター/テレビ画面にメニューが表示されたときは
▲/▼/◀/▶ボタンや数字ボタンで言語や音声方式、タイトル/チャプターやグループ/トラックを選び、Enter(エンター)ボタンを押して決定します。

ディスクを再生する(基本編)

音声、字幕、アングルを切り換える

再生中に音声を切り換える

DVD-Video DVD-Audio

複数の言語で音声が記録されているDVDビデオや複数の音声チャンネルが記録されているDVDオーディオでは、再生中に音声言語や音声チャンネルを切り換えることができます。

再生中にAudioボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

!ヒント

- DVDビデオの中にはディスクのメニューから音声チャンネルを選ぶディスクもあります。
- 音声チャンネルについては「音声言語の種類を選ぶ」(☞75ページ)をご覧ください。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- DVDビデオの中には、再生中にリモコンのAudioボタンで音声を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。

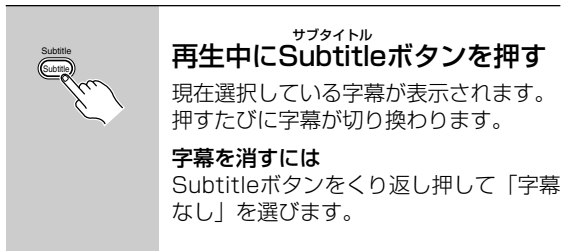
再生中に字幕を切り換える DVD-Video

複数の言語で字幕が記録されているDVDビデオでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSubtitleボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕が切り換わります。

字幕を消すには

Subtitleボタンをくり返し押して「字幕なし」を選びます。

!ヒント

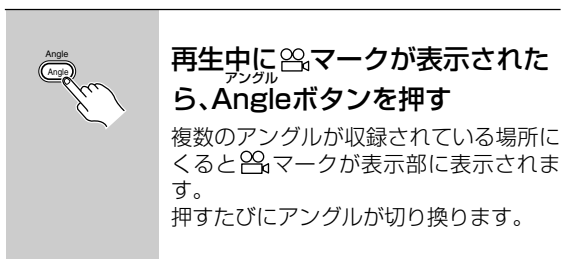
DVDビデオの中には、再生中にリモコンのSubtitleボタンで字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。

カメラアングルを切り換える DVD-Video

複数の方向(アングル)から写した映像を収録したDVDビデオは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDビデオのジャケットには🎥マークが付いています。

再生中に🎥マークが表示されたら、Angleボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると🎥マークが表示部に表示されます。
押すたびにアングルが切り換ります。

!ヒント

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- ディスクによってはディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

見たい/聞きたい場所を探す

タイトル/チャプター、トラック/グループを指定して再生する

DVDビデオのタイトル/チャプター、DVDオーディオのトラック/グループを指定して再生します。

1

再生中にSearch(サーチ)ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

DVDビデオの場合

2

希望のタイトル/チャプターまたはトラック/グループを選ぶ

DVDビデオのタイトル、DVDオーディオのグループを選択する場合は◀ ボタンを押し、数字ボタンで番号を指定します。

例：

- 3を選ぶには「3」を押します。
- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

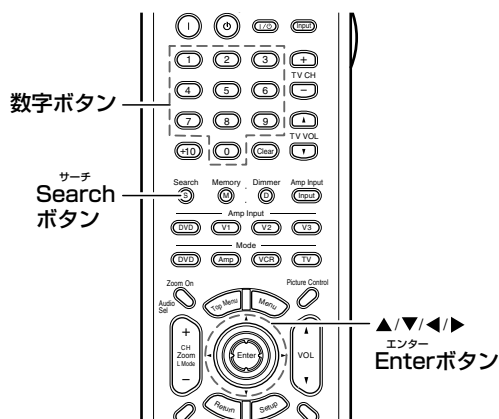
取り消したい場合はClear(クリア)ボタンを押します。

3

Enter(エンター)ボタンを押す

再生が始まります。

ご注意

ランダム再生中は、タイトル/チャプター、トラック/グループを指定して再生することはできません。

！ヒント

- ディスクによってはタイトル、グループのみ選択できるもの、またタイトル、グループが選択できないディスクがあります。
- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接タイトル/チャプターやトラック/グループを選択することもできます。（10を選ぶには「＋10」と「0」を押します。23を選ぶには、「＋10」、「＋10」と「3」を押します。）
- ディスクにタイトル/チャプター、トラック/グループが1つしかない場合はタイトル/チャプター、トラック/グループは選択できません。
- ディスクの中のメニューから選べる場合もあります。

タイムサーチを使って再生する

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

再生中にSearchボタンを2回押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

数字ボタンで再生したい時間を指定する

例：

- 21分43秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分（＝74分00秒）を選ぶには「1」、「1」、「4」、「0」、「0」（または「7」、「4」、「0」、「0」）と押します。

3

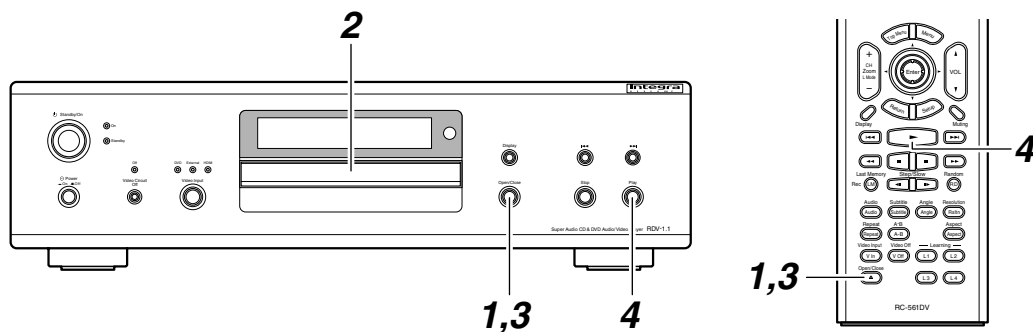
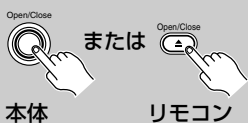
Enterボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください。
- ディスクによっては指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中はタイムサーチはできません。
- タイトル内の時間が指定できます。
- DVDビデオとDVD-RW（VRモード）は再生中のタイトル内で、DVDオーディオはトラック内での時間指定ができます。

CD、SACDやビデオCDを再生する（基本の再生）

CD、SACDやビデオCDを再生する

1

本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押してディスクトレイを開く

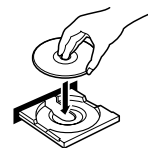
！ヒント

スタンバイ状態のときに、本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押すと、自動的に本機の電源が入ります。

2

ディスクをディスクトレイにセットする

ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。
トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押してディスクトレイを閉じる

ディスクを読み込んだあと、セットしたディスクの種類が表示されます。
● ディスクを読み込むのに時間がかかることがあります。

例：CDの場合

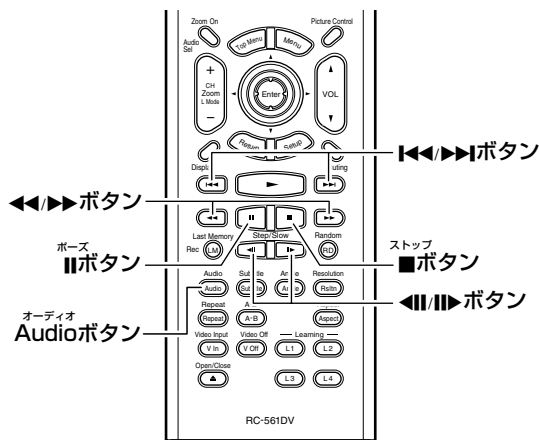
4

Play
または
本体
リモコン

本体のPlayボタンまたはリモコンの▶ボタンを押す

ディスクを取り出すには

本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押します。

RDV-1.1(40-43)(SN29343658) 40 04.10.19, 9:58 AM
ブラック

SACDについて

SACDに収録されている音声フォーマットは、マルチチャンネルとステレオの2種類あります。再生時、ディスクに記載されている収録フォーマットをご確認ください。

ステレオ
Stereo ：2チャンネル（ステレオ）で収録されています。

ステレオマルチチャンネル
Stereo Multi-ch ： 2チャンネル（ステレオ）とマルチチャンネルで収録されています。

ハイブリッド
Hybrid ：SACDの音声フォーマットの他にCD音声が収録（CD層）されたもので、通常のCDプレーヤーでも再生できます。

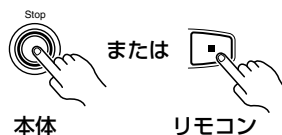
本機は、優先して再生するエリアを設定できます。（☞72ページ）

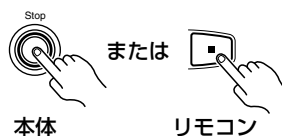
i.LINK接続しているときの音声出力について（☞32、67ページ）
i.LINK経由で出力するとき
i.LINK出力設定が「オン」になっていることを確認してください。
アナログ音声出力端子から出力するとき
i.LINK出力設定が「オン」になっているとアナログ音声は出力されません。「オフ」にしてください。

SACDの再生エリアを切り換える SACD

Audio（オーディオ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに、「Multi ch（マルチ チャンネル）エリア」、「CDエリア」、「2chエリア」が切り換わります。

再生を止める CD SACD

本体のStop（ストップ）ボタンまたはリモコンの■（ストップ）ボタンを押す

再生を止める VCD

本体のStopボタンまたはリモコンの■ボタンを押す

リジューム機能（☞88ページ）が働きます。
本体のPlay（プレイ）ボタンまたはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押すと、再生を止めたところから再び再生が始まります。
もう一度Stop（または■）ボタンを押すと、停止します。リジューム機能は解除されます。

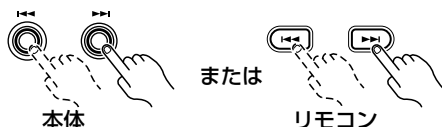
一時停止する

リモコンのII（ポーズ）ボタンを押す

表示部にII表示が点灯します。▶（プレイ）ボタンを押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

ディスクを再生する（基本編）

CD、SACDやビデオCDを再生する(基本の再生)

見たい/聞きたいトラックにスキップする

再生中に本体またはリモコンの⏮または⏭ボタンを押す

⏮ボタンを1回押すと再生中のトラックのはじめに戻り、もう1回押すと1つ前のトラックに戻ります。
⏭ボタンを押すと次のトラックに進みます。

早送り/早戻しをする

再生中にリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押す

◀◀ボタンを押すと早戻しになり、▶▶ボタンを押すと早送りになります。
◀◀または▶▶ボタンをくり返し押すと、早戻し、早送りの早さが3段階に変わります。
通常の再生に戻すには、▶(プレイ)ボタンを押します。

！ヒント

ビデオCDの早送り、早戻し中は音声は聞こえません。

画像をコマ送りで見る VCD

一時停止中にリモコンのStep/Slow(ステップ スロー)II▶ボタンを押す

II▶ボタンを押すたびにコマ送りをします。
通常の再生に戻すには、▶(プレイ)ボタンを押します。

ご注意

逆方向のコマ送り再生はできません。

！ヒント

- コマ送り中は音声が出力されません。
- ディスクによってはコマ送り再生中に画像が揺れることがあります。
- 静止画の画像にブレがあるときは、機能設定で画像調整をすることができます。(☞78ページ)

画像をスローで見る VCD

再生中にリモコンのStep/Slow II▶ボタンを押す

II▶ボタンを押すと、画面に「スロー1」と表示され、スロー再生が始まります。
くり返しボタンを押すと、スロー再生の早さが3段階に切り換わります。
通常の再生に戻すには、▶ボタンを押します。

ご注意

逆方向のスロー再生はできません。

！ヒント

スロー再生中は音声が出力されません。

ディスクメニューについて VCD

PBC(Playback(プレイバック) Control(コントロール))機能付きのビデオCD(☞85ページ「ビデオCDについて」)は、メニューでトラックを選べます。

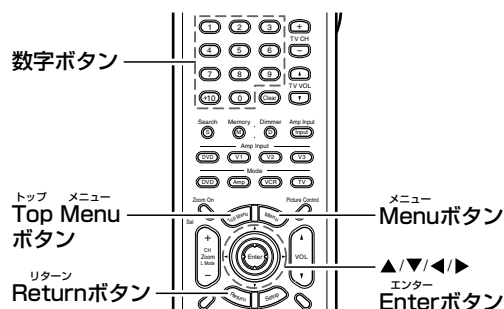
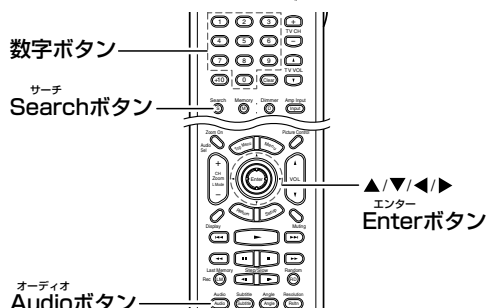
ビデオCDの再生中にモニター/テレビ画面にメニューが表示されたときは

数字ボタンで項目や設定を選びます。

メニュー画面を出さずに(PBC再生を解除して)再生するときは

停止中にTop(トップ) Menu(メニュー)ボタンを押します。
数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

PBC再生中にメニューに戻るには

Return(リターン)ボタンを押します。
機能設定のPBCを「オン」にしておく必要があります。(☞79ページ)

音声を切り換える/見たい、聞きたい場所を探す

再生中に音声を切り換える VCD

ステレオ、モノラルL、モノラルRを切り換えることができます。

再生中にAudio（オーディオ）ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。
押すたびに音声が切り換わります。

！ヒント

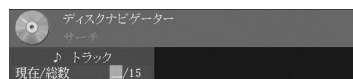
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

トラックを指定して再生する

ビデオCD、SACD/CDのトラックを指定して再生します。

1

再生中にSearch（サーチ）ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

希望のトラックを選ぶ

例：
- 3を選ぶには「3」を押します。
- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

取り消したい場合はClear（クリア）ボタンを押します。

3

Enter（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

ご注意

ランダム再生中は、トラックを指定して再生することはできません。

！ヒント

- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接トラックを選択することもできます。（10を選ぶには「＋10」と「0」を押します。）
- ビデオCDの中のメニューから選べる場合もあります。
- ビデオCDのPBC再生中は、トラックを指定して再生したり、数字ボタンでトラックを選んだりすることはできません。

タイムサーチを使って再生する

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

再生中にSearchボタンを2回押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

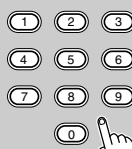
数字ボタンで再生したい時間を指定する

例：
- 21分43秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分（＝74分00秒）を選ぶには「1」、「1」、「4」、「0」、「0」（または「7」、「4」、「0」、「0」）と押します。

3

Enterボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください。
- ディスクによっては指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中はタイムサーチはできません。
- トラック内の時間が指定できます。
- ビデオCDのPBC再生中は、タイムサーチできません。

MP3、JPEGを再生する（基本の再生）

MP3を再生する

MP3を再生します。MP3とは音声圧縮技術規格の名称です。記録方法やデータによっては、再生できない場合があります。

1

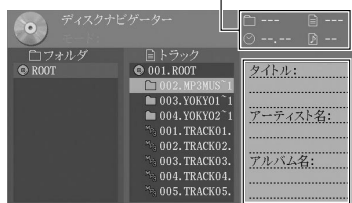
ディスクをセットする

自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。
トラック欄にディスク内のフォルダ、トラックが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押してフォルダを選び、Enter（エンター）ボタンを押す

フォルダが開き、トラック欄に1つ下の階層が表示されます。

再生中のトラックのフォルダ/トラック番号、経過時間を表示します

再生中のトラックのタイトル、アーティスト名、アルバム名を表示します

自動的に番号が表示されます。

フォルダを閉じて前の手順に戻るには
Return（リターン）ボタンを押します。

最初のナビゲーター画面に戻るには
Top Menu（トップ メニュー）ボタンを押します。

3

▲/▼ボタンで再生したいトラックを選び、Enterボタンを押す

再生が始まります。
再生中にはフォルダ番号、トラック番号、経過時間が画面の右上に表示されます。

！ヒント

ランダム再生中は、◀/▶/▲/▼ボタンでのディスクナビゲーター画面の操作はできません。

数字ボタンで直接トラックを選ぶこともできます。
10を選ぶには、「＋10」と「0」、23を選ぶには「＋10」、「＋10」と「3」を押します。

聞きたいトラックにスキップする

再生中に本体またはリモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す

I◀◀ボタンを1回押すとトラックのはじめに戻り、もう1回押すと前のトラックに戻ります。▶▶Iボタンを押すと、次のトラックに進みます。

早送り/早戻しをする

再生中にリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押す

▶▶ボタンを押すと早送りになり、◀◀ボタンを押すと早戻しになります。くり返し押すと、早送り、早戻しの速さが3段階に変わります。（モニター/テレビ画面で確認できます。）

通常の再生に戻すには

▶（プレイ）ボタンを押します。

聞きたいトラックを選ぶ MP3

1

再生中にSearch(サーチ)ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

数字ボタンでフォルダ内のトラック番号を指定する

例：
- 003を選ぶには「3」を押します。
- 010を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 037を選ぶには「3」と「7」を押します。

3

Enter(エンター)ボタンを押す

再生が始まります。

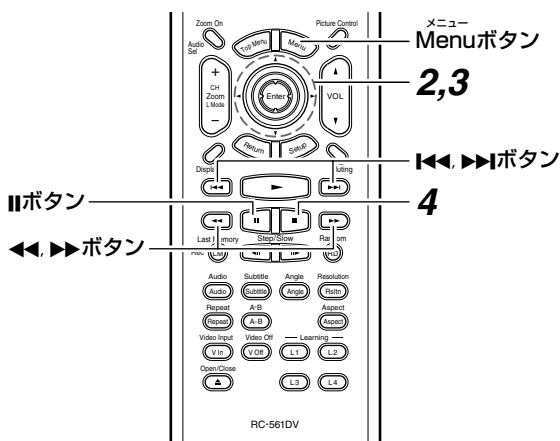
！ヒント

- ディスクナビゲーターのサーチ画面を表示しなくても数字ボタンで選択することもできます。（10を選ぶには「+10」と「0」を押します。23を選ぶには「+10」、「+10」と「3」を押します。）
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。

ディスクを再生する(基本編)

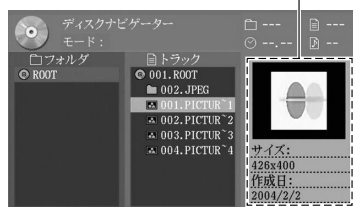
MP3、JPEGを再生する(基本の再生)

JPEG CDを再生する

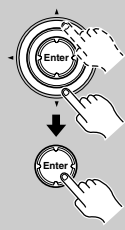
モニター/テレビ画面でJPEG画像を見ることができます。JPEGとは静止画の圧縮方式です。記録方法やデータによって再生できない場合や操作に制限がかかることがあります。

1

JPEG(画像)データの入ったディスクをトレイにセットする

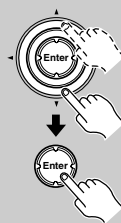
ディスクを入れると自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。ディスクによってサムネイル一覧画面が表示されることもあります。

選んでいる画像のサムネイル、サイズ、作成日を表示します

！ヒント

- JPEGの解像度が640/480ピクセル以下の場合のみサムネイルが表示されます。
- 解像度が640/480以上の場合は、サムネイルデータがあるときのみ表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して「フォルダ」を選び、Enterボタンを押す

フォルダが開き、トラック欄に1つ下の階層のフォルダや画像が表示されます。

3

▲/▼ボタンで「再生したい画像」を選び、Enterボタンを押す

スライドショーで再生が始まります。
スライドショー中は以下の操作ができます。

一時停止する
⏸ボタンを押します。
もう一度⏸ボタンを押すと、停止したところから再び再生が始まります。

次の（前の）ページを表示する
⏭ ボタンを押すと次のページを表示し、⏮ボタンを押すと前のページを表示します。

画像を回転させる
▲/▼/◀/▶ボタンを押します。
ズーム機能を使っているときは、操作できません。

ズーム機能を使う
Zoom Onボタンを押し、Zoom＋/－ボタンを押します。または、◀◀/▶▶ボタンでも操作できます。

- ▶ボタンを押すと、再生に戻ります。
- 画像によってはズームできないものもあります。

4

■ボタンを押す

再生が停止します。
Menuボタンを押して、再生を停止させることもできます。

サムネイル一覧画像を見るには

画像ファイルが選ばれているとき、または再生中にMenuボタンを押します。サムネイル一覧画面が表示されます。

ディスクナビゲーターを表示するには

Top Menuボタンを押します。

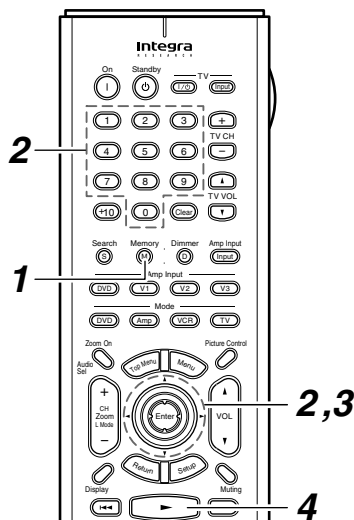
DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

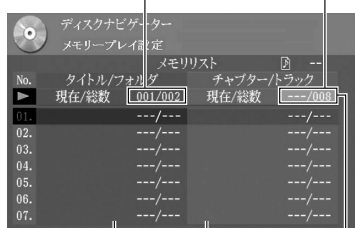
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする DVD-Video DVD-Audio

DVDビデオのタイトル/チャプター、DVDオーディオのグループ/トラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1

Memory(メモリー)ボタンを押す

メモリープレイ設定画面が表示されます。
◀/▶ボタンでカーソルを動かして、入力するタイトル/チャプターまたはグループ/トラックを選びます。

グループ/タイトル を入力するとき　チャプター/トラック を入力するとき

2

▲/▼ボタンでメモリーしたいタイトル/チャプターやグループ/トラックを指定する

数字ボタンでも入力することができます。

例：

- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。
- オールを選ぶには「0」を押します。

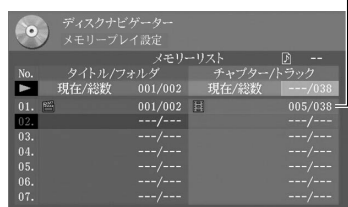
「オール」を選ぶとディスク内の全てのタイトル/チャプター、グループ/トラックをメモリーします。
取り消したい場合は、Clear(クリア)ボタンを押します。

3

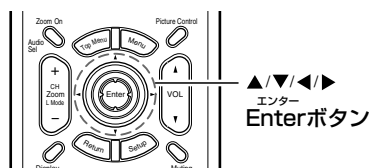
Enter(エンター)ボタンを押す

メモリーされた チャプター/トラック

続いて指定するには手順 ***2***、***3*** をくり返します。

4

▶(プレイ)ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

ディスクを再生する（応用編）

RDV-1.1(47-50)(SN29343658) 47 04.10.19, 10:00 AM
ブラック

メモリー再生を停止するには

■ボタンを2回押す

メモリーする項目を挿入するには

1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる

2. ▶(カーソル)ボタンを押して、下のリストに移動する

3. ▲/▼(カーソル)ボタンで挿入したい場所を選び、Enterボタンを押す

4. メモリーしたいタイトル/チャプター、グループ/トラックを選びEnterボタンを押す

メモリーした項目を消去するには

1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる

2. ▶(カーソル)ボタンを押して、下のリストに移動する

リスト欄にカーソルを移動させる

3. ▲/▼(カーソル)ボタンで消去したい項目を選び、Clearボタンを押す

現在再生中のメモリー項目は、消去できません。

メモリー設定画面を終了するには

Memoryボタンを押す

！ヒント

- ディスクによってはメモリー再生を禁止しているものがあります。
- チャプターが変わるときに、メモリーしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。
- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。
- DVD-RW（VRモード）は、メモリー再生できません。

順不同に再生をする（ランダム再生）

DVD-Video　DVD-Audio

タイトル/チャプター、グループ/トラックをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1

Random（ランダム）ボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

タイトルランダム、ディスクランダム、グループランダム再生から選びます。

DVDビデオ
タイトルランダム（再生中のタイトル内のチャプターをランダム再生します。）
ディスクランダム（ディスク内のタイトル、チャプターをランダム再生します。）

DVDオーディオ
グループランダム（再生中のグループ内のトラックをランダム再生します。）
ディスクランダム（ディスク内のトラック、グループをランダム再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。
すでに再生中のときは、再生中のチャプター/トラックが終了した後、ランダム再生が始まります。

！ヒント

ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。

ご注意

- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ディスクによっては再生されないタイトル/グループがあります。

通常の再生に戻すには

画面に「ランダム解除」と表示されるか、表示部の「RANDOM（ランダム）」インジケーターが消えるまで、Randomボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生）

選んだタイトル/チャプター、グループ/トラックをくり返し再生したり、ディスクをくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生、通常の再生と組み合わせて使うことができます。

1

Repeat（リピート）ボタンを（くり返し）押し、リピート再生の種類を選ぶ

チャプターリピート、タイトルリピート、グループリピート、トラックリピート、ディスクリピート再生から選びます。

DVDビデオ
チャプターリピート（再生中のチャプターをくり返し再生します。）
タイトルリピート（再生中のタイトル内のチャプターをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

DVDオーディオ
トラックリピート（再生中のトラックをくり返し再生します。）
グループリピート（再生中のグループをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

リピート再生が始まります。

！ヒント

メモリー再生中にRepeatボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

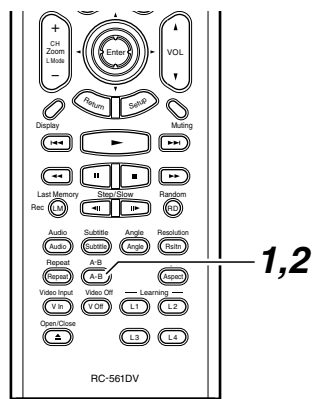
ご注意

- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては再生されないタイトル/グループがあります。

通常の再生に戻すには

画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT（リピート）インジケーター」が消えるまでRepeatボタンを（くり返し）押します。

DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

選んだ部分だけをくり返し再生する(A−Bリピート再生)

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1	**再生中にくり返したい場所の始め(A点)でA-Bボタンを押す**
2	**くり返したい場所の終わり(B点)でA-Bボタンを押す** A点からB点までをくり返し再生します。

!ヒント

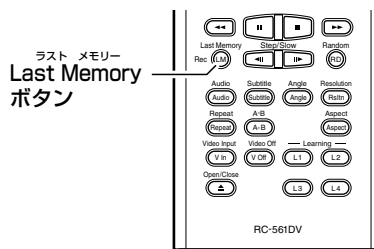
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはA-Bリピート再生を禁止しているものがあります。
- A-Bリピート再生中にアングルを切り換えても(☞38ページ)A点から再生が始まるときに、もとのアングルに戻ります。

通常の再生に戻すには

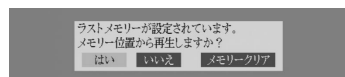
Clear(クリア)ボタンを押す

画面に「リピート解除」と表示されるまで、Repeat(リピート)ボタンを(くり返し)押しても、通常の再生に戻ります。

ラストメモリー機能を使う DVD-Video

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所、そのときの設定内容を6枚まで記憶させておくことができます。

	再生中にLast Memory(ラスト メモリー)ボタンを押す 表示部に「Last Mem(ラスト メモリー)」と表示され、押した場所が記憶されます。 押すたびに記憶する場所が変わります。

つづきから見るには

1. **続きから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
2. **▶(プレイ)ボタンを押す**

3. **◀/▶ボタンでそのまま再生する場合は「いいえ」を選び、記憶させた場所から再生するには「はい」を選ぶ**
4. **Enter(エンター)ボタンを押す**
   つづきから再生が始まります。

リジューム機能が働いている場合は、前回停止した場所から再生が始まります。ラストメモリー機能を使うときは、もう一度■(ストップ)ボタンを押してください。

ラストメモリーを消去するには

手順**3**で「メモリークリア」を選び、Enterボタンを押します。

!ヒント

- ディスクによってはラストメモリーできないものがあります。
- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- 記憶された枚数が6枚を超えると古い記憶から消去されます。
- この機能は、DVD-R/DVD-RWでは正しく働かないことがあります。
- この機能は、DVD-RW(VRモード)では働きません。

CD、SACDやビデオCDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする

CD、SACDやビデオCDのトラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1

Memory（メモリー）ボタンを押す

メモリープレイ設定画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンでメモリーしたいトラックを指定する

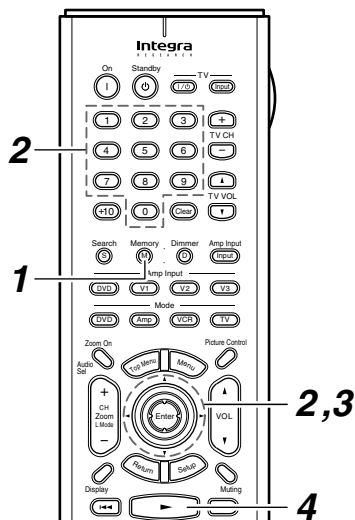
数字ボタンでも入力することができます。

例：

- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。
- オールを選ぶには「0」を押します。

「オール」を選ぶとディスク内の全てのタイトル/チャプター、グループ/トラックをメモリーします。

取り消したい場合は、Clear（クリア）ボタンを押します。

3

Enter（エンター）ボタンを押す

続いて指定するには手順 ***2***、***3*** をくり返します。

4

▶（プレイ）ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

メモリー再生を停止するには

■ボタンを押す

ビデオCDのときは2回押します。

メモリーする項目を挿入するには

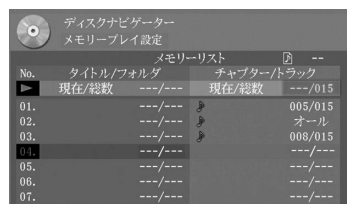
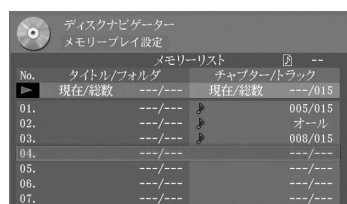
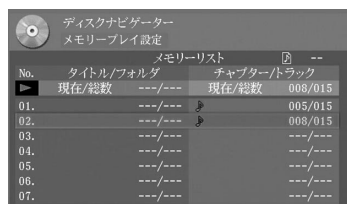
1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる

2. ▶(カーソル)ボタンを押して、下のリストに移動する

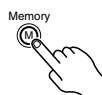
3. ▲/▼(カーソル)ボタンで挿入したい場所を選び、Enterボタンを押す

4. メモリーしたいトラックを選びEnterボタンを押す

メモリーした項目を消去するには

1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる

2. ▶(カーソル)ボタンを押して、下のリストに移動する

3. ▲/▼(カーソル)ボタンで消去したい項目を選び、Clearボタンを押す

ご注意

現在再生中のメモリー項目は、消去できません。

メモリー設定画面を終了するには

Memoryボタンを押す

！ヒント

- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。
- PBC機能付きのビデオCDをメモリーするときは、PBC機能を解除してください。(☞79ページ)

順不同に再生をする（ランダム再生）

トラックをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1 Random（ランダム）ボタンを押す

ディスクランダム（ディスク内のトラックをランダム再生します。）

2 ▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

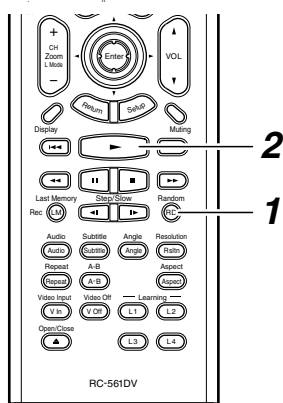
！ヒント

ランダム再生中に▶▶❙ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。

ご注意

- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。PBC再生を解除してからRandomボタンを押します。（☞79ページ）

通常の再生に戻すには

画面に「ランダム解除」と表示されるか、表示部の「RANDOM（ランダム）」インジケーターが消えるまで、Randomボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生）

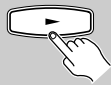
選んだトラックをくり返し再生したり、ディスクをくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生、通常の再生と組み合わせて使うことができます。

1 Repeat（リピート）ボタンを（くり返し）押す

トラックリピートまたはディスクリピート再生から選びます。
トラックリピート（選んだトラックをくり返し再生します。）
ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

2 ▶ボタンを押す

リピート再生が始まります。

！ヒント

メモリー再生中にRepeatボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

ご注意

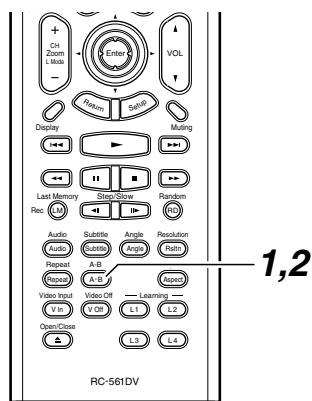
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してからRepeatボタンを押します。（☞79ページ）
- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。

通常の再生に戻すには

画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT（リピート）」インジケーターが消えるまでRepeatボタンを（くり返し）押します。

ディスクを再生する（応用編）

CD、SACDやビデオCDのいろいろな再生

選んだ部分だけをくり返し再生する（A−Bリピート再生）

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1
再生中にくり返したい場所の始め（A点）でA-Bボタンを押す

2
くり返したい場所の終わり（B点）でA-B ボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

！ヒント

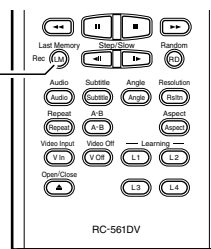
ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。

通常の再生に戻すには

Clearボタンを押す

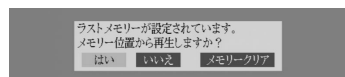
画面に「リピート解除」と表示されるまで、Repeatボタンを（くり返し）押しても、通常の再生に戻ります。

ラストメモリー機能を使う VCD

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所、そのときの設定内容を1枚記憶させておくことができます。

再生中にLast Memoryボタンを押す

表示部に「Last Mem」と表示され、押した場所が記憶されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

つづきから見るには

1. 続きから見る場所を記憶させたディスクを入れる
2. ▶ボタンを押す

3. ◀/▶ボタンでそのまま再生する場合は「いいえ」を選び、記憶させた場所から再生するには「はい」を選ぶ
4. Enterボタンを押す
   つづきから再生が始まります。

ラストメモリーを消去するには

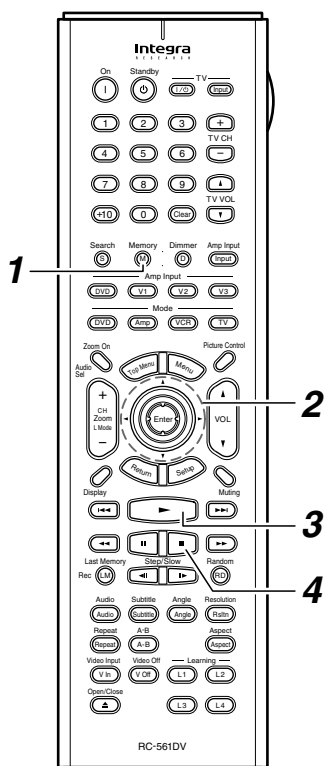
手順**3**で「メモリークリア」を選び、Enterボタンを押します。

！ヒント

- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- ビデオCDのPBC再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC再生を解除してください。（☞79ページ）

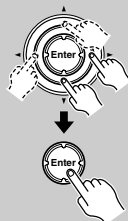
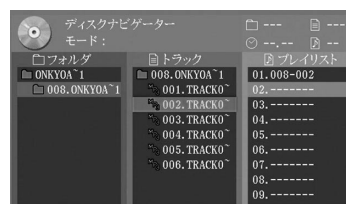
MP3、JPEGのいろいろな再生

基本の再生以外に、メモリー再生、リピート再生、ランダム再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生をする

1 Memory(メモリー)ボタンを押す

プレイリストが表示されます。

メモリー再生中のトラックのフォルダ/トラック番号、経過時間、メモリー番号を表示します

プレイリスト

2 ▲/▼/◀/▶ボタンを押してメモリーするトラックを選び、Enter(エンター)ボタンを押す

！ヒント

- トラック欄で一番上の行のフォルダマークを選択すると、プレイリストに「オール」と表示され、フォルダ内の全てのトラックがメモリーされます。
- トラック欄（一番上の行以外）にあるフォルダ内のファイルを表示するときは、フォルダにカーソルをあわせ、Enterボタンを押します。
- メモリーしたトラックを消去するには、消去したいトラックにカーソルをあわせ、Clear(クリア)ボタンを押します。

3 ▶(プレイ)ボタンを押す

カーソルがトラック欄（一番上の行以外）にある状態で▶ボタンを押してください。
メモリー再生が始まります。

4 ■(ストップ)ボタンを押す

再生が停止します。

ディスクを再生する（応用編）

MP3、JPEGのいろいろな再生

順不同に再生をする（ランダム再生）

トラック、フォルダをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1 ランダム Randomボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

フォルダランダム、ディスクランダム再生から選びます。

フォルダランダム（フォルダ内のトラックをランダム再生します。）

ただし、サブフォルダの中は再生されません。

ディスクランダム（ディスク内のトラックをランダム再生します。）

ランダム再生のモードを表示します

2 プレイ ▶ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

！ヒント

ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。

ご注意

- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ランダム再生中にディスクナビゲーター画面での◀/▶/▲/▼ボタンは使えません。

通常の再生に戻すには

画面に「フォルダランダム」も「ディスクランダム」も表示されない状態になるまで、Randomボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生）

選んだフォルダ、トラックをくり返し再生したり、1曲だけくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

メモリー再生、ランダム再生と組み合わせて使うことができます。

1 リピート Repeatボタンを（くり返し）押す

トラックリピート、フォルダリピート、ディスクリピート再生から選びます。

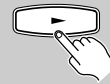
トラックリピート（選んだトラックをくり返し再生します。）

フォルダリピート（選んだフォルダをくり返し再生します。）

ただし、サブフォルダの中は再生されません。

ディスクリピート（ディスクをくり返し再生します。）

リピート再生のモードを表示します

2 ▶ボタンを押す

リピート再生が始まります。

！ヒント

メモリー再生中にRepeatボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

ご注意

ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。

通常の再生に戻すには

画面に「トラックリピート」も「フォルダリピート」も「ディスクリピート」も表示されない状態にするか、表示部の「REPEAT（リピート）」インジケーターが消えるまでRepeatボタンを（くり返し）押します。

画面をズーム(拡大)する

ズーム機能を使う DVD-Video VCD

好みの部分をズーム（拡大）することができます。

1

再生中、一時停止中にZoom On ボタンを押す

再生中にZoom Onボタンを押すと、一時停止状態になります。

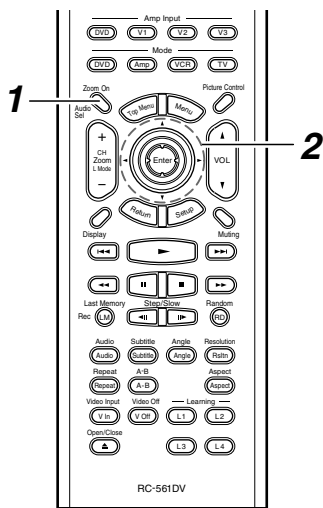
ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

×1(標準)→×2(2倍)→×4(4倍)→通常再生に戻る

2

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの位置に移動する

！ヒント

リモコンのZoom ＋ボタン、Zoom －ボタンでも大きさを切り換えることができます。この場合は、×1/4→×1/2→×1(標準)→×2→×4と切り換えることができます。

映像出力をオフにする

映像出力をオフにする

映像出力を「オフ」にする（Video Circuit Off機能）ことで、より良い音質で再生することができます。

Video Circuit Offボタンとインジケーター

Video Offボタン

本体

または

リモコン

本体のVideo Circuit OffボタンまたはリモコンのVideo Offボタンを押す

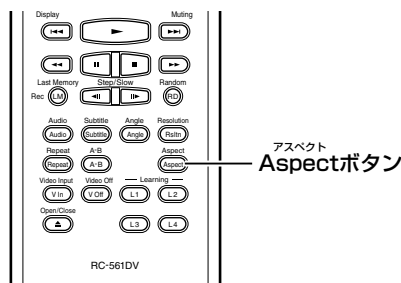
モニター/テレビの画面が消え、本体のOffインジケーターと表示部のV.OFFインジケーターが点灯します。

- 映像出力を元に戻すには、再度本体のVideo Circuit OffボタンまたはリモコンのVideo Offボタンを押して、インジケーターを消灯させます。

ご注意

- HDMI入力端子とVIDEO IN端子から入力されている映像には、Video Circuit Off機能は働きません。
- Video Circuit Off機能使用中に、Video Inputを「HDMI」または「External」に切り換えると、この機能は解除されます。

テレビ画面形状を選ぶ

モニター/テレビの画面形状をリモコンで切り換えることができます。

停止中にAspectボタンを押す

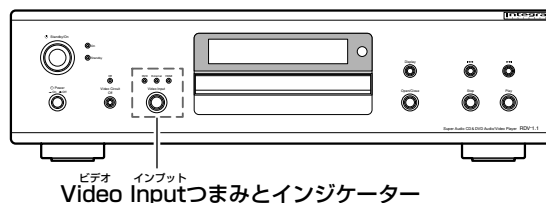
ボタンを押すたびに以下のように画面形状が切り換わります。

→ 4：3（レターボックス）→ 4：3（パンスキャン）→ 16：9（ワイド）→

ご注意

再生中は切り換えることができません。

本機の映像入力を切り換える

本機に接続した外部機器を再生するときは、Video Inputつまみを回して入力を切り換えます。

Video Inputつまみを回す

つまみを回すと入力が以下のように切り換わります。

選ばれた入力のインジケーターが点灯します。

本機で再生する信号を出力するときは
入力を「DVD」にします。

VIDEO IN（VIDEO/S VIDEO/COMPONENT）端子に接続した映像機器からの信号を出力するときは
入力を「External」にします。
表示部の EXT VIDEO 1 が点灯します。

HDMI入力端子に接続した機器からの信号を出力するときは
入力を「HDMI」にします。
表示部の EXT VIDEO 2 が点灯します。

本機と映像機器との接続については、28ページ「映像出力端子のある機器と接続する」をご覧ください。

HDMI出力の解像度を切り換える

HDMI接続しているモニター/テレビのHDMI出力の解像度を切り換えることができます。

1

Resolution(レゾリューション)ボタンを押す

現在の解像度が表示部にスクロール表示されます。

2

スクロール表示されている間に再度Resolutionボタンを押す

ボタンを押すごとに選択できる解像度が切り換わります。

本機は以下の映像の解像度に対応しています。

※ pはプログレッシブ、iはインターレースを表します。

※ 接続しているモニター/テレビが対応していない解像度は選択できません。

- Source(ソース) Resolution(レゾリューション)
- 640×480p　60Hz
- 720×480p　60Hz
- 720×576p　50Hz
- 1280×720p　50/60Hz
- 1920×1080i 50/60Hz

  - Source Resolutionのときは、以下のように映像出力されます。
    外部入力された映像の場合：
    入力映像の解像度が480p以上のときは、同じ解像度で出力されます。
    入力映像の解像度が480i（525i）のときは、480p（または576p）で出力されます。
    DVDの場合：
    480p（または576p）で出力されます。
  - Video(ビデオ) Input(インプット)を「External」または「DVD」にしているときは、映像信号の解像度を本機が接続しているモニター/テレビが対応している解像度に変更することができます。ただし、接続しているモニター/テレビが対応していない解像度は選択できません。
  - Video Inputを「HDMI」にしているときは、HDMI IN端子から入力された信号をそのまま出力します。(☞30ページ)

画質調整をする

モニター/テレビの画質とAV時間調整を調整することができます。

1

Picture(ピクチャー) Control(コントロール)ボタンを押す

2

▲/▼ボタンで「インターレース設定」、「プログレッシブ設定」または「AV時間調整」を選び、▶ボタンで「1」、「2」または「3」のいずれかの調整したいパターンを選ぶ

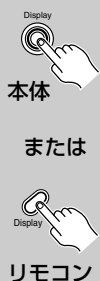
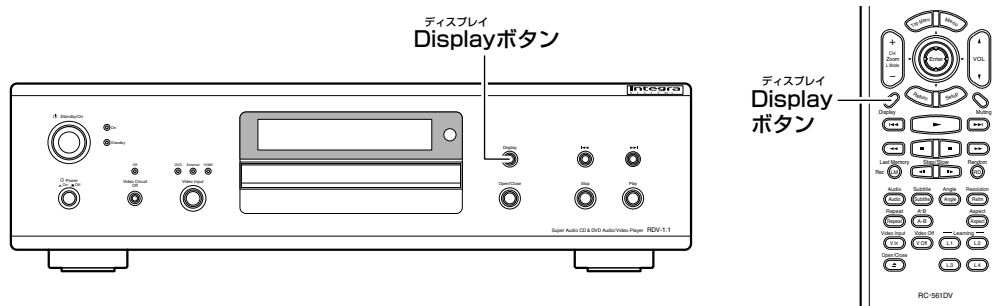
操作のしかたは64～65、72ページの「応用設定」と同じです。

ディスクの情報を見る

ディスクの情報を見る

DVDビデオのタイトル/チャプター情報、DVDオーディオのグループ/トラック情報、SACD/ビデオCD/CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー/トラック情報を見ることができます。表示される情報の内容はディスクの種類（DVDビデオ、DVDオーディオ、SACD、ビデオCD、 CD、およびMP3）によって異なります。

本体

または

リモコン

再生中に本体またはリモコンのDisplay（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとにモニター/テレビ画面に以下のようなディスク情報が表示されます。

DVDビデオの情報を見る

転送レートとは、DVDビデオ、DVDオーディオに記録されている情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

DVDオーディオの情報を見る

ご注意

- ビデオCDのPBC再生時は、表示できません。
- DVD-RW（VRモード）では、転送レートは表示されません。

表示を消すときは
Displayボタンを（くり返し）押して、表示を消します。

SACDの情報を見る

CD、ビデオCDの情報を見る

MP3の情報を見る

応用設定をする

基本設定より多くの設定をします。設定を変更したいときや、お好みの設定にしたいときに行います。

設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
画像	TV画面形状	接続したモニター/テレビに合わせて映像の縦横比を選びます。	32
	インターレース画質設定	インターレース出力の画質を調整します。	64
	プログレッシブ画質設定	プログレッシブ出力の画質を調整します。	65
	D端子出力設定	D端子からインターレースで出力するか、プログレッシブで出力するかを設定します。	65
オーディオ	デジタル出力/Digital 1（i.LINK）	DIGITAL 1端子とi.LINK端子から出力されるデジタル信号の設定をします。	66
		Dolby Digital出力 Dolby Digital音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		DTS出力 DTS音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		MPEG出力 MPEG音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		デジタル出力 デジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定します。	
	デジタル出力/Digital 2（HDMI）	DIGITAL 2端子とHDMI端子から出力されるデジタル信号の設定をします。	66
		Dolby Digital出力 Dolby Digital音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		DTS出力 DTS音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		MPEG出力 MPEG音声をPCM変換するかどうかを設定します。	
		デジタル出力 デジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定します。	
	リニアPCM出力	リニアPCM音声をダウンサンプリングするかどうかを設定します。	67
	i.LINK出力設定	i.LINK音声を使用するかどうかを選びます。	67
	アナログ音声出力	アナログ音声を2chで出力するか、マルチチャンネルで出力するかどうかを設定します。	67
	AV時間調整	映像と音声の時間の差を調整します。	72
	Dレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロールを設定します。	72
	SACD音声出力設定	優先して再生するSACDの再生エリアを設定します。	72
	CD音声出力設定	DTS CDを再生するか、通常のCD(PCM)を再生するかを設定します。	72
言語	画面表示言語	画面表示に使う言語を選びます。	75
	ディスクメニュー言語	ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。	75
	音声言語	音声言語を選びます。	75
	字幕言語	字幕言語を選びます。	75

応用設定をする

設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
表示	画面表示	動作状態の画面表示を設定します。	77
	画面表示色	ナビゲーターや背景の色を設定します。	77
	背景	背景のグラフィックや色を設定します。	77
	スクリーンセーバー	画面焼き付き防止機能の設定をします。	77
機能設定	静止画	一時停止時の画像を調整します。	78
	パレンタルロック	視聴制限機能の設定をします。	78
	リモコン確認音	リモコン操作時に確認音を出すかどうかを設定します。	78
	タイトル/グループ停止	DVDオーディオのタイトル/グループ再生の設定をします。	78
	PBC	PBC付きビデオCDのメニュー再生を設定します。	79
	優先再生	DVDオーディオのビデオコンテンツを優先再生するかどうかを設定します。	79
	自動電源オフ	再生停止後、20分間何も操作しないと自動的に電源がスタンバイ状態になる機能の設定をします。	79
基本設定	TV画面形状	接続したモニター/テレビに合わせて映像の縦横比を選びます。	32
	画面表示言語	画面表示に使う言語を選びます。	32
	i.LINK出力設定	i.LINK音声を使用するかどうかを選びます。	32
	アナログ音声出力	アナログ音声を2chで出力するか、マルチチャンネルで出力するかを設定します。	33

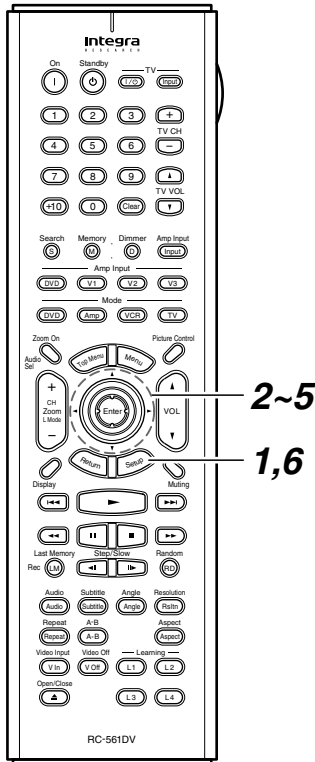
応用設定をする

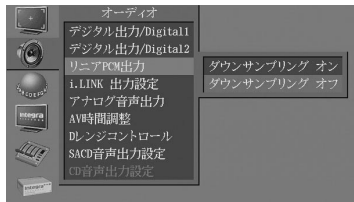
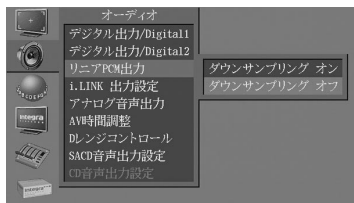
モニター/テレビ画面を使ってDVDビデオの応用設定をします。
モニター/テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

1 Setupボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して設定したい設定マークを選ぶ

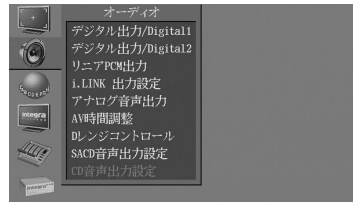
画像、オーディオ、言語、表示、機能設定、基本設定から選びます。

3 ◀/▶ボタンを押し、▲/▼ボタンを押して設定項目を選ぶ

設定項目を選んだら、Enterボタンを押します。

4 ▲/▼ボタンを押して設定したい選択肢にカーソルを合わせる

5 Enterボタンを押す

6 Setupボタンを押す

設定が終了し、応用設定画面が消えます。

ご注意

ディスク再生中には設定できない項目があります。それらの項目は、灰色の文字で表示されます。

各種設定

応用設定をする

画像設定

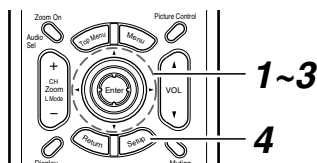
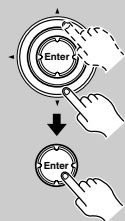
モニター/テレビのサイズや画質の調整など、画像に関する設定を行います。画質の調整ではインターレース出力またはプログレッシブ出力でそれぞれ3パターンの画質調整値を記憶しておくことができます。例えば、窓から日が差し込む昼用の画質、夜用のカーテンを閉め、部屋の電気の下で見る画質などお好みで調整してください。

インターレース画質設定

映像の出力方式がインターレース出力時の画質を調整します。(☞30ページ)

1~3

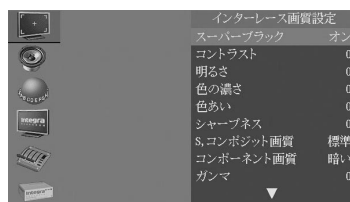
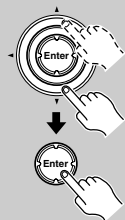
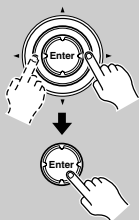
4

1

設定メニューの「画像」を選んだ後、▲/▼ボタンで「インターレース画質設定1、2、3」のいずれかを選び、Enter（エンター）ボタンを押す

画質設定メニューが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して画質調整したい項目を選び、Enterボタンを押す

3

◀/▶ ボタンを押して調整し、Enterボタンを押す

手順***2***、***3*** をくり返し、調整したい項目を設定する。

スーパーブラック：
調整信号が記録されている市販の専用ディスクを再生して、接続しているモニター/テレビの黒レベルを調整します。お買い上げ時の設定は「オン」ですが、調整するときに「オフ」を選びます。

コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

明るさ：
明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色の濃さ：
色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色あい：
色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

シャープネス：
鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−6〜+6までの範囲で調整できます。

S.コンポジット画質：
S.コンポジット画質を調整します。お買い上げ時の設定は「標準」ですが「明るい」も選べます。

コンポーネント画質：
コンポーネント映像の画質を調整します。お買い上げ時の設定は「暗い」ですが「明るい」も選べます。

ガンマ：
全体的な画面の明るさを調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが、−7〜+7までの範囲で調整できます。

Y/C時間調整：
画像の細かい色ずれを調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが、−4、−2、0、+2、+4の範囲で調整できます。

ノイズ除去：
画面のノイズ除去の設定をします。お買い上げ時の設定は「オフ」ですが「1」「2」または「3」に設定できます。

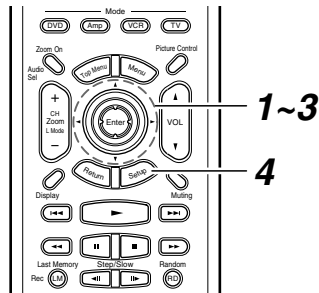
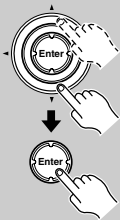
4

Setup（セットアップ）ボタンを押す

設定が終了し、画質設定画面が消えます。

プログレッシブ画質設定

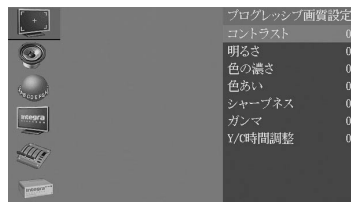
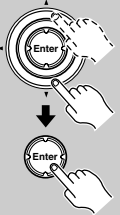
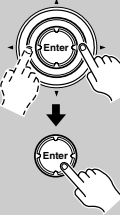
映像の出力方式がプログレッシブ出力時の画質を調整します。(☞30ページ)

1

設定メニューの「画像」を選んだ後、▲/▼ボタンで「プログレッシブ画質設定1、2、3」のいずれかを選び、Enter(エンター)ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して画質調整したい項目を選び、Enterボタンを押す

3

◀/▶ボタンを押して調整し、Enterボタンを押す

手順***2***、***3***をくり返し、調整したい項目を設定する。

コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

明るさ：
明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色の濃さ：
色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色あい：
色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

シャープネス：
鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

ガンマ：
全体的な画面の明るさを調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが、−7〜+7までの範囲で調整できます。

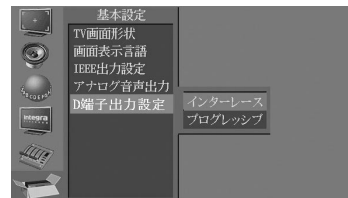
Y/C時間調整：
画像の細かい色ずれを調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが、−4〜+4までの範囲で調整できます。

4

Setup(セットアップ)ボタンを押す

設定が終了し、画質設定画面が消えます。

D端子出力設定

本機のD2/D1 VIDEO端子から出力される映像をインターレースで出力するか､プログレッシブで出力するかを選びます。

インターレース：
インターレースで出力します。（お買い上げ時の設定）

プログレッシブ：
プログレッシブで出力します。

各種設定

オーディオ設定

デジタル出力/Digital 1(i.LINK)の設定をする

本機に接続したAVセンターが対応しているデジタル信号の種類を選びます。
本機のAUDIO OUT DIGITAL 1(OPTICAL/COAXIAL)端子とi.LINK端子からはここで設定した信号が出力されます。

Dolby Digital 出力

Dolby Digital：
ドルビーデジタルに対応しているAVセンターまたはデコーダーなどと接続したときに選びます。
(お買い上げ時の設定)

Dolby Digital＞PCM：
ドルビーデジタル信号をPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。

DTS 出力

DTS：
DTS信号に対応しているAVセンターなどと接続したときに選びます。(お買い上げ時の設定)

DTS＞PCM：
DTS信号をPCM信号に変換して出力します。DTSに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。

DTS＞PCMを選ぶと、DTS CDはDIGITAL 1/2どちらの端子からもPCM音声で出力されます。

MPEG 出力

MPEG：
MPEG音声に対応しているAVセンターなどと接続したときに選びます。

MPEG＞PCM：
MPEG信号をPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。(お買い上げ時の設定)

デジタル 出力

本機のデジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定をします。
オン： デジタル端子からデジタル音声が出力されます。
(お買い上げ時の設定)
オフ： デジタル端子からデジタル音声は出力されません。

デジタル出力/Digital 2(HDMI)の設定をする

本機に接続したAVセンターが対応しているデジタル信号の種類を選びます。
本機のAUDIO OUT DIGITAL 2(OPTICAL/COAXIAL/BALANCED)端子とHDMI OUT端子からはここで設定した信号が出力されます。

Dolby Digital 出力

Dolby Digital：
ドルビーデジタルに対応しているAVセンターまたはデコーダーなどと接続したときに選びます。
(お買い上げ時の設定)

Dolby Digital＞PCM：
ドルビーデジタル信号をPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。

DTS 出力

DTS：
DTS信号に対応しているAVセンターなどと接続したときに選びます。(お買い上げ時の設定)

DTS＞PCM：
DTS信号をPCM信号に変換して出力します。DTSに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。

ご注意

DTS＞PCMを選ぶと、DTS CDはDIGITAL 1/2どちらの端子からもPCM音声で出力されます。

MPEG 出力

MPEG：
MPEG音声に対応しているAVセンターなどと接続したときに選びます。

MPEG＞PCM：
MPEG信号をPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。(お買い上げ時の設定)

デジタル 出力

本機のデジタル端子からデジタル音声を出力するかどうかを設定をします。
オン： デジタル端子からデジタル音声が出力されます。
(お買い上げ時の設定)
オフ： デジタル端子からデジタル音声は出力されません。

リニアPCM出力の設定をする

ダウンサンプリングオン：
AUDIO OUT DIGITAL 1/2端子から出力される音声フォーマットを48/44.1kHz 16bitに変換して出力します。
96kHzに対応していないAVセンターなどと接続したときに選びます。

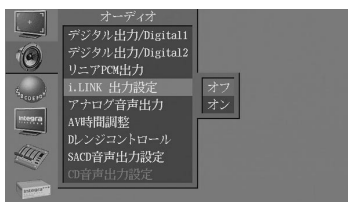
ダウンサンプリングオフ：
96kHz対応AVセンターなどと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- ディスクによっては、「ダウンサンプリングオフ」を選択していても48/44.1kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- 著作権保護されているDVDビデオの場合、96kHzリニアPCM音声は自動的に48kHzに変換され出力されます。またはアナログ音声で出力されます。
- この設定は、「デジタル出力/Digital 1」、「デジタル出力/Digital 2」の両方に働きます。
- 「ダウンサンプリングオン」のとき、i.LINK端子から出力されるDVDビデオの96kHz音声は、48kHzに変換されます。

！ヒント

DVDビデオやDVDオーディオで88.2kHz/96kHzでデジタル出力されている音声を、HDMI OUT端子から出力したいときは、「ダウンサンプリングオン」にしてください。

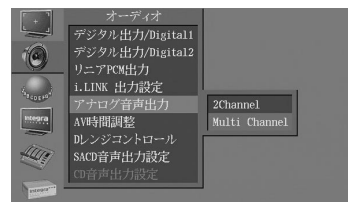
i.LINK出力の設定をする

オフ：
i.LINK経由で音声を出力しないときに選びます。

オン：
i.LINK経由で音声を出力するときに選びます。

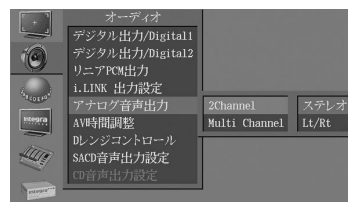
ご注意

- **SACD音声について**
  「オフ」のときは、音声はi.LINK端子からは出ません。
  アナログ音声出力端子から出力されます。
  「オン」のときは、音声はi.LINK端子から出ます。
  アナログ音声出力端子からは出力されません。
- **DVDオーディオ音声について**
  「オフ」のときは、「スピーカー設定」により音声が正しく出力されないことがあります。（☞69ページ）
- 「オン」のときは、「アナログ音声出力設定」は設定できません。また、「アナログ音声出力設定」で設定した内容は無効になります。

アナログ音声出力設定をする

本機のアナログ音声出力端子から出力される音声信号（2チャンネルまたはマルチチャンネル）を選びます。
この設定は、ANALOG AUDIO OUT（FRONT/CENTER/SURR/SUBWOOFER）端子に反映されます。ANALOG AUDIO OUT（D.MIX）端子には、反映されません。

2 Channel：
アナログ2チャンネル音声信号を出力します。2チャンネルのアンプなどと接続したときに選びます。

Multi Channel：
マルチチャンネル音声を出力します。アナログマルチチャンネル対応のアンプなどと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

上記の設定で「2Channel」を選択した場合は、下記の設定を行います。

マルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するときのダウンミックスの種類を設定します。
この設定は、ANALOG AUDIO OUT（D.MIX）端子には、反映されません。

ステレオ：
2チャンネルアンプ使用時やモニター/テレビの音声入力を使って音声をステレオで楽しむときに選びます。マルチチャンネル音声をステレオにダウンミックス処理して出力します。（お買い上げ時の設定）

Lt/Rt：
2チャンネル入力しか対応していないドルビープロロジック対応のAVセンターでサラウンド機能を使用するときに選びます。5.1チャンネル信号をドルビー社の規格に基づき、ダウンミックス処理して2チャンネルの信号として出力します。その2チャンネル信号をドルビーサラウンドデコーダーに入力すると、4チャンネル（フロント3チャンネル、リヤ1チャンネル）で再生することができます。

応用設定をする

前ページ「アナログ音声出力設定をする」の設定で「Multi Channel」を選択した場合は下記の設定を行います。

Dolby Pro Logic設定

(ドルビー　プロ　ロジック)

2チャンネルソースをマルチチャンネルで出力するときに、ドルビープロロジック処理をして出力するか、処理をせずに出力するかを設定します。

自動：
2チャンネルのドルビーデジタルソース（ドルビーサラウンドエンコードされているもの）を、ドルビープロロジック処理します。（お買い上げ時の設定）

オン：
以下の2チャンネルのソースを、ドルビープロロジック処理します。

- ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオ
- 48kHz（16/20/24ビット）のPCMで記録されたDVDビデオ
- 音楽CD

オフ：
ドルビープロロジック処理をしません。

ご注意

「自動」または「オン」のときでも、「スピーカー設定」でセンターまたはサラウンドスピーカーが「オフ」になっているときは、プロロジック処理されません。

スピーカー設定

オン：
スピーカー設定が可能です。
マルチチャンネル接続しているAVセンター側にスピーカー設定機能がない場合に選びます。

オフ：
スピーカー設定ができません。
マルチチャンネル接続しているAVセンター側にスピーカー設定機能がある場合に選びます。

「オフ」を選ぶと、フロント、センター、サラウンドの各スピーカーは「大」、サブウーハーは「オン」に固定されます。

スピーカー間距離設定

オン：
スピーカー間の距離設定が可能です。
マルチチャンネル接続しているAVセンター側にスピーカー間距離設定機能がない場合に選びます。

オフ：
スピーカー間の距離設定はできません。
マルチチャンネル接続しているAVセンター側にスピーカー間距離設定機能がある場合に選びます。

「オフ」を選ぶと、フロント、センター、サラウンドの各スピーカーの距離は「0」に固定されます。

試聴音設定

各スピーカー間の音量レベルを調整します。

スピーカー設定

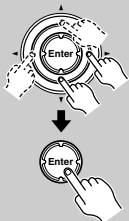
67ページ「アナログ音声出力設定」で「Multi Channel（マルチ チャンネル）」を選び、68ページ「スピーカー設定」で「オン」を選んだ場合のみ設定できます。

● 本機を接続しているアンプなどに接続されているスピーカーの大きさを設定します。

1

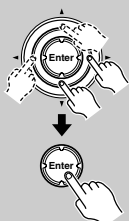
「スピーカー設定」で「オン」を選び、Enter（エンター）ボタンを押す

設定画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して「サブウーハー」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンでサブウーハーの「オン/オフ」を選び、Enterボタンを押す

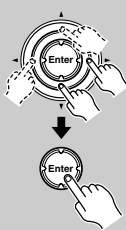
オン：
本機を接続しているアンプなどにサブウーハーを接続している場合に選びます。（お買い上げ時の設定）

オフ：
本機を接続しているアンプなどにサブウーハーを接続していない場合に選びます。

3

▲/▼ボタンを押して「フロントスピーカー」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンでフロントスピーカーの大きさを選び、Enterボタンを押す

大：
本機を接続しているアンプなどに大型のフロントスピーカーを接続している場合に選びます。目安として直径16cm以上の場合は、「大」を選んでください。

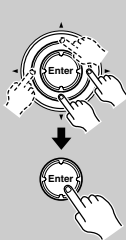
小：
本機を接続しているアンプなどに小型のフロントスピーカーを接続している場合に選びます。目安として直径16cm未満の場合は、「小」を選んでください。
（お買い上げ時の設定）

4

▲/▼ボタンを押して「センタースピーカー」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンでセンタースピーカーの設定をし、Enterボタンを押す

大：
本機を接続しているアンプなどに大型のセンタースピーカーを接続している場合に選びます。

小：
本機を接続しているアンプなどに小型のセンタースピーカーを接続している場合に選びます。（お買い上げ時の設定）

オフ：
本機を接続しているアンプなどにセンタースピーカーを接続していない場合に選びます。

5

▲/▼ボタンを押して「サラウンドスピーカー」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンでサラウンドスピーカーの設定をし、Enterボタンを押す

大：
本機を接続しているアンプなどに大型のサラウンドスピーカーを接続している場合に選びます。

小：
本機を接続しているアンプなどに小型のサラウンドスピーカーを接続している場合に選びます。（お買い上げ時の設定）

オフ：
本機を接続しているアンプなどにサラウンドスピーカーを接続していない場合に選びます。

6

◀ボタン（左カーソル）を押す

前の画面に戻ります。

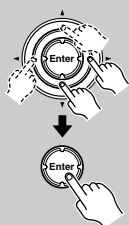
● サブウーハーが「オフ」のときは、フロントスピーカーは「大」に固定されます。また、このときセンター/サラウンドスピーカーは「小」を選べません。
● フロントスピーカーが「小」のときは、センター/サラウンドスピーカーは「大」を選べません。

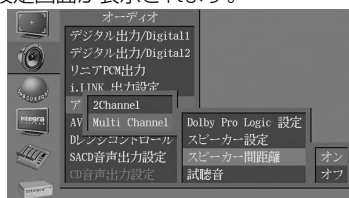
ご注意

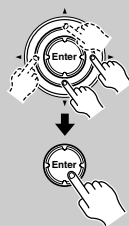
スピーカー設定は、DVDオーディオの192kHz/176.4kHz音声には影響しません。

スピーカー間距離設定

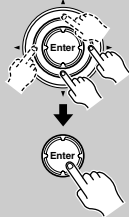
- 視聴位置からスピーカーまでの距離を設定します。

1

「スピーカー間距離」で「オン」を選び、Enterボタンを押す

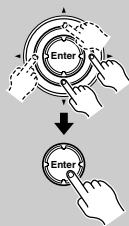
設定画面が表示されます。

お買い上げ時の設定
フロントレフト：3.6m　センター：3.6m
フロントライト：3.6m　サラウンドライト：2.1m
サラウンドレフト：2.1m サブウーハー：3.6m

2

▲/▼ボタンを押して「フロントレフト」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定し、Enterボタンを押す

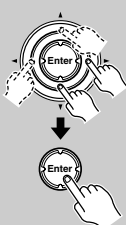
左フロントスピーカーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で0.3m～9mまで設定できます。

3

▲/▼ボタンを押して「センター」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定し、Enterボタンを押す

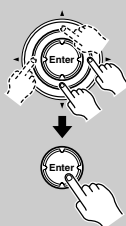
センタースピーカーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で9mまで設定できます。

4

▲/▼ボタンを押して「フロントライト」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定する

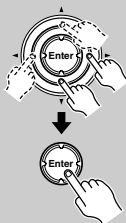
右フロントスピーカーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で9mまで設定できます。

5

▲/▼ボタンを押して「サラウンドライト」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定する

右サラウンドスピーカーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で9mまで設定できます。

6

▲/▼ボタンを押して「サラウンドレフト」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定する

左サラウンドスピーカーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で9mまで設定できます。

7

▲/▼ボタンを押して「サブウーハー」を選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで距離を設定する

サブウーハーから視聴位置までの実際に近い数値に設定します。
- 0.3m単位で9mまで設定できます。

8

◀ボタン（左カーソル）を押す

前の画面に戻ります。

ご注意

- 各スピーカー間の距離の差は、6.0mを越えては設定できません。6.0mを越えるような数値を入力したときは、自動的に6.0m以内の差になるように本機が調整します。
- スピーカー間距離設定は、SACD（マルチチャンネルエリア、2チャンネルエリア）とDVDオーディオの192kHz/176.4kHz音声には影響しません。

視聴音

- 各スピーカーの出力レベルを設定します。

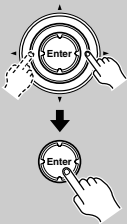
1

「試聴音」を選び、Enterボタンを押す

フロントレフトスピーカーから試聴音が出力されます。

お買い上げ時の設定：すべて0dB

2

◀/▶ボタンで出力レベルを調整し、Enterボタンを押す

1dB単位で－12dBから0dBの範囲で調整できます。

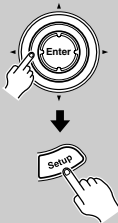
3

▲/▼ボタンで出力レベルを調整したいスピーカーを選びEnterボタンを押した後、◀/▶ボタンで出力レベルを調整する

フロントレフト — センター — フロントライト
|　　　　　　　　　　　　　　　|
サブウーハー — サラウンドレフト — サラウンドライト

4

手順*2*、*3* をくり返し、すべてのスピーカーから試聴音の音が同じ大きさになるように調整する

5

◀ボタン（左カーソル）を押す

前の画面に戻ります。

設定を終了するときは、Setupボタンを押します。

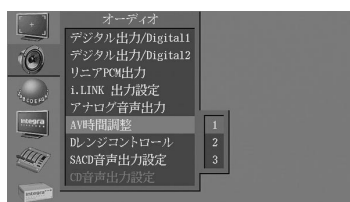
ご注意

- スピーカーの設置で「オフ」を選択しているスピーカーの出力レベルは設定できません。
- 「アナログ音声出力」の設定で「2Channel」を選択しているときは、試聴音は出力されません。

各種設定

応用設定をする

AV時間調整の設定をする

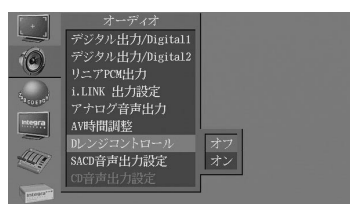
映像が音声より遅れている場合、この設定で音声を遅らせ、音声と映像のずれを補正します。0～100msの範囲で1ms単位で設定できます。3パターンのAV時間調整を記憶させておくことができます。

パターン1：お買い上げ時の設定は0ms

パターン2：お買い上げ時の設定は50ms

パターン3：お買い上げ時の設定は50ms

ご注意

- この設定は、SACD（マルチチャンネルエリア、2チャンネルエリア）とDVDオーディオの192kHz/176.4kHz音声には影響しません。
- この設定は、ANALOG（アナログ） AUDIO（オーディオ） OUT（アウト）（FRONT（フロント）/CENTER（センター）/SURR（サラウンド）/SUBWOOFER（サブウーハー））端子から出力される音声に反映されます。

D(ダイナミック)レンジコントロールの設定をする

ダイナミックレンジコントロールを切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生することができます。例えば、映画のセリフなどが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。

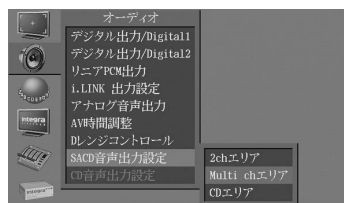
オン：
ダイナミックレンジコントロールをオンにします。爆発音などの大音量を抑え、セリフなどが聞きやすくなります。

オフ：
ダイナミックレンジコントロールを解除します。
（お買い上げ時の設定）

ご注意

本機をスタンバイ状態にすると、設定は「オフ」になります。

SACDの音声出力設定をする

SACDは、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ここではSACDの優先して再生するエリアを切り換えます。

2ch（チャンネル）エリア：
2chエリアを再生します。

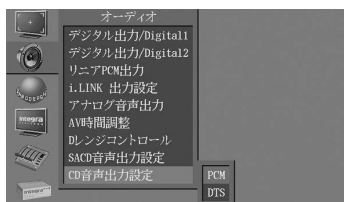
Multi ch（マルチチャンネル）エリア：
マルチチャンネルエリアを再生します。
（お買い上げ時の設定）

CDエリア：
CDエリアを再生します。

ご注意

アナログ音声出力の設定で「2Channel（チャンネル）」を選んでいるときは、マルチチャンネル音声は2チャンネルにダウンミックスされて出力されます。

CD音声出力設定をする

DTS CDを再生するときに設定します。

PCM：
通常の音楽用CDを再生するときに選びます。（お買い上げ時の設定）

DTS：
DTS CDを再生するときに選びます。

ご注意

この項目は、デジタル出力/Digital 1またはDigital 2のDTS設定のどちらかを、DTS>PCMにしているときに設定可能です。「PCM」でDTS CDを再生すると、曲の始めにノイズが出ることがあります。

再生メディアと本機から出力される音声について

○：出力する　×：出力しない

再生メディアと音声フォーマット ＼ 本機の音声出力端子		デジタル音声出力端子		アナログ音声出力端子		
					FRONT/CENTER/SURR1,2/SUBWOOFER	
		i.LINK	AUDIO OUT DIGITAL1/2	D.MIX	音声出力設定 Multi Channel	音声出力設定 2 channel
DVD ビデオ	PCM	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○
	Dolby Digital	○	○	○ (2chダウンミックス)	○	○ (2chダウンミックス)
	DTS	○	○	○ (2chダウンミックス)	○	○ (2chダウンミックス)
	MPEG	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○
DVD* オーディオ	PCM	○	○	○ (2chダウンミックス)	○	○ (2chダウンミックス)
ビデオCD	MPEG Audio Layer2	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○
オーディオ CD	PCM	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○
	DTS	○	○	○ (2chダウンミックス)	○	○ (2chダウンミックス)
SACD	Multi-chエリア	○	×	○ (2chダウンミックス)	○	○ (2chダウンミックス)
	2-chエリア	○	×	○	○ (FRONTから出力)	○
	CDエリア	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○
MP3	MPEG Audio Layer 3	○	○	○	○ (FRONTから出力)	○

***DVD オーディオディスクについて**

デジタル出力を禁止しているディスクの場合は、AUDIO OUT DIGITAL 1/2からは出力されません。
ディスクによっては、192/176.4ｋHzが96/88.2/48/44.1kHｚにダウンサンプルされることがあります。
2チャンネルダウンミックスを禁止しているディスクの場合は、ダウンミックス音声で出力されません。

本機の設定について

設定を変更すると音声が出力されなかったり、異なるフォーマットで出力されたりする場合があります。音声出力に関係する設定内容は、以下のとおりですのであわせてご覧ください。また、設定内容の詳細は各説明ページをご覧ください。

■ i.LINK出力にかかわる設定

i.LINK出力設定（☞32、67ページ）

（SACD再生時）
オンに設定すると、SACDの音声がi.LINK端子から出力されます。
オフに設定すると出力されません。

（DVDオーディオ再生時）
DVDオーディオの音声は、「オフ」のときでもi.LINK端子から出力されますが、「スピーカー設定」により、音声が正しく出力されないことがあります。

デジタル出力/Digital1設定（☞66ページ）

この設定内容が、i.LINK端子から出力される音声に反映されます。

リニアPCM出力設定（☞67ページ）

ダウンサンプリングオンに設定すると、DVDの88.2kHz以上のリニアPCM音声は48/44.1kHzにダウンサンプルされて出力されます。

■ デジタル音声出力にかかわる設定

デジタル出力/Digital1、Digital2（☞66ページ）

この設定内容が、AUDIO OUT DIGITAL 1/2端子から出力される音声に反映されます。

■ アナログ音声出力（D.MIX）にかかわる設定

i.LINK出力設定（☞32、67ページ）（SACD再生時のみ）
オフに設定すると、SACDの音声が出力されます。オンに設定すると出力されません。

■ アナログ音声出力（FRONT/CENTER/SURR1,2/SUBWOOFER）にかかわる設定

i.LINK出力設定（☞32、67ページ）（SACD再生時のみ）
オフに設定すると、SACDの音声が出力されます。オンに設定すると出力されません。

アナログ音声出力設定（☞33、67ページ）
「Multi Channel」に設定すると、マルチチャンネル音声が出力されます。「2Channel」に設定すると、マルチチャンネル音声が2チャンネルにダウンミックスされてFRONT端子から出力されます。

アナログ音声出力設定―Dolby Pro Logic設定（☞68ページ）
（2チャンネルソース再生時）「自動」または「オン」に設定すると、ドルビープロロジック処理されて出力されるソースがあります。

アナログ音声出力設定―スピーカー設定（☞68ページ）
「オフ」に設定しているスピーカーからは音声が出力されません。

アナログ音声出力設定―ステレオ/LtRt（☞67ページ）
「Lt/Rt」に設定しているときは、マルチチャンネル音声をドルビーサラウンドデコードできるようにダウンミックスして出力します。

RDV-1.1(61-79)(SN29343658) 74 04.10.19, 10:04 AM
ブラック

言語設定

DVDの中には、1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お好みで選べる機能を持っているものがあります。ここでは、言語に関する設定を行います。設定画面の操作方法については63ページをご覧ください。

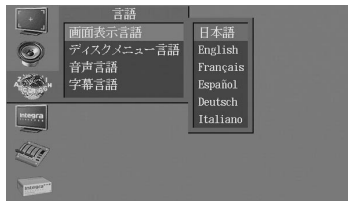
！ヒント

- ディスクによってはディスクメニューから言語を選択できるものがあります。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていないことがあります。その場合はディスク独自の言語が選択されます。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていてもディスクで決められている言語になることがあります。

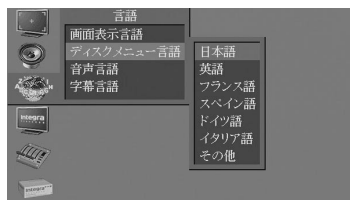
「その他の言語」を選んだとき

1. **「その他の言語」を選び、Enter（エンター）ボタンを押す**
   言語コード入力欄が表示されます。
2. **◀/▶ボタンを押して入力欄を選ぶ**
3. **▲/▼ボタンを押して言語コードを入力する**
   76ページの言語コード表を参照してください。
4. **Enterボタンを押す**

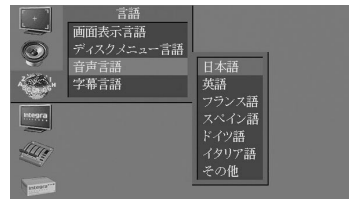
画面表示に使う言語を選ぶ

画面表示に使う言語を選びます。

日 本 語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
English：英語で表示します。
Français：フランス語で表示します。
Español：スペイン語で表示します。
Deutsch：ドイツ語で表示します。
Italiano：イタリア語で表示します。

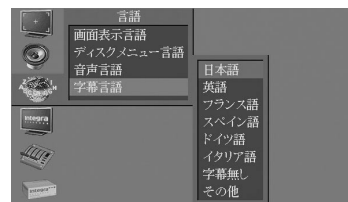
ディスクメニュー言語の種類を選ぶ

ディスクメニューに複数の言語が入ったDVDを再生するときに、ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。

日 本 語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
英　語：英語で表示します。
フランス語：フランス語で表示します。
スペイン語：スペイン語で表示します。
ドイツ語：ドイツ語で表示します。
イタリア語：イタリア語で表示します。
その他：76ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

音声言語の種類を選ぶ

複数の音声言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に再生する音声言語を選びます。

日 本 語：音声言語が日本語になります。
英　語：音声言語が英語になります。（お買い上げ時の設定）
フランス語：音声言語がフランス語になります。
スペイン語：音声言語がスペイン語になります。
ドイツ語：音声言語がドイツ語になります。
イタリア語：音声言語がイタリア語になります。
その他：76ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

字幕言語の種類を選ぶ

複数の字幕言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に表示する字幕言語を選びます。

日 本 語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
英　語：英語で表示します。
フランス語：フランス語で表示します。
スペイン語：スペイン語で表示します。
ドイツ語：ドイツ語で表示します。
イタリア語：イタリア語で表示します。
字幕無し：字幕を表示しません。
その他：76ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

言語コード表

言語名	入力コード
日本語	JA
English	EN
French	FR
German	DE
Italian	IT
Spanish	ES
Chinese	ZH
Dutch	NL
Portuguese	PT
Swedish	SV
Russian	RU
Korean	KO
Greek	EL
Afar	AA
Abkhazian	AB
Afrikaans	AF
Amharic	AM
Arabic	AR
Assamese	AS
Aymara	AY
Azerbaijani	AZ
Bashkir	BA
Byelorussian	BE
Bulgarian	BG
Bihari	BH
Bislama	BI
Bengali	BN
Tibetan	BO
Breton	BR
Catalan	CA
Corsican	CO
Czech	CS
Welsh	CY
Danish	DA
Bhutani	DZ
Esperanto	EO
Estonian	ET
Basque	EU
Persian	FA
Finnish	FI
Fiji	FJ
Faroese	FO
Frisian	FY
Irish	GA
Scots-Gaelic	GD
Galician	GL

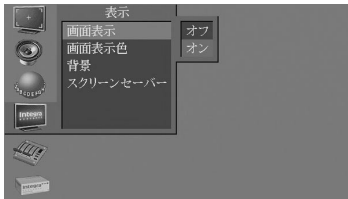
言語名	入力コード
Guarani	GN
Gujarati	GU
Hausa	HA
Hindi	HI
Croatian	HR
Hungarian	HU
Armenian	HY
Interlingua	IA
Interlingue	IE
Inupiak	IK
Indonesian	IN
Icelandic	IS
Hebrew	IW
Yiddish	JI
Javanese	JW
Georgian	KA
Kazakh	KK
Greenlandic	KL
Cambodian	KM
Kannada	KN
Kashmiri	KS
Kurdish	KU
Kirghiz	KY
Latin	LA
Lingala	LN
Laothian	LO
Lithuanian	LT
Latvian	LV
Malagasy	MG
Maori	MI
Macedonian	MK
Malayalam	ML
Mongolian	MN
Moldavian	MO
Marathi	MR
Malay	MS
Maltese	MT
Burmese	MY
Nauru	NA
Nepali	NE
Norwegian	NO
Occitan	OC
Oromo	OM
Oriya	OR
Panjabi	PA
Polish	PL

言語名	入力コード
Pashto, Pushto	PS
Quechua	QU
Rhaeto-Romance	RM
Kirundi	RN
Romanian	RO
Kinyarwanda	RW
Sanskrit	SA
Sindhi	SD
Sangho	SG
Serbo-Croatian	SH
Sinhalese	SI
Slovak	SK
Slovenian	SL
Samoan	SM
Shona	SN
Somali	SO
Albanian	SQ
Serbian	SR
Siswati	SS
Sesotho	ST
Sundanese	SU
Swahili	SW
Tamil	TA
Telugu	TE
Tajik	TG
Thai	TH
Tigrinya	TI
Turkmen	TK
Tagalog	TL
Setswana	TN
Tonga	TO
Turkish	TR
Tsonga	TS
Tatar	TT
Twi	TW
Ukrainian	UK
Urdu	UR
Uzbek	UZ
Vietnamese	VI
Volapük	VO
Wolof	WO
Xhosa	XH
Yoruba	YO
Zulu	ZU

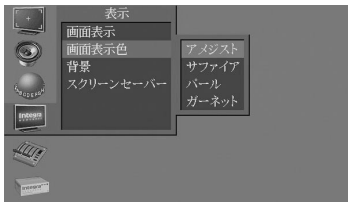
表示設定

表示に関する設定を行います。

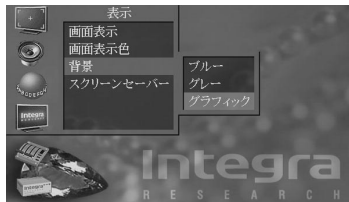
動作状態の画面表示を設定する

DVD再生時の「停止」や「再生」などの動作状態の画面表示をする/しないを設定します。

オフ：表示をしません。
オン：表示をします。（お買い上げ時の設定）

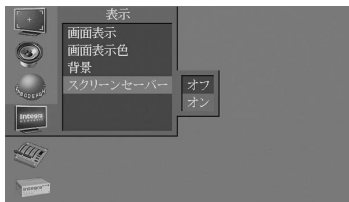
画面表示色を設定する

ナビゲーターや背景の色を設定します。

アメジスト：（お買い上げ時の設定）
サファイア：
パール：
ガーネット：

背景を設定する

背景のグラフィックや色を設定します。

ブルー：青色で表示します。
グレー：灰色で表示します。
グラフィック：（お買い上げ時の設定）

スクリーンセーバーを設定する

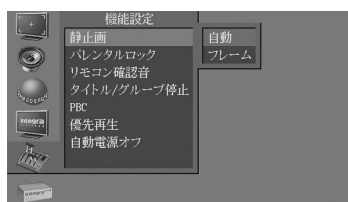
画面焼き付き防止機能の設定をします。

オフ：スクリーンセーバー機能は働きません。
オン：15分間一時停止状態または停止状態が続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。
（お買い上げ時の設定）

各種設定

機能設定

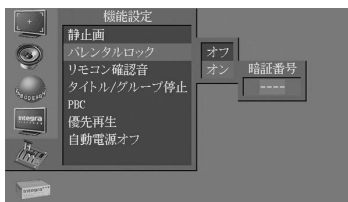
機能に関する設定を行います。

静止画像を調整する

一時停止時の画像を調整します。

自動：ディスクによってフィールドとフレームを自動で切り換えます。（お買い上げ時の設定）

フレーム：高画質のモードですが、ピントがぼやけることがあります。

パレンタルロックを設定する

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。お子様などに不適切なシーンを視聴させないように本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。お買い上げ時の設定は「オフ」になっています。

1 **パレンタルロック「オン」を選び、Enter（エンター）ボタンを押す**
暗証番号登録の画面が表示されます。

2 **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、Enterボタンを押す**
レベル設定の画面が表示されます。

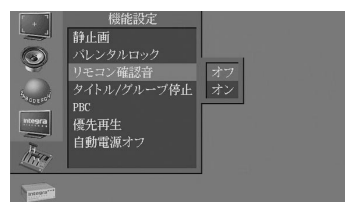
3 **▲/▼ボタンを押してレベルを選び、Enterボタンを押す**
視聴制限のレベルが設定されます。

4 **Setup（セットアップ）ボタンを押す**
設定が終了し、設定画面が消えます。

！ヒント

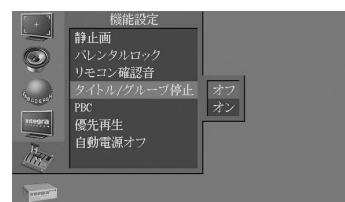
- 停止中にのみ設定の変更ができます。
- 暗証番号を間違えたときはClear（クリア）ボタンを押します。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は番号を入力する手順で■（ストップ）ボタンを4回押してください。
- 視聴制限を解除したり、レベルを変更するときは、暗証番号を入れる必要があります。
- 視聴制限に対応してるかどうかは、ディスクのジャケットなどで確認してください。

リモコン確認音を設定する

本機のリモコンボタンを押したときに、確認音を出すか出さないかを設定します。

オフ：確認音を出しません。（お買い上げ時の設定）

オン：確認音を出します。

タイトル/グループ停止を設定する

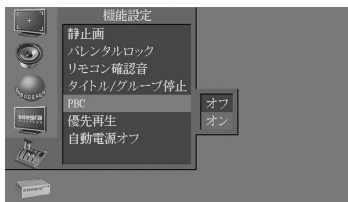
DVDオーディオ再生時、1つのタイトル/グループの再生終了後に再生を停止するかどうかを設定します。

オフ：1つのタイトル/グループの再生終了後、次のタイトル/グループを再生します。（お買い上げ時の設定）

オン：1つのタイトル/グループの再生終了後、再生を停止します。

ご注意

ディスクによっては、設定のとおりに働かないことがあります。

PBCの設定をする

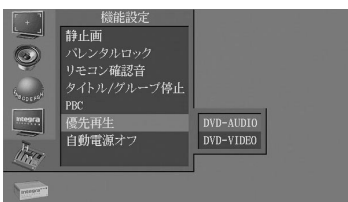
PBC機能付きビデオCDのメニュー再生を設定します。

オフ：PBC再生を解除します。

オン：PBC再生をします。（お買い上げ時の設定）

！ヒント

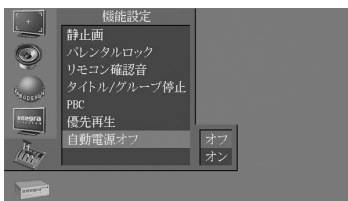
- PBC再生機能はディスクによって異なりますので詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- 本機は、ディスクによってビデオCDのPBC再生に対応していないことがあります。

優先再生を設定する

DVDオーディオには、DVDビデオのコンテンツが含まれているディスクがあります。本機は優先的にDVDオーディオを再生しますが、DVDビデオのコンテンツを再生したい場合に設定します。

DVD-AUDIO（オーディオ）：
DVDオーディオを優先して再生するときに選択します。（お買い上げ時の設定）

DVD-VIDEO（ビデオ）：
DVDビデオのコンテンツを優先して再生するときに選択します。

自動電源オフの設定をする

自動電源オフ機能とは、再生停止後何も操作せずに20分間経過すると、本機が自動的にスタンバイ状態になる機能です。

オフ：
自動電源オフ機能は働きません。（お買い上げ時の設定）

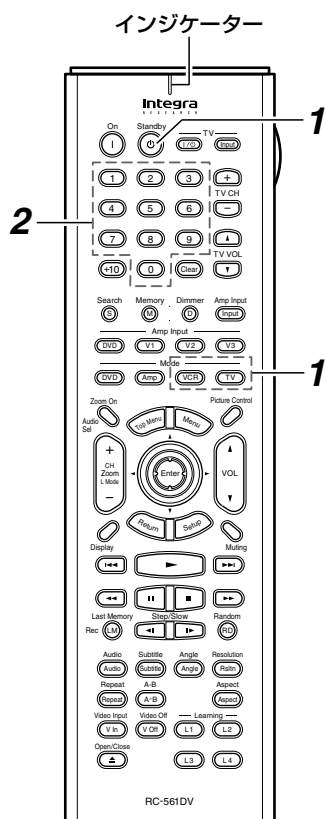
オン：
自動電源オフ機能が働きます。

接続した製品を本機のリモコンで操作する

本機のリモコン（ RC-561DV）には学習機能が付いています。他の機器のリモコン信号を記憶させ、記憶させた機器を本機のリモコンで操作することができます。

テレビやビデオデッキのリモコン信号を学習させる

あらかじめ登録したいテレビまたはビデオデッキのリモコンコード番号を次ページのリモコンコード表で確認してください。

1

学習させたいModeボタン（VCR、TV）を押しながらStandbyボタンを押し、両方のボタンから指を離す

インジケーターが2回ゆっくり点滅し、点灯します。

2

数字ボタンで記憶させたい4桁のリモコンコード番号を入力する

3

4桁のリモコンコード番号を入力すると、インジケーターが2回ゆっくり点滅し、登録が完了する

実際に存在しないリモコンコード番号を入力したり、数字ボタンを押さなかった場合は、インジケーターが3回早く点滅し、学習モードは解除されます。
この場合は、もう一度最初から操作し直してください。

！ヒント

- 本機のリモコンは、インテグラリサーチ/オンキヨー製AVアンプ/レシーバー/AVセンターのコードをすでに記憶しています。これらのボタンに他のコードを記憶させることもできますが、リセットすると元のコードに戻ります。
- コードが登録されているボタンに新しいコードを上書きして記憶するときも、同じ手順で操作します。
- 30秒間何も操作しない場合は、もとの状態に戻ります。このような場合は、最初から操作し直してください。
- 登録した後で更に機能を追加するときは、82ページの方法で学習させてください。

リモコンコード表

複数のコード番号があるときは、1つずつ登録し、機器に合った方を選んでください。

VCR（ビデオデッキ）

ブランド名	コード番号
アイワ	2012, 2046, 2047
Daewoo	2012
フナイ	2012
日立	2013, 2021, 2025, 2028, 2037, 2038, 2043
日本ビクター（JVC）	2005, 2006, 2007, 2009, 2032, 2035, 2040, 2048
三菱	2013. 2022, 2032, 2034
NEC	2005, 2006, 2007, 2009, 2032
パナソニック	2010, 2011, 2042
フィリップス	2010, 2014, 2017, 2034, 2048
パイオニア	2006, 2013, 2032, 2034
サムスン	2008, 2043. 2049
サンヨー	2007, 2008, 2030, 2036
シャープ	2016, 2017, 2031
ソニー	2004, 2018, 2024
東芝	2013, 2015, 2022, 2034, 2048

TV（テレビ）

ブランド名	コード番号
Daewoo	1004, 1005, 1006, 1025, 1035, 1053
富士通	1070
フナイ	1009, 1045, 1048, 1070
日立	1004, 1006, 1007, 1013. 1027, 1038, 1062, 1063, 1069
日本ビクター（JVC）	1007, 1012, 1013, 1015, 1033
LG電子	1005
三菱	1004, 1005, 1006, 1008, 1040, 1055, 1058
NEC	1003, 1004, 1005,1006
オリオン	1029, 1043, 1048, 1049, 1050, 1067, 1068
パナソニック	1003, 1012, 1014, 1031, 1044, 1046, 1051, 1061, 1062, 1069
フィリップス	1003, 1004, 1007, 1008, 1014, 1018, 1019, 1020, 1037, 1038, 1040, 1053
パイオニア	1004, 1006, 1027, 1062
サムスン	1004, 1005, 1006, 1007, 1008, 1022, 1025, 1035 ,1045, 1047, 1052, 1056, 1060, 1063, 1065
サンヨー	1004, 1010, 1017
シャープ	1004, 1006, 1007, 1021, 1023, 1025, 1026
ソニー	1002, 1030, 1032, 1036, 1054
東芝	1010, 1016, 1017, 1022, 1024, 1039

登録したボタンで、他機を操作する

リモコンコードを登録すると、リモコンのボタンには以下のテレビやビデオデッキのコードが登録されます。
これらのボタンを押しても機器が操作できないときは、もう一度初めから登録し直してください。

リモコン(RC-561DV) 操作ボタン	テレビの機能
On I	電源オン
Standby ⏻	電源オフ
TV I/⏻	電源オン
TV Input	テレビ/ビデオ入力切り換え
+ TV CH	チャンネルアップ
TV CH −	チャンネルダウン
▲ TV VOL	ボリュームアップ
TV VOL ▼	ボリュームダウン
1 2 3 4 5 6 7 8 9 +10 0	テレビチャンネル
+ CH	チャンネルアップ
CH −	チャンネルダウン
Muting	ミュート（消音）

リモコン(RC-561DV) 操作ボタン	ビデオデッキの機能
On I	電源オン
Standby ⏻	電源オフ
+ CH	チャンネルアップ
CH −	チャンネルダウン
►	再生
◄◄	巻戻し
❚❚	一時停止
■	停止
►►	早送り
Rec LM	録画

他機のリモコンから指定した操作を学習させる

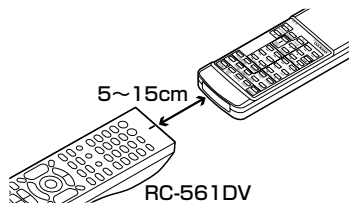
他の機器のリモコン信号を本機のリモコン（RC-561DV）に学習させる場合、まず、どのMode（モード）ボタンに信号を学習させるかを選択します。転送元の機器に合ったModeボタンを選択するのが一般的です。たとえば、テレビのリモコン信号を学習させる場合は、Modeボタンの「TV」を押します。TVを押すと、RC-561DVのボタンにテレビのリモコン信号を登録できるようになります。使用するModeボタンが決まったら、RC-561DVのボタンにテレビのリモコン信号を1つずつ転送します。テレビの各リモコン信号は、RC-561DVのボタンに登録されます。

ご注意

リモコンの電池切れなど何らかの理由でリモコン信号が消えてしまった場合のため、テレビなどのリモコンは大切に保管しておいてください。

1

学習させたいリモコンとRC-561DVを5～15cm離して置く

2

Mode（モード）ボタン（DVD、Amp、VCR、TV）を押しながらOn（オン）ボタンを押し、両方から指を離す

Modeボタンとインジケーターが点灯し、リモコンが学習モードに入ります。

3

RC-561DVの学習させたいボタンを押し、指を離す

Light（ライト）ボタン、Mode（モード）ボタン以外のボタンに学習させることができます。
ボタンを押すとインジケーターが消灯し、ボタンから指を離すと点灯します。

4

学習させたい他機のリモコンのボタンを押し続ける

学習が完了すると、インジケーターが3回ゆっくり点滅し、Modeボタンとインジケーターが点灯します。

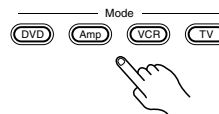
- メモリー容量がいっぱいになると、それ以上記憶できなくなり、インジケーターが6回早く点滅し、学習モードは解除されます。
- インジケーターが早く3回点滅したときは、学習が終了していませんので、もう一度手順***3*** から操作し直してください。

5

他のボタンに学習させるには、手順*3*、*4*をくり返す

！ヒント

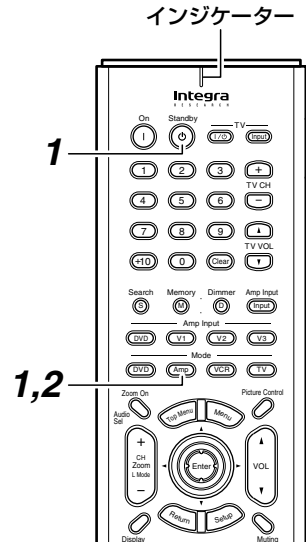
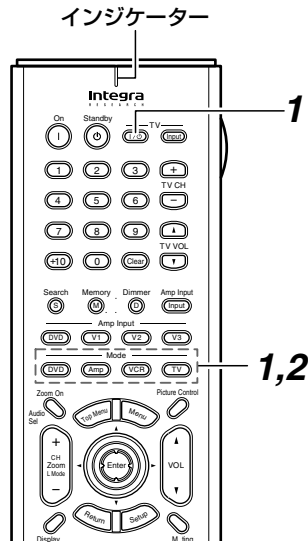
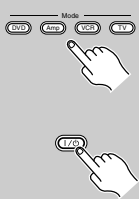
- 30秒以上ボタン操作がない場合は、インジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。そのときは最初からやり直してください。
- 操作途中で間違った場合は、インジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。そのときは最初からやり直してください。
- あらかじめ学習されているボタンに異なる信号を上書きする場合も、この方法で行うことができます。
- 本リモコンは赤外線を利用しています。ほとんどのリモコン信号はこの赤外線方式で記憶が可能です。しかし、方式の違いによって、記憶することができない場合もあります。
- リモコンによっては、ボタンを押すたびに信号が変わるなどのように、1個だけのボタンで各種のリモコン信号を送るものがあります。このようなリモコンをお使いの場合には、リモコンの各ボタンにリモコン信号を1種類ずつ記憶させてください。
- 他社製の機器の操作方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンおよび記憶させたいリモコンの電池は新しいものをお使いください。消耗したり寿命のなくなった電池をお使いになると記憶させることができなかったり、記憶させたボタンで機器が正常に動作しないことがあります。

学習モードを終了するには

Mode（モード）ボタン（DVD、Amp、VCR、TV）を押して指を離す

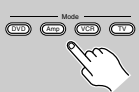
ボタンを押すとインジケーターが消灯します。指を離すと、選んだモードに切り換わり、学習モードを終了します。

RDV-1.1(80-83)(SN29343658) 82 04.10.19, 10:05 AM
ブラック

Mode（モード）ボタンに記憶させた信号をすべて消去する

1

Mode（モード）ボタン（DVD、Amp、VCR、TV）を押しながらTV（I/⏻）ボタンを押し、両方のボタンから指を離す

インジケーターが3回ゆっくり点滅し、点灯します。

2

消去したいModeボタンを押して、指を離す

ボタンを押すとインジケーターが消灯し、指を離すとインジケーターが2回ゆっくり点滅し、選んだModeボタンの内容がすべて消去されます。

ご注意

手順***2*** でModeボタン以外のボタンを押したり、30秒何も操作しなかったりすると、インジケーターが3回早く点滅し、もとの状態に戻ります。
このような場合は、最初から操作し直してください。

記憶させた信号を消去する

1

Amp（アンプ）ボタンを押しながらStandby（スタンバイ）ボタンを押し、両方のボタンから指を離す

インジケーターが5回ゆっくり点滅し、点灯します。

2

もう一度Ampボタンを押す

ボタンを押すとインジケーターが消灯し、指を離すとインジケーターが2回ゆっくり点滅し、記憶させた内容が消去されます。完了まで約5秒かかります。

ご注意

- 消去できるのは、学習させた信号のみです。あらかじめプリセットされている信号を消すことはできません。
- 手順***2*** でAmpボタン以外のボタンを押したり、30秒以上操作しなかったりするとインジケーターが早く3回点滅し、もとの状態に戻ります。このような場合は、最初から操作し直してください。

DVD、CDなどの予備知識

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■（ストップ）ボタンを押してください。

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOマークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	
DVDビデオ DVD VIDEO	DVDオーディオ DVD AUDIO
DVD-R　DVD-RW DVD R　DVD RW	SACD（スーパーオーディオCD） SUPER AUDIO CD
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc Recordable	CD-RW COMPACT disc ReWritable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

DVDの再生について

DVDでは、ディスク製作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

RDV-1.1(84-E)(SN29343658)　84　04.10.19, 2:33 PM
ブラック

DVD-R/DVD-RWの再生について

本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-R/DVD-RW、ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWを再生できます。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- 本機は、CPRM（Content Protection for Recordable Media）技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）に対応していません。このようなディスクを再生するとノイズが出力されますので再生しないでください。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWを再生することはできません。
- 本機は再生専用機です。DVD-R/DVD-RWに録画することはできません。

※DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録とDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録について、その他詳しくはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

CD-R/CD-RWの再生について

本機は音楽CDフォーマット、またはMP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。「PBCは、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

MP3/JPEGの再生について

- ISO9660レベル2のCD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
- 999フォルダ、671トラックまで認識･再生することができます。
- 画面表示時、フォルダ/トラックに3桁の番号がつきます。
- マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 本機に対応していないディスクを再生しようとすると「このフォーマットは再生できません」と表示されます。
- ディスクはファイナライズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）

MP3の再生について

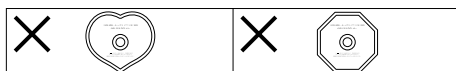
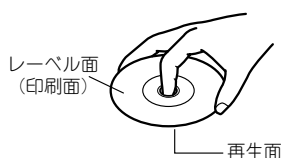
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1 オーディオレイヤー3（64-384kbps）のサンプリング周波数44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 64kbpsから384kbpsの可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
  「.jpg」、「.JPG」または「.JPEG」「jpeg」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
  5メガバイト以下のJPEGファイルに対応しています。
- 輝度/色差の比率が4：4：4、4：2：2、4：1：1に対応しています。
  プログレッシブJPEGには対応していません。

DVD、CDなどの予備知識

ディスクの取り扱いについて

■異型ディスクについて
ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■取り扱いについて
再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■保管上の注意について
直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■レンタルディスクの注意について
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて
汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■コピー防止について
本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

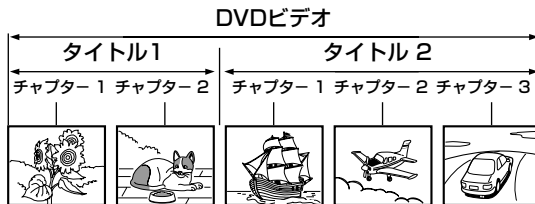
■著作権について
ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

RDV-1.1(84-E)(SN29343658) 86 04.10.19, 10:06 AM
ブラック

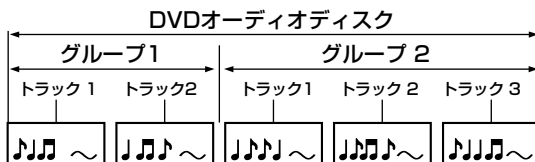
ディスクに関する用語について

■DVDビデオ

● DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

■DVDオーディオ

● DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。

グループ：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

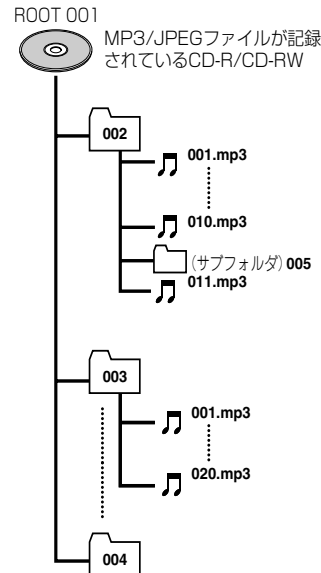
トラック：グループの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

■ビデオCD/SACD/音楽用CD

● ビデオCD/SACD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック：ビデオCD/SACD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

■MP3/JPEG

MP3のフォルダ/トラックの名前や、JPEGのフォルダ/ファイルの名前が画面に表示されます。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

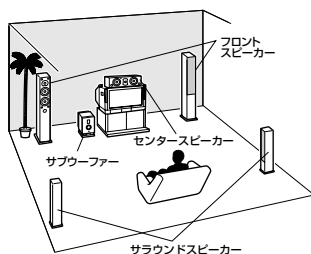
RDV-1.1(84-E)(SN29343658) 87 04.10.19, 10:06 AM
ブラック

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成しています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

5.1chサラウンド
視聴位置前方に設置するセンタースピーカー1つ、フロントスピーカー2つ、横または後方に設置するサラウンドスピーカー2つで5ch（チャンネル）、サブウーファーは他のスピーカーよりも再生できる音域が10分の1のため、この6本のスピーカーを使って再生することを5.1chサラウンドと言います。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差のことです。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
ドルビー社によって開発されたデジタルマルチチャンネル音声規格。モノラルから5.1チャンネルまでに対応しています。視聴環境の制約に対応してダイナミックレンジを調整するダイナミックレンジ圧縮、スピーカーの数に合わせて出力チャンネル数を最適化するダウンミックスなど数々の機能が採り入れられています。DVD-Videoの標準音声、米国DTVの標準音声として採用されています。

ドルビープロロジック（Dolby Pro Logic）
ドルビー社によって開発されたマトリックスタイプのサラウンドデコード技術。
2チャンネル（Lt/Rt）にマトリックスエンコードされた4チャンネル（L/C/R/S）信号を方向性強調を用いてもとの4チャンネル信号に復元します。センターチャンネルスピーカーを使用することで、正面で視聴していなくても画面からセリフが聞こえるようになります。

バランス端子
キャノン端子とも呼ばれている端子で、外部雑音の影響を受けにくいプロ規格の端子です。

パレンタルロック（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものです。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTSフォーマットのデジタルデータのことです。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC)”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できます。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中に■ボタンを押した位置を記憶し、▶ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能です。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact Disc-Recordable）
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DTSデジタルサラウンド（DTS Digital Surround）
米国のDTS社が開発したデジタルサラウンドフォーマット。コヒレントアコースティックス符号化と呼ばれる算法を使用し、圧縮率は通常4:1程度と比較的低くなっています。映画館ではフィルムにプリントされたタイムコードに同期してCD-ROMに記録された音声が再生されます。

DVDオーディオ
DVDビデオ規格をベースに音質を特化したディスクです。音質を良くするために、192kHzサンプリングに対応しています。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスクです。
片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVD-R(Digital Versatile Disc-Recordable)
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマットです。

DVD-RW(Digital Versatile Disc-ReWritable)
書き換え可能なDVDフォーマットです。

HD（High Definition）
高精細度画質での放送のこと（デジタルハイビジョン放送）。デジタル圧縮技術により、高画質な映像が視聴できます。映像信号の走査線数は「1125i（1080i）」と「750p（720p）」「525p（480p）」で、従来の標準画質の走査線の数の約2倍ですので、画像のきめ細かさが増します。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
放送のデジタル化などの変化に対応して、家庭内で セットトップボックスやディスプレイ間をデジタル接続することを目的として策定された、次世代テレビ向けのインターフェース規格です。
従来のDVI（Digital Visual Interface）規格をさらに発展させて、オーディオ信号およびコントロール信号を伝送する機能を追加しています。従来は機器間の接続に、ビデオ、オーディオ、コントロールの各信号用に複数のケーブルを使用していましたが、HDMIケーブルを1本接続するだけで、HDMI端子対応の機器間で映像や音声をデジタルで伝送することができます。

i.LINK
i.LINKとは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子技術協会）によって標準化されたデジタルインターフェース規格です。
i.LINK対応機器どうしを接続すると、接続した機器間でのデジタル音声などのデータ転送や接続した機器のコントロールなどができます。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS（国際電気通信連合: 旧CCITT）とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオCDはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されています。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はMPEG-1と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つです。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

SACD（スーパーオーディオCD）
CDの規格をベースに、多くのデータが記録された高音質規格です。SACDには、1層ディスク、2層ディスク、ハイブリッドディスクの3種類があります。
ハイブリッドディスクはSACDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

SD（Standard Difinition）
標準画質での放送のこと（デジタル標準放送）。映像信号の走査線数は現在の地上波と同等の「525i（480i）」で、現在のアナログ放送と同程度の画質です。

THX
THX社が設立した品質基準で、映画館でも家庭でも、制作者が意図したとおりのサラウンド効果を忠実に再現することを目的とした規格に準拠したモードです。
THX技術開発により、映画館よりも小さな家庭用ホームシアターで再生しても変わらない音響効果を再現できるように映画館用サウンドから家庭用音楽への変換時に起こる空間のエラーを修正しています。

RDV-1.1(84-E)(SN29343658) 89 04.10.19, 2:33 PM
ブラック

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

主電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- 接続コードがしっかり差し込まれいるか確認してください。（17〜29）
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- 再生しているディスクがSACDの場合は、「i.LINKに関して」の項をご覧ください。（92）
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。

音質に関して
- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

映像に関して

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。

静止画の画像にブレがある

- 機能設定で画像を調整してください。（78）

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキやビデオ内蔵テレビ経由で接続した場合は、コピー防止機能が働きますので、直接モニター/テレビに接続してください。（19〜23）
- モニター/テレビによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合いが変わったりする場合があります。また、ディスクによっては解像度が高いため画像ノイズが出る場合があります。この場合は、モニター/テレビを調節して最適な状態にしてください。

映像がモニター/テレビ画面にあらわれない

- 本機を接続したモニター/テレビの入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。この場合、▶（プレイ）ボタンを押して解除してください。
- モニター/テレビのD1端子へ接続している場合は、「インターレース」に設定してください。（65）
- 本機のV. OFFインジケーターが点灯しているときは、映像出力が「オフ」になっています。Video Circuit Offボタンを押して解除してください。（57）
- VIDEO IN（VIDEO/S VIDEO/COMPONENT）端子から映像が入力されていないのに、Video Inputが「External」になっているときは、Video Inputを「DVD」の位置にしてください。（58）
- HDMI IN端子から映像が入力されていないのに、Video Inputが「HDMI」になっているときは、Video Inputを「DVD」の位置にしてください。（58）

画面が縦または横に伸びている

- 「TV画面形状」の設定がモニター/テレビと合っていない。「基本設定」もしくは「画像設定」で設定してください。（32）

モニター/テレビ画面に縞のようなノイズが入る

- モニター/テレビのアンテナ線と本機の電源コードや接続コードを離してください。

ディスクの再生に関して

ディスクが再生できない

- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。（84）
- リージョン番号を確認してください。（84）
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除またはレベル変更を行ってください。（78）
- 本機はNTSCに対応していますので、PALのディスクを再生すると画像が正しく再生されません。

再生が始まるまでに時間がかかる

- DVDや曲数の多いCDやMP3/JPEGディスクの場合読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲や場面をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲や場面であることを確認してください。また、DVDなどによってはメモリーを禁止しているディスクもあります。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（87）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。（47〜56）
- ビデオCDをPBC再生しているときは、PBCを解除してください。（79）

希望する言語、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていない。

DVDやビデオCDを再生すると、ディスクの途中から再生が始まる

- DVDのリジューム機能が働いています。ディスクの最初から再生したいときは、■（ストップ）ボタンを2回押してから再生してください。
- DVDやビデオCDは、再生中に▲（オープン/クローズ）ボタンを押してトレイを開けると、その場所を本機が記憶します。次に同じディスクを再生すると、▲ボタンを押したところから再生を始めます。ディスクの最初から再生したいときは、■ボタンを2回押してから再生してください。

「ディスクによる禁止」マークがモニター/テレビ画面に出る

- 選択した動作をディスクが禁止しています。（84）

「プレーヤーによる禁止」マークがモニター/テレビ画面に出る

- 選択した動作を本機が禁止しています。（84）

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3/JPEGの再生に関して

MP3/JPEGファイルを記録したディスクを再生できない

- 記録したディスクがISO9660に準拠しているか確認してください。（85）
- ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

ディスクに記録されているトラック（ファイル）を選択できない

- 規格以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。（85）
- 本機が認識・再生できるフォルダ数、トラック数には制限があります。フォルダは999フォルダまでが認識・再生できます。トラックは671トラックまでが認識・再生できます。1000以上のフォルダ、または672以上のトラックは認識・再生できません。
- 本機はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。（85）

DVDオーディオの再生

DVDオーディオのマルチチャンネル音声が再生できない

- AVアンプと5.1チャンネル接続またはi.LINK接続がされていない。いずれかの接続をしてください。（25〜27）

DVDオーディオのグループを切り換えられない

- サーチモードで切り換えてください。（39）

DVDオーディオの全てのグループを続けて再生できない

- タイトル/グループ停止が「オン」に設定されている。「オフ」に設定してください。（78）

DVDオーディオの中に収録されているDVDビデオが再生できない

- 優先再生が「DVD-AUDIO」に設定されている。「DVD-VIDEO」にしてください。（79）

困ったときは

i.LINKに関して

i.LINK経由で音声が出力されない（SACD以外の再生時）

- IEEE1394インジケーターが消えているときは、接続が正しくされているか確認してください。
- IEEE1394インジケーターが点灯していて、DVD､ビデオCD、CDを再生しているときは、「デジタル出力/Digital 1」の「デジタル出力」が「オン」になっているか確認してください。（66）

i.LINK経由で音声が出力されない（SACD再生時）

- IEEE1394インジケーターが点滅していませんか？この場合は、設定画面のi.LINK出力設定が「オフ」になっていますので、「オン」にしてください。（32、67）

音が出ていないチャンネルがある（DVDオーディオ再生時）

- i.LINK出力設定を「オン」にしてください。（「オフ」のときでもDVDオーディオの音声はi.LINK経由で出力されますが、この場合、「スピーカー設定」で「オフ」になっているチャンネルからは音が出ません。）（32、67）

96kHz音声が、48kHzに変換されて出力されている（DVD再生時）

- 著作権保護されているDVDビデオの場合、96kHz音声は48kHzに変換されます。
- 「リニアPCM」設定が、「タウンサンプリングオン」になっている場合は「ダウンサンプリングオフ」にしてください。（32、67）

アナログ音声に関して

アナログ音声（マルチチャンネル、2チャンネルとも）が出力されない（i.LINK接続しているとき）（SACD再生時）

- i.LINK経由で音声を出力しているとき（表示部のIEEE1394インジケーターが点灯）は、SACDのアナログ音声は出力されません。SACDのアナログ音声を聞くときは、設定画面のi.LINK出力設定を「オフ」にしてください。（32､67）

アナログ音声（マルチチャンネル、2チャンネルとも）が出力されない（i.LINK接続していないとき）（SACD再生時）

- IEEE1394インジケーターが点滅していませんか？この場合は、設定画面のi.LINK出力設定が「オン」になっていますので、「オフ」にしてください。（32、67）

デジタル音声に関して

デジタル端子(OPTICAL/COAXIAL/BALENCED)からデジタル音声が出力されない（SACD再生時）

- ハイブリッドディスクの場合は、SACD音声出力設定を「CDエリア」にしてください。ハイブリッドディスクでない場合は、デジタル音声は出力されません。（72）

本機からMDに録音したときに、トラックマークが正しくつかない

- 「CD音声出力設定」を「DTS」にして、通常のCDを再生していませんか？設定を「PCM」にしてください。（72）

HDMIに関して

HDMI経由で音声が出力されない

- 接続が正しいか確認してください。（19）
- SACD音声は、出力されません。
- DVDの96/88.2kHz音声は、出力されません。「リニアPCM出力」設定で「ダウンサンプリングオン」にしてください。（67）
- ドルビーデジタル、DTS、MPEG音声も伝送できますが、接続しているモニター/テレビがドルビーデジタル、DTS、MPEGデコーダー対応であることが必要です。接続しているモニター/テレビが対応してない場合は、「デジタル出力/Digital 2」でドルビーデジタル、DTS、MPEGをPCMに変換する設定にしてください。（66）

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（10）
- 電池を3本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

外部機器との接続に関して

インテグラリサーチ/オンキヨー製外部機器とのシステム機能が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。（29）
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードで正しく接続しているときでも、インテグラリサーチ/オンキヨー製以外のAVセンターとi.LINK接続しているときは、一部のシステム機能が働かないことがあります。

RDV-1.1(84-E)(SN29343658) 92 04.10.19, 10:06 AM
ブラック

設定に関して

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

設定が変更できない

- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

音声がモノラル出力になっている

- ビデオCDを記録したディスクを再生時、リモコンのAudioボタンを押してモノラルL、モノラルRに設定した場合は、モノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、再度リモコンのAudioボタンを押し、ステレオに設定してください。（43）
  ※映像の画面出力として状態が表示されますので、モニター/テレビを接続して確認してください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

■本機を初期設定（お買い上げ時の状態）に戻すには

1. ディスクを取り出し、表示部に「No Disc」と表示させる

2. ■ボタンを押しながら、Standby/Onボタンを押す

「Initialize」と表示されたあと、「Complete」と表示されます。

主な仕様

ビデオ部

映像出力/インピーダンス：
1.0V（p-p）、75Ω、同期負、ピンジャック
S映像出力/インピーダンス：
（Y）1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン
（C）0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1映像出力/インピーダンス：
（Y）1.0V(p-p)、75Ω
(PB/CB)、(PR/CR)、0.7V(p-p)、75Ω、D端子
コンポーネント映像出力/インピーダンス：
（Y）1.0V(p-p)、75Ω
(PB/CB)、(PR/CR)、0.7V(p-p)、75Ω、ピンジャック、BNCジャック
コンポーネント映像周波数特性：DC〜15MHz
HDMI（In/Out）：19ピン

オーディオ部

音声周波数特性（デジタル音声）：

DVDオーディオ	4Hz〜88MHz（192kHz）
DVDリニア	4Hz〜22MHz（48kHz）
	4Hz〜44MHz（96kHz）
CDオーディオ	4Hz〜20MHz（44.1kHz）

SN比：112dB
ダイナミックレンジ：106dB
全高調波歪率：0.002%（1kHz）
ワウフラッター：
測定限界以下（±0.001% W.PEAK、EIAJ）
出力電圧/インピーダンス：
音声出力（Digital/Optical）−22.5dBm
音声出力（Digital/Coaxial）0.5V（p-p)/75Ω
音声出力（Digital/Balanced）1.3V（p-p)/110Ω
音声出力（Analog）2.0V（rms)/320Ω
i.LINK：4ピン(S400)

総合

電源・電圧：AC100V・50/60Hz
消費電力：44W
待機時電力：7.1W
最大外形寸法：450（幅）×123（高さ）×381（奥行）mm
質量：12.1kg
許容動作温度：5℃〜35℃
再生可能ディスク：
DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-R*（ビデオモード）、DVD-RW*（ビデオモード/VRモード）**、CD、ビデオCD、SACD、CD-R*、CD-RW*

* ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。
** 本機はCPRM技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）には対応していません。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　RDV-1.1
▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30（土日祝、会社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊WEB　:　http://www.jp.onkyo.com/support/ ＊TEL　:　ナビダイヤル 0570－01－8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または 072－831－8111（携帯電話、PHS、IP電話から）へどうぞ。 ＊FAX　:　072－831－8124 ＊郵便　:　〒572－8540 大阪府寝屋川市日新町２－１ オンキヨー株式会社　カスタマーセンター

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページ。　→ http://www.jp.onkyo.com/

快適なオーディオライフをサポートするセレクトショップ。　→ http://www.e-onkyo.com/

修理窓口 修理のご依頼は、取扱説明書の「困ったときは」、「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、下記へご相談ください。

東京サービスセンター	大阪サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124	TEL 072-831-8080　FAX 072-831-8124
〒111-0054 東京都台東区鳥越 1-2-3 ハマスエビル	〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町２－１

2004年7月現在　お客様相談窓口・修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。
（ http://www.jp.onkyo.com/support/で最新の名称、所在地、電話番号をご覧いただけます）

Integra

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　年　月　日
ご購入店名：
Tel.　　(　)
メモ：

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
G0410-1

SN 29343658

* 2 9 3 4 3 6 5 8 *